

HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立電気洗濯乾燥機

型式

ビーダブリュー ディーエックス ビー
BW-DX120B

このたびは日立電気洗濯乾燥機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・据付説明書・洗濯乾燥機設置時のチェックシート(据付確認書)とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→**(P.8〜11)**をお読みいただき、正しくお使いください。

ホームページから「使いかた動画」をご覧いただけます。スマートフォンやタブレット端末で読み取ってください。
詳しくは→**(P.92)**
ご利用の際は、通信費等の費用がかかります。



ビートウォッシュ
日立洗濯乾燥機

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ・付属品 4
操作パネルのはたらき 6
安全上のご注意 8
使用上のご注意 12
据え付け状態の確認 12
ふたの開閉をする 13
ふたを開ける 13
フタロック(チャイルドロック)の設定・解除 13

お洗濯の前に

洗濯物の確認と準備 14
洗濯も乾燥もできないもの 14
乾燥できないもの 14
洗濯物の準備 15
洗濯物の量と重さの目安 16
洗濯物の片寄りを防ぐ 17
洗剤や柔軟剤の使いかた 18
洗濯物の量の計測と洗剤量表示 18
洗剤・漂白剤・柔軟剤量 19
洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた 20
石けん(天然油脂)の入れかた 22
洗濯のりの使いかた 24
使用できる洗濯のり 24

使いかた

風呂水(お湯取運転)を使う 25
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた 25
お湯取運転の設定 27
運転コースの選びかた 29
洗濯・洗濯～乾燥する 30
使いかた 30
各機能の設定・解除 31
乾燥する 32
使いかた 32
「標準」コースの時間を使い分ける 33
しわがつきやすい洗濯物をまとめて洗濯・乾燥するとき 33
毛布コース・おしゃれ着コースでお洗濯キャップを使う 34
お洗濯キャップの使いかた 34
毛布コースで洗濯・洗濯～乾燥する 35
洗濯の準備 35
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた 36
使いかた 37
毛布・掛け布団の干しかた 37
おしゃれ着コースで洗濯・乾燥する 38
洗濯物の準備 38
使いかた 39
デリケートコースで洗濯する 40
洗濯物の準備 40
使いかた 40
消臭除菌・花粉コースを使う 41
消臭除菌コースが使えるもの 41
使いかた 41
ダニ対策コースを使う 42
洗濯物の準備 42
使いかた 43
[eco]センサーシステムを使う 44
[eco]センサーシステムについて 44
使いかた 45
[洗剤・汚れ]センサーシステムを使う 46
[洗剤・汚れ]センサーシステムについて 46
使いかた 47
自動おそうじを使う 48
使いかた 48
温水ミスト(温め自動/90分/180分)を使う 49
機能の使い分け 49
「温水ミスト」(温め自動)の使いかた 50
「温水ミスト」(90分)・「温水ミスト」(180分)の使いかた 51
ナイアガラすすぎを使う 52
使いかた 52
お気に入りを使う 53
使いかた 53
お好みの設定で運転する 54
水量・洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する 54
水量を手動で変更する 54
「脱水のみ」などの個別運転をする 55
運転内容と変更できる内容 56
予約運転をする 58
予約ボタンの使いかた(切り替え内容) 58
使いかた 59
便利な使いかた 60
運転スタート音・終了予告音・終了音の設定 60
終了予告音の設定 60
脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる(温風ほぐし脱水) 61
脱水／乾き具合を調節する 61
すすぎの時間を長くする(回転シャワー) 62
操作ができない場合のお知らせ音 62
最後にお気に入りで運転した設定の表示／非表示 63
洗濯液を2度使う 63

お手入れ

お手入れをする 64
- 糸くずフィルター 64
- 乾燥フィルター 65
- 乾燥フィルター差し込み口 66
- 洗剤ケース 67
- 洗剤ケースふた 67
- 本体 68
- 内ふた 68
- 洗濯・脱水槽 68
- 給水口 69
- 風呂水吸水口 70
- お湯取ホース・クリーンフィルター 70
- 排水口・排水トラップ 71

槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする 72
- コースの使い分け 72
- 槽洗浄コース 72
- 槽乾燥コース 72
- 使いかた 73

お困りのとき

お知らせ表示されたとき 74
こんな音がしたとき 76
本体各部 77
- ❶ 本体・振動・音 77
- ❷ 給水口・給水 78
- ❸ 排水口・排水 78
- ❹ ふた 78
- ❺ 洗濯・脱水槽 78
- ❻ 洗剤ケース 79
- ❼ 乾燥フィルター 79
- ❽ 風呂水吸水口・風呂水吸水 79

本体の運転動作 80
- ❾ 運転動作 80
- ❿ 運転時間 80

操作パネルの表示内容 81
- ⓫ 水量表示・洗剤量表示 81
- ⓬ 残時間表示 81
- ⓭ タッチセンサー (操作部) 81

洗濯物の仕上がりが気になる 82
- ⓮ 衣類に洗剤残りがある (白いものが残る) 82
- ⓯ 糸くずが気になる 82
- ⓰ 汚れ落ちがわるい 82
- ⓱ 黒ずみが気になる 83
- ⓲ 黄ばみが気になる 83
- ⓳ 色移りや変色が気になる 83
- ⓴ 洗濯物がゴワゴワする 83
- ㉑ においがする 83
- ㉒ 乾きがわるい 84
- ㉓ 乾燥じわが気になる 84

アフターサービスなど

もしものとき 85
- 給水ホース内の水抜きをするとき (引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき) 85
- もしも凍結したとき 85

別売り部品 86
仕様・試験結果 88
保証とアフターサービス 90
点字シール 91

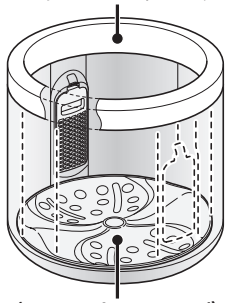
各部のなまえ・付属品

使用する前に、本体各部のなまえと付属品を確認してください。
主な説明のあるページを→**(P.○○)**で示しています。

洗濯・脱水槽

洗濯・脱水槽を回すと液体の音がしますが、これは脱水時のバランスを取るために、バランスリングの中に入っている液体の音です。洗濯・脱水槽に水が残っている訳ではありません。

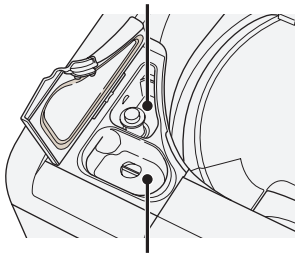
バランスリング



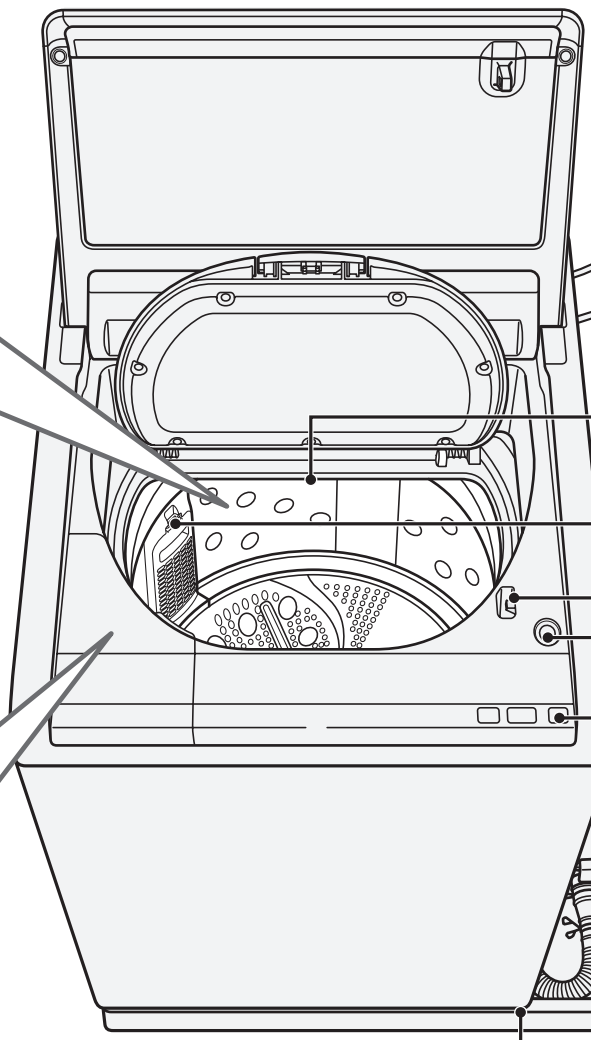
ビートウィングX
(かくはん翼)

洗剤ケース→(P.20、67)

柔軟剤投入口

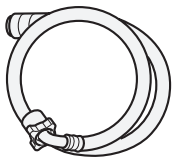
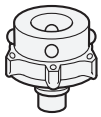
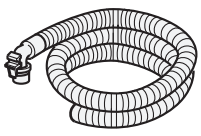
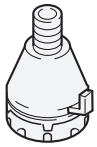
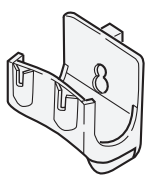


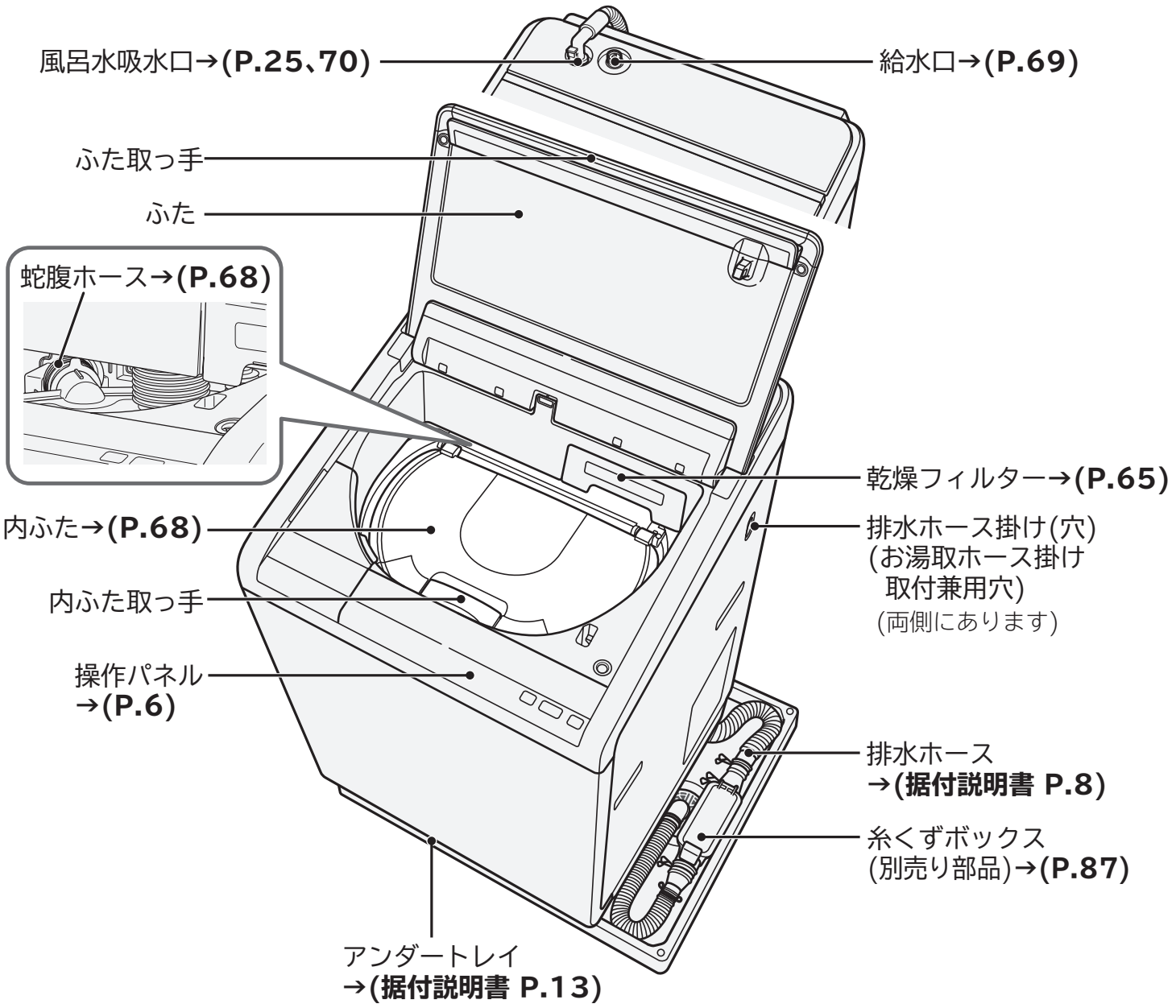
粉末合成洗剤・
液体洗剤・漂白剤投入口

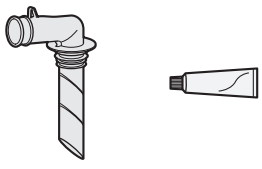
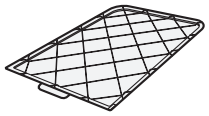
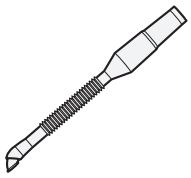


電源コード
電源プラグ
アース線
→**(据付説明書 P.18)**
注水口
糸くずフィルター(2か所)
→**(P.64)**
フタロック→**(P.13)**
水準器
→**(据付説明書 P.15)**
電源ボタン
調節脚→**(据付説明書 P.14、15)**
(前右側の脚の高さを調節できます)

付属品

水栓(蛇口)との接続に使用します		風呂水を使うときに使用します		お湯取ホースを片づけるときに使用します
給水ホース (約0.8m) →**(据付説明書P.16)**	ワンタッチつぎて →**(据付説明書 P.5)**	お湯取ホース (約4m) (吸水ホース) →**(P.25、26)**	クリーン フィルター →**(P.25、26)**	お湯取ホース掛け →**(P.26)**
				
(1本)	(1個)	(1本)	(1個)	(1個)



	排水ホースと排水口・排水トラップなどを接続する場合に使用します	本体を水平に据え付けるときに使用します	洗濯・脱水槽の結露による水滴から床面を保護するために使用します。	乾燥フィルター差し込み口のお手入れのときに使用します
	Lパイプ・接着剤 →(据付説明書 P.10)  (各1個)	脚キャップ (高さ調整用) →(据付説明書 P.14)  4mm 8mm (各2個)	アンダートレイ →(据付説明書 P.13)  (1個)	スイコミノズル →(P.66)  (1個)

操作パネルのはたらき

操作パネルは、電源「入/切」、「スタート/一時停止」「お気に入り」ボタン以外はタッチセンサー式を採用しています。
説明のため、すべての表示を点灯状態にしています。

自動おそうじを使う →(P.48)

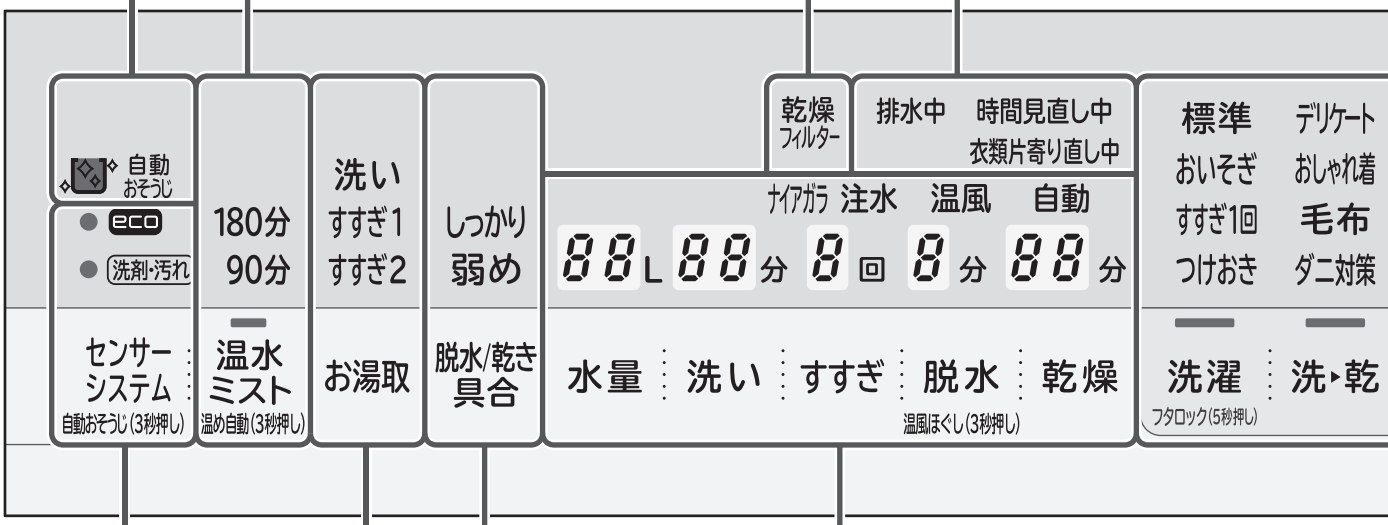
洗濯・脱水槽の裏側などの見えない部分に付着した汚れなどを、自動で洗い流します。

温水ミストを使う →(P.49)

「温水ミスト」(90分)では皮脂汚れを落とし黄ばみを予防、「温水ミスト」(180分)ならついてしまった黄ばみまで落とすことができ、においの原因菌も洗い流します。

運転状態情報表示 (運転中の動作内容が表示されます)

排水中	排水しています。
時間見直し中	洗い延長中や「ダニ対策」コース時の温風行程中、または乾燥中の残時間を見直しています。
衣類片寄り直し中	ほぐし動作により洗濯物の片寄りを直しています。



センサーシステムを使う→(P.44~47)

[eco]では、洗剤量表示、使用水量、運転時間、すすぎ回数を自動で調節します。[洗剤・汚れ]では、洗剤の種類および汚れの落ち具合に応じて運転時間や洗いかたを自動で調節します。「洗濯」「洗▸乾」標準コースの洗濯行程で作動します。

風呂水(お湯取運転)を使う→(P.25~28)

「お湯取」をタッチすると、風呂水が使える行程の表示を順に点灯します。

脱水/乾き具合を調節する→(P.61)

脱水の回転数と乾燥時の乾き具合を「しっかり」「弱め」に調節することができます。

運転内容を変える →(P.54~57)

「水量」「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」の設定を変更することができます。
コースによっては、変更できないこともあります。

■ボタン(タッチキー)を長押し操作で設定を変更することができます。
例：洗濯(フタロック5秒押し)を5秒以上タッチすると、フタロック(チャイルドロック)の設定・解除ができます。→(P.13)
ほかにも、3秒押し操作で設定・解除ができる機能があります。便利な使いかた→(P.60~63)
■汚れや水滴、洗剤が付着すると、設定が意図しない内容に変更される場合がありますので、ふき取ってください。

繰り返しタッチするときは、指を離してからタッチしてください。

洗剤量・残時間・予約時間・お知らせ表示 →(P.18、58、74)

●運転スタート後に洗剤量・残時間の目安が表示されます。
●「予約」をタッチするごとに予約運転終了予定時間が表示されます。
●運転中などに発生したお知らせ内容が表示されます。
例：C02、F01など

お知らせ表示 →(P.13、75)

	ふたがロックされているときに点灯します。
フタロック	フタロック(チャイルドロック)が設定されているときに点灯します。
高温	洗濯・脱水槽が高温のとき点灯または点滅します。
乾燥フィルター	乾燥フィルターが正しく取り付けられていないときや目詰まりしたときに点滅します。



電　源

電源の入・切を行います。
電源を入れたあと、20分以内にスタートをしないと、自動で電源が切れます。

コースを選ぶ →(P.29～43、72)

「洗濯」「洗▸乾」「乾燥」をタッチすると、選んでいるコースが点滅します。

予約運転をする →(P.58)

運転を終了したい予定時間に、1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。

お気に入りを使う →(P.53)

3種類のコースを、お好みの運転内容で登録させることができます。

スタート／一時停止

スタートや一時停止を行います。

操作パネルの点字表記について

目の不自由なかたでも操作部の位置がわかる「点字シール」(操作部にはり付けます)をご用意しています。
ご希望の方は、「商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口」へお問い合わせください。→(P.91)

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかねますのでご了承ください。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🚫	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠警告

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐために（感電・けが、発煙・発火・火災のおそれ）


禁止

●電源コードを傷つけない
・傷つけない、加工しない　・無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない
・加重をかけない、挟み込まない
●ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントを使用しない
●タコ足配線をしない、延長コードを使用しない


指示

●定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
●電源プラグを根元まで差し込む
●電源プラグの刃や、刃の取り付け面にほこりが付着している場合は乾いた布でよくふき取る


プラグを抜く

●電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く
●お手入れの際や長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く


アース線接続

●アース線を取り付ける
アース線を取り付けないと、漏電のとき感電することがあります。

本体の故障や事故を防ぐために（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたのガラス部の割れや傷のおそれ）


水場禁止

●浴室など湿気の多い場所、屋外など風雨にさらされる場所に据え付けない
感電または電気部品を傷めるおそれがあります。


禁止

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
転倒してけがをするおそれがあります。
●内ふたを閉めるときに洗濯物を挟まない
内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。
内ふたが閉まっていないと、洗濯物の自然発火や破損の原因になります。

⚠警告

運転時の爆発や火災を防ぐために（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）


禁止

●**引火物や火気を洗濯・脱水槽に入れない、近づけない**
・灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどおよびそれらの付着した洗濯物
・ローソク、蚊取り線香、たばこなど

●**油や引火物が付着した洗濯物、引火の可能性がある洗濯物を乾燥させない**
・植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(ボディオイル、エステ系オイルなど)、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物
・樹脂(セルロース系)　・ポリプロピレン繊維の製品　・スポンジの入ったもの

●**揮発性溶剤(灯油、ガソリン、ベンジン、シンナーなど)やカセイソーダを使って洗濯しない**
それらの付着したものを洗濯しない

●**お湯取ホースで、灯油やガソリンなど水以外のものを吸い込まない**

感電、漏電、ショートによる火災を防ぐために（感電・発火・火災のおそれ）


プラグを抜く

●**本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する**


分解禁止

●**分解・修理・改造をしない**
修理は販売店などにご相談ください。


水ぬれ禁止

●**本体各部や電源プラグに水や洗剤などをかけない**


禁止

●**入浴中は風呂水吸水をしない**

子どもの事故を防ぐために（洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをするおそれ、窒息のおそれ）


禁止

●**子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない、本体の近くに台を置かない**
洗濯・脱水槽内に閉じ込められて、窒息、やけど、感電、けが、おぼれるおそれがあります。
フタロック (チャイルドロック) の設定ができます。→ **(P.13)**

●**子どもにふたのガラス面 (強化ガラス) に乗らせない**

●**操作に不慣れな方だけでは使わせない**


指示

●**付属品が梱包されているポリ袋は、子どもの手の届かないところに置く**
ポリ袋を頭にかぶると、窒息するおそれがあります。

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐために（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻きついてけがのおそれ）


接触禁止

●**洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中の洗濯物などに手を触れない**
洗濯物が手に巻きついてけがをするおそれがあります。特に子どもには注意してください。

洗濯運転時の発泡を防ぐために（泡が多量に発生し、本体の故障・水漏れ・感電のおそれ）


指示

●**洗剤は表示に従って適量を入れる**→ **(P.18)**

安全上のご注意（必ずお守りください）つづき

⚠注意

洗濯物・本体・周囲の壁や床の損傷を防ぐために

（洗濯･脱水槽のバランスがくずれて異常振動が発生し、洗濯物･本体･周囲の壁や床の損傷、洗濯物の飛び出し、本体の転倒のおそれ）

異常振動が発生したときは安全装置が作動しますが、洗濯・脱水槽が高速で回転しているため、すぐに回転は止まりません。

禁止

●防水性の衣類・繊維製品は、洗濯・脱水槽には絶対に入れない

防水性の衣類は水を通さないため、洗濯・脱水をしても衣類の中に水がたまっています。そのまま脱水をすると、たまった水が急激に移動し、回転バランスがくずれて異常振動が発生することがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。

防水性・繊維製品の例

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、カーペット、防水性マット・シート、足ふきマットなど硬くて厚いものなど
(洗濯物に洗える表示があっても洗わないでください)

●毛布などの大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れない

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。



●一辺が 40cm 以上の大きな洗濯ネットを使用しない

異常振動や洗濯物の片寄りの原因になります。

けが、やけどを防ぐために

禁止

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

接触禁止

●運転中は本体の下に手足などを入れない

●乾燥運転中や乾燥運転終了直後は、内ふた周辺の金属部、洗濯・脱水槽内、洗濯物(ファスナーや金属ボタン)を触らない

●ふたは取っ手を持って開閉する、無理に開閉をしない、本体に手を置いてふたの開閉をしない

ふた開閉アシスト機構を搭載しています。無理な力で開閉すると、ふたや部品の破損につながることがあります。
本体に手を置いてふたの開閉をすると、ふたと本体の間に指や手を挟むおそれがあります。
ふたを途中まで開け、手を離した場合、アシスト機構が作動しません。
室温によって、ふたの閉まる速度が変化する場合があります。

水漏れを防ぐために

指示

●運転前は水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないかを確認する

水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。

●使用しないときは、水栓(蛇口)を閉じておく

●据え付け直後や移設直後など、水栓(蛇口)の接続を変えたあとは、まず水栓(蛇口)を開いて、水漏れがないかを確認する

⚠注意

風呂水運転時の水漏れを防ぐために

（サイホン現象により、お湯取ホースから残水が流れ出して水漏れや床をぬらすおそれ）


禁止

●風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない
●お湯取ホースのクリーンフィルターを浴槽に入れたまま吸水つぎてを外さない

洗濯物の損傷を防ぐために


指示

●洗濯物のひもなどは結び、ファスナーやボタンを閉めてから洗濯・脱水槽に入れる

けがや水漏れ、本体の損傷や故障を防ぐために


禁止

●50℃以上のお湯を使用しない
●給湯器とつながない
瞬間的に50℃以上の温水が給水され、部品の故障や水漏れにより思わぬ被害を招くことがあります。

●ふたのガラス面(強化ガラス)の上にのぼったり、物を落としたり、衝撃を加えない
けがのおそれがあるので、ひびが入ったり、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●ふたのガラス面(強化ガラス)には、洗濯かごなどのものを置かない
強化ガラスは普通のガラスに比べ強度が高く、安全性の高いガラスですが、強い衝撃や力を加えると、破損してけがをするおそれがあります。
万一、傷がついたり、割れたりした場合は、使用を中止し、すぐに修理を依頼してください。

●本体や内ふたの上にのぼったり、重いものを置いたりしない
また、内ふたの上面を強く押したりしない
内ふたや裏面のプレートが変形してけがをするおそれがあります。

●運転途中で洗濯物を追加する場合は、入れ過ぎない
洗濯物の量が自動計測されたあとに衣類を追加すると、適切な水量とならないため、水漏れや本体の故障のおそれがあります。

●直射日光が当たる場所、40℃以上になる場所、発熱器具のそばには据え付けない
本体内部の温度が異常に高くなり、外観が変形・変色したり、本体が故障するおそれがあります。


指示

●付属品のアンダートレイ→(P.5)や、別売り部品の洗濯機用防水パン・洗濯機用トレー→(P.87)を設置する
水漏れや結露により、床面がぬれたり汚れたりするおそれがあるため、アンダートレイや洗濯機用防水パン・洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

●断水後や、一度給水ホースを外して再度取り付けた場合、長期間使用しなかった場合は、水栓(蛇口)を閉めて洗濯「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押してからゆっくり水栓(蛇口)を開く
給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧によって本体が破損し、水漏れやけがのおそれがあります。

使用上のご注意

よくお読みのうえ、正しくお使いください

●**運転中は電源プラグを抜かない**（本体の故障のおそれ）
「一時停止」ボタンを押し、電源を切り電源プラグを抜いてください。

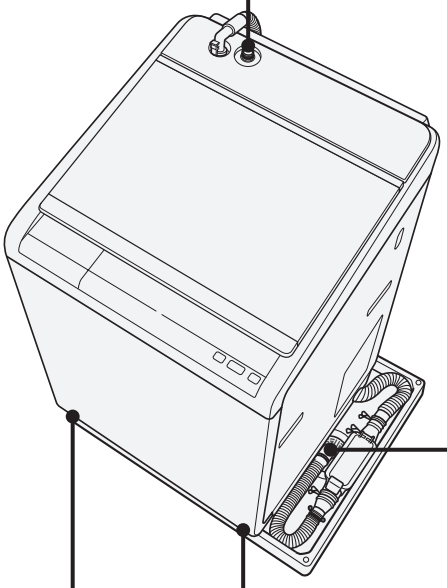
●**本体にテレビやラジオを近づけない**（画面が乱れたり、雑音が入ったりするおそれ）
運転中の本体の近くでは、ノイズが入り放送が正常に受信できないことがあります。
ラジオやテレビは、運転中の本体から離れたコンセントに差し込み、2m以上離してください。

●**洗濯物を入れ過ぎない**（洗濯物のはみ出しにより、洗濯物や本体のプラスチック部品の破損のおそれ）
（洗濯時間が長くなったり、洗いムラや乾きムラが発生したりするおそれ）

●**乾燥運転中は十分に換気をする**（換気が不十分だと窓や壁などが結露するおそれ）

据え付け状態の確認

次のような問題を防ぐため、確認をしてください。
解決しないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

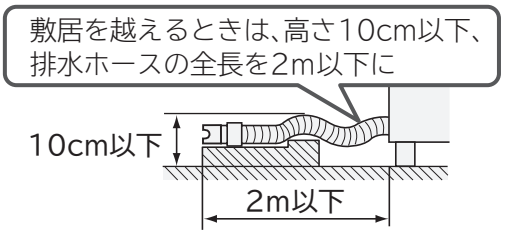


水漏れを防ぐ

●水栓(蛇口)の接続は、付属品のワンタッチつぎて**→(P.4)**を使用していますか？
●接続部分に緩みやぐらつきはありませんか？
●給水ホースが回らないように片手で押さえ、つぎてが上下にぐらつかないところまでユニオンナットを回す。さらに、ユニオンナットを約90°回し、しっかり締め付ける **→(据付説明書 P.16)**
●水栓(蛇口)にさびの発生はありませんか？

排水異常を防ぐ

●排水ホースの高さは、10cm以下になっていますか？
●排水ホースが、排水口に取り付けられていますか？**→(据付説明書 P.9、10)**



脱水時の停止・異常音・振動を防ぐ

●本体が水平に設置されていますか？
水準器の気泡が円の中に入るように、調整脚や脚キャップで高さを調節してください。
→(据付説明書 P.14、15)

排水時の停止を防ぐ(お知らせ表示C02、C18の表示)

●排水口が掃除できるように設置されていますか？
排水口・排水トラップは月１回を目安にお手入れをしてください。**→(P.71)**
●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、掃除しにくい場合は、別売り部品の糸くずボックス**→(P.87)**をお買い求めいただき、設置することをおすすめします。

ふたの開閉をする

ふたを開ける

安全のため、運転中はふたが自動でロックされています。

運転の流れとふたのロック表示

スタート ▶ 洗剤量(目安)表示 ▶ 給水 ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 脱水 ▶ 乾燥 ▶ 運転終了

🔒、高温 消灯 (ふたがロックされていません) ▶ 🔒、高温 点灯 (ふたがロックされています)

洗濯から乾燥運転中にふたを開ける手順

1　スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

- 洗濯・脱水槽の回転が止まると、🔒が消灯します。
- 乾燥運転中に一時停止をした場合、洗濯・脱水槽が高温のため、1～15分の冷却運転が始まります。
  冷却運転後、高温が消灯すると、ふたのロックが解除され、ふたを開けることができます。→(P.78)

2　内ふた、ふたを閉め、スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

- 🔒が点灯してふたがロックされ、運転が始まります。
- しっかりふたを閉めないと、ふたがロックされず、危険防止のため運転が始まりません。
- 洗濯・脱水槽が高温のときは、高温が点灯します。
- 無理にふたを開けると、ふたが破損するおそれがあります。

フタロック(チャイルドロック)の設定・解除

子どもが勝手にふたを開けたり、誤って洗濯・脱水槽の中に落ちないようにするため、電源を切った状態や運転前、運転中に強制的にふたをロックして、開けられないようにすることができます。

電源が入っていないとき

1　内ふた、ふたを閉め、切/入 を押し、電源を入れる

2

設定するとき

洗濯 フタロック(5秒押し) を5秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定完了音「ピッ」が鳴り、🔒とフタロックが点灯し、フタロックが設定されます。

設定を解除するとき

洗濯 フタロック(5秒押し) を5秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定完了音「ピー」が鳴り、🔒とフタロックが消灯し、フタロックが解除されます。

3　切/入 を押し、電源を切る

運転をしているとき

フタロックの設定は、運転中いつでもできます。解除する際は、一時停止をしてから行ってください。

設定するとき

洗濯 フタロック(5秒押し) を5秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定完了音「ピッ」が鳴り、🔒とフタロックが点灯し、フタロックが設定されます。

設定を解除するとき

1　スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

2　洗濯 フタロック(5秒押し) を5秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定完了音「ピー」が鳴り、🔒とフタロックが消灯し、フタロックが解除されます。

3　スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

フタロック(チャイルドロック)が設定された状態で運転が終了すると、電源が切れていてもふたは開けられません。
ふたが開かないとき→(P.78)

洗濯物の確認と準備

洗濯物に付いている取扱絵表示や注意表示を確認してください。

洗濯も乾燥もできないもの

洗濯絵表示や種類によっては、下記の衣類・製品でも洗濯運転や乾燥運転ができません。
洗濯物の縮み、形くずれ、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●洗濯絵表示 や Ⓕ Ⓕ の表示があるもの
- ●取扱絵表示や素材表示が付いていないもの
- ●皮革・毛皮・羽製品、それらの装飾品付き製品
- ●和服、和装小物製品
- ●ネクタイ、スーツ、コート
  ただし、「消臭除菌」コースは使用できます。→(P.41)
- ●レーヨン、キュプラ、それらの混紡品
- ●シルク製品
- ●ベルベットなどのパイル地製品
- ●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工の製品
- ●毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- ●強撚糸(強くよじった糸)を使用したウールやちりめんなどの製品

洗濯物が片寄りやすく、異常振動による本体の故障、けが、洗濯物の破れなどのおそれがあります。

- ●防水性製品 →(P.10)
  洗濯物に洗える表示があっても、洗わないでください。
- ●玄関マット、ラグマット、敷物
  ・裏面にゴムが付いているもの
  ・厚手のもの　・毛足の長いもの
- ●カーペット
- ●座布団や枕、クッションなど
- ●洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)
- ●ペットの毛が多量に付着したもの

乾燥できないもの

洗濯絵表示や種類によっては、下記の衣類・製品の乾燥運転ができません。
洗濯物の縮み、しわつき、変色、損傷、風合い劣化などのおそれがあります。

- ●ゴムやウレタンなどを使用した製品
- ●ウレタン(スポンジ類)の入ったぬいぐるみなど
- ●布団類などわたを使用した製品
- ●ウールなどの獣毛およびその混紡製品
- ●タイツ
- ●レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品
- ●濃い色のプリントもの

●次のような取扱絵表示が付いているもの

Ⓟ Ⓟ	ドライクリーニングができる
	つり干しがよい
	アイロンは、低温で掛けるのがよい
	アイロン掛けはできない
	「タンブル乾燥禁止」などの注意表示

油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれがあります。

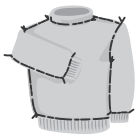
- ●油が付着したもの
  植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールが付着した洗濯物や樹脂(セルロース系)などが付着したもの
- ●ポリプロピレン繊維の製品

乾燥フィルターが目詰まりするおそれがあります。

- のり付けしたもの

洗濯物の準備

上手に洗濯をするために、洗濯前に確認し、洗濯物の準備をしてください。

ポケットの中のものを取り出す		硬貨やヘアピン、つまようじなどの先のとがったものなどを取り除いてください。 洗濯物のポケットの中なども確認してください。 洗濯物の傷みや本体の故障の原因になります。
衣類のひもなどは結んで、ファスナーやボタンは閉める		衣類のひもなどは結び、ファスナーやボタンは閉めてください。 洗濯物の絡みや傷み、本体の故障の原因になります。
しみは早めに落とす(えり、そで口などの脂汚れ)		しみやひどい汚れは早めに処理してください。 時間がたつと落ちにくくなり、黄ばみの原因になります。 洗濯前に部分洗いなどで処理しておくと、より効果的です。 えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液を付けて、ブラシで一定方向にこすってください。
大きなゴミなどを取り除く		大きなゴミ、泥や砂、髪の毛、ペットの毛は取り除いてください。 本体内部にゴミや異物が詰まり、本体の故障の原因になります。
毛玉がつきやすい衣類は裏返しする		毛玉ができやすいセーターなどは裏返してください。 洗濯物どうしの摩擦や、かくはん翼でのこすれは、洗濯物の傷みの原因になります。

洗濯物を仕分ける

色落ちなどを防止するために、分けて洗濯してください。

色落ちしやすい洗濯物	●白いタオルなどに洗剤液を含ませ、洗濯物の目立たない部分に強く押し当てて、洗濯物からタオルに色移りしないか確認してください。 色移りがあった場合は、洗濯しないでください。 ●著しく色落ちする洗濯物は分けて、同類の洗濯物を2、3枚まとめて洗ってください。 ●色落ちしやすい洗濯物(スカーフ、外国製の衣類など)は、注意してください。
糸くずが気になる洗濯物	●タオル・バスタオルは分けて洗ってください。 ●コーデュロイ(起毛素材)や濃い色の洗濯物などは、糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗ってください。
デリケートな洗濯物・小物類	●レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯ネットに入れて洗ってください。 ●ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

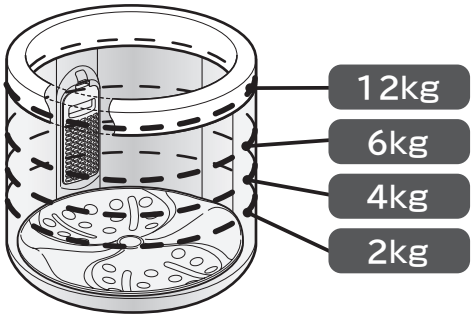
洗濯物の確認と準備　つづき

洗濯物の量と重さの目安

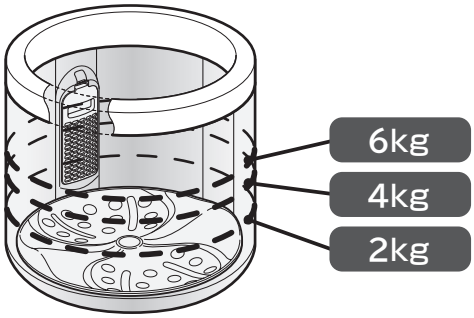
運転コースによって、洗濯・乾燥できる量と重さが異なります。→(P.29)
量と重さの目安に従って、洗濯物を洗濯・脱水槽に入れてください。

洗濯時の乾いた洗濯物と脱水後のぬれた洗濯物の量と重さの目安

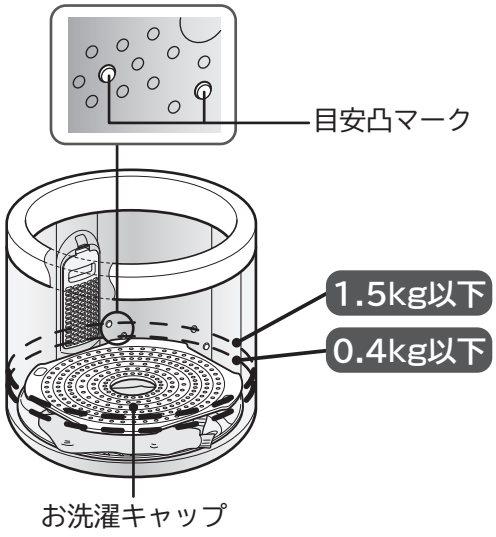
乾いた洗濯物



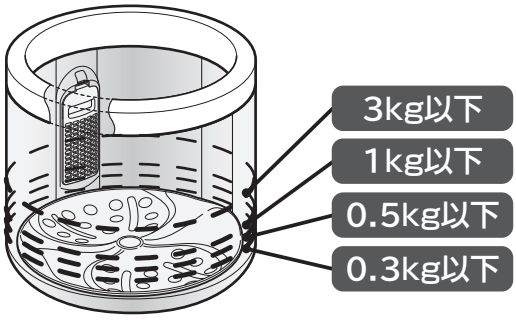
ぬれた洗濯物



おしゃれ着コース使用時の洗濯物の量と重さの目安



デリケートコース使用時の洗濯物の量と水量の目安

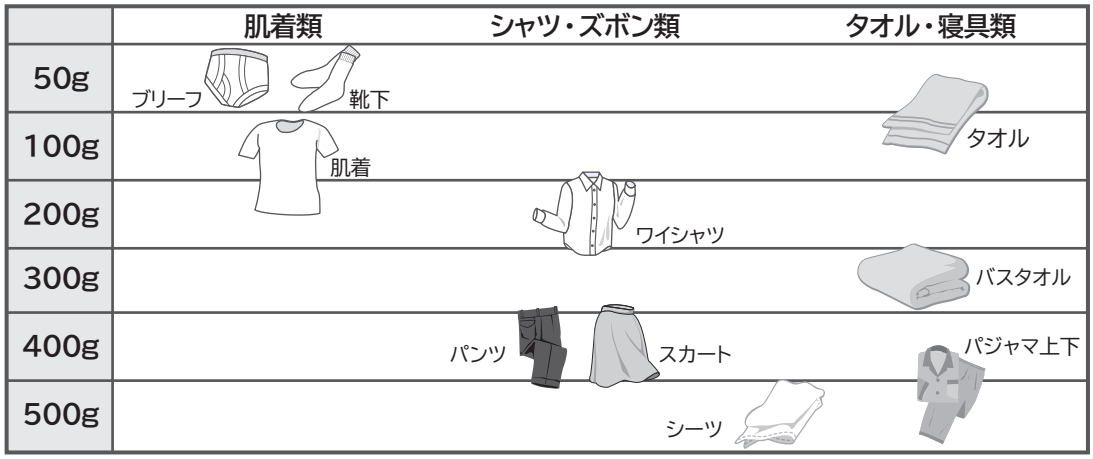


目安に合わせた水量を設定してください。

洗濯物の量	設定水量
3kg以下	82L、72L
1kg以下	55L
0.5kg以下	42L
0.3kg以下	26L

衣類別の重さの目安

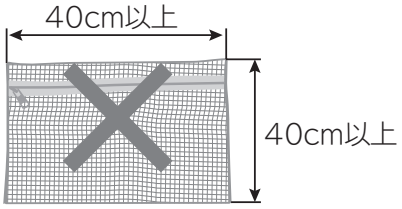
洗濯物の重さを確認するための目安です。洗濯物の素材や大きさにより実際の重さは異なります。



洗濯物の重さの目安は、一般社団法人　日本電機工業会・自主基準によるものです。

洗濯物の片寄りを防ぐ

脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなります。
自動で修正できない場合は、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
洗濯物の片寄りを防ぐには、次のようなことに注意してください。

洗濯物を洗濯・脱水槽の中に入れるときは	●重いものが片寄らないように、洗濯物は洗濯・脱水槽の外側に均一に広げて入れてください。  ●洗濯物を詰め込み過ぎないでください。
洗濯ネットを使うときは	●洗濯ネットには洗濯物を詰め込み過ぎないでください。 片寄りやすくなるだけでなく、汚れ落ちもわるくなります。 2、3個の洗濯ネットに分けて入れてください。 ●一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。 洗濯物が片寄り、異常振動の原因になります。  ※洗濯ネットのファスナーは閉めてください。 閉めないで使用すると洗濯物を傷める場合があります。
大物(シーツ)や厚手の洗濯物(ジーンズ、柔道着、つなぎなど)、洗濯ネットに入れた洗濯物は	●一つだけでは洗濯しないでください。 2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。  ●先に洗濯・脱水槽に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗剤や柔軟剤の使いかた

洗剤や柔軟剤は、手順に従い、適量を投入口に入れてください。

洗濯物の量の計測と洗剤量表示

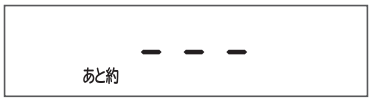
洗濯物の量は自動計測され、それに合わせた洗剤量が表示されます。

1 洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる

2 電源を入れ、運転するコースを選び、
スタート 一時停止 を押す

かくはん翼と洗濯・脱水槽が回転し、洗濯物の量が自動計測されます。

あらかじめ水が入っている場合や、「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されません。



洗濯物の量測定中の表示

洗濯物の量に合わせた水量と洗剤量(目安)が表示されます。

「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」コースは、水量に合わせて表示されます。



水量表示例：水量72L
洗剤量(目安)表示例：洗剤1.0杯

運転時間(目安)表示に切り替わります。



運転時間(目安)表示例：1時間30分

洗剤量(目安)の再表示
洗い終了までの間に
洗い **をタッチする**



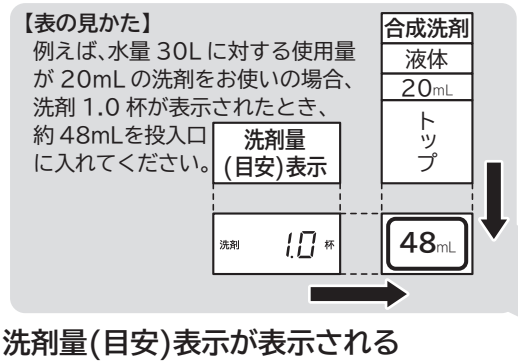
(押している間、洗剤量が表示されます)

3 右表を参考に洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れ、内ふた、ふたを閉める

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた→(P.20)

ふたを閉めてから、約1分後に給水が始まります。
ふたが開いていると給水されません。

洗剤・漂白剤・柔軟剤量



洗剤量(目安)表示が表示される
※水量はコースによって、手動で設定してください。

水量(手動設定)/洗濯物の量	洗剤量(目安)表示
82L ※ 約12kg以下	洗剤 1.2 杯
72L 約12kg以下	洗剤 1.0 杯
	洗剤 0.9 杯
55L 約6kg以下	洗剤 0.8 杯
	洗剤 0.7 杯
42L 約3kg以下	洗剤 0.6 杯
	洗剤 0.5 杯
26L 約1kg以下	洗剤 0.3 杯

「温水ミスト」(90分)設定のときは、上の表の使用量を参考にしてください。

「温水ミスト」(180分)設定のとき

42L 約2kg以下	洗剤 1.2 杯

「温水ミスト」(180分)設定のときは、粉末合成洗剤を使用してください。
(粉末合成洗剤を通常の約2倍使用)

洗剤および洗濯物の量

- ●洗剤を入れ過ぎると泡が多量に発生し、水漏れや排水口から泡があふれるおそれがあります。
- ●香りの強い柔軟剤を使用すると、洗濯終了後に洗濯・脱水槽のにおいが気になる場合があります。
- ●表の洗濯物の量は、JIS（日本工業規格）で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯物の量が変わります。
  通常の洗濯では洗濯物の量の目安は7～8割が適当です。

使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている使用量の目安を確認し、操作パネルに表示された洗剤量(目安)表示に従って、適量を投入口に入れてください。

(2017年4月現在)

合成洗剤							石けん		漂白剤	柔軟剤			
粉末			液体			液体中性	粉末	液体		濃縮			普通
水量30Lに対する洗剤使用量(容器の記載を確認)													
20g	25g	35g	10mL	20mL	25mL	40mL	36g	50mL	20mL	4mL	7mL	10mL	20mL
アタック	アタックリセットパワートップ	アリエール	アタックNeoナノックス	トップ	アタックアリエール	エマールアクロン	そよ風	洗濯用液体複合石けん	ワイドハイターEXパワーブライトW	ハミングNEO	ハミング(濃縮)ふんわりソフラン	レノア香りとデオドラントのソフラン	ハミングレノアプラス
55g	68g	96g	27mL	55mL	68mL	109mL	98g	137mL	55mL	11mL	19mL	27mL	55mL
48g	60g	84g	24mL	48mL	60mL	96mL	86g	120mL	48mL	10mL	17mL	24mL	48mL
44g	54g	76g	21mL	44mL	54mL	86mL	77g	108mL					
37g	46g	64g	18mL	37mL	46mL	73mL	66g	92mL	37mL	7mL	13mL	18mL	37mL
32g	40g	58g	16mL	32mL	40mL	63mL	57g	83mL					
28g	35g	49g	14mL	28mL	35mL	56mL	50g	70mL	28mL	6mL	10mL	14mL	28mL
23g	28g	44g	11mL	23mL	28mL	46mL	40g	63mL					
17g	22g	30g	9mL	17mL	22mL	35mL	31g	43mL	17mL	3mL	6mL	9mL	17mL
56g	70g	98g	—	—	—	—	100g	—	56mL	6mL	10mL	14mL	28mL

●洗剤量表示：水30Lに対する表示が20gの粉末合成洗剤の同梱スプーン(すりきり1杯約47g)のものを基準にしています。

●洗剤を使用する場合は、洗剤の容器に記載されている「使用量の目安」を参考にしてください。
また、洗剤の種類により、スプーンまたはキャップ1杯の洗剤量が異なります。

●軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5〜6割)が適当です。

●[eco]センサーシステム動作時は、規定洗剤量の約1割減が洗剤量(目安)表示となります。
環境条件(水の硬度や水温など)により、洗剤量(目安)表示が変わらない(設定なしと同じ)ときがあります。

重曹は使用しないでください。故障の原因になります。

洗剤や柔軟剤の使いかた　つづき

洗剤・漂白剤・柔軟剤の入れかた

洗剤(粉末・液体)と漂白剤は、同じ投入口です。柔軟剤は、洗剤・漂白剤と投入口が異なりますので注意してください。指定の投入口に正しく入れてください。

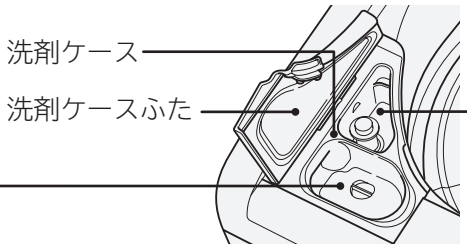
●洗剤・漂白剤・柔軟剤は、洗剤量(目安)表示に従って、使用する洗剤・漂白剤・柔軟剤の容器に記載されている「使用量の目安」を確認し、適量を投入口に入れてください。→**(P.18)**

●天然粉末石けん、複合石けんを使う場合は、洗剤ケースに入れないでください。
石けん(天然油脂)の入れかた→**(P.22)**

●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤を使用する場合は、よく溶かしてから洗濯・脱水槽内に直接入れてください。

●パワージェルボールなどの洗剤は、洗濯・脱水槽に直接入れてください。

洗剤ケース



粉末合成洗剤・液体洗剤・漂白剤投入口

洗剤残りを防ぐために

●洗剤を入れ過ぎないでください。
●洗剤ケースがぬれている場合は、乾いた布でふいてから、洗剤を入れてください。
●固まっている洗剤は、砕いてから入れてください。
●粘性の高い液体洗剤は、水で薄めてから投入口に流し込んでください。

●漂白剤は、洗濯物に直接かけないでください。
●変色、布破れの原因になります。

柔軟剤投入口

●柔軟剤を入れ過ぎないでください。
流れ出して洗濯物に直接かかり、変色や黒ずみの原因になります。
●運転終了後に柔軟剤投入口内に水が残りますが、異常ではありません。
●柔軟剤を入れたまま長時間放置すると、柔軟剤が固まってしまう場合があります。
●次のような柔軟剤は、においが気になる場合があります。
・香りの強い柔軟剤　・粘性の高いもの
次のことをお試しください。
・柔軟剤の使用量を減らしてください。
・香りの強い柔軟剤以外をお試しください。
・「槽洗浄」コースで、洗濯・脱水槽を洗い流してください。→**(P.72)**

漂白剤の種類

・使用量および使いかたは、漂白剤の表示に従ってください。
・「槽洗浄」コース以外では、塩素系漂白剤を使用しないでください。

酸化型	**酸素系** (ワイドハイター、カラーブライトなど)	色・柄物に使えます。 粉末の場合は、毛・絹には使えません。
	塩素系(ハイターなど)	色・柄物に使えません。
還元型 **(ハイドロハイター)**	水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、ワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。	

使用する前に漂白剤の容器に記載してある注意書きをよくご覧になり、正しく使用してください。

洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる手順

1 操作パネルに洗剤量(目安)が表示されたあと
洗剤ケースふたを開ける

2 **給水する前に、洗剤を粉末合成洗剤・液体洗剤・漂白剤投入口に入れる**
洗剤量は洗剤量(目安)表示に従って入れてください。→**(P.18)**
ふたを閉めてから約1分後に給水が始まります。
ふたが開いていると給水されません。

3 (必要に応じて)
漂白剤を粉末合成洗剤・液体洗剤・漂白剤投入口に入れる

4 (必要に応じて)
柔軟剤を柔軟剤投入口に入れる(最大60mL)

5 **洗剤ケースふたを閉める**
洗剤ケースふたを無理に閉めようとすると、破損するおそれがあります。

黒ずみ・黄ばみの原因

- **洗剤が少な過ぎたり、入れ過ぎたりすると、汚れ落ちがわるくなります。**
- **柔軟剤を入れ過ぎると、洗濯運転を繰り返すごとに柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなります。**

黒ずみ・黄ばみを直したいときは、下記をお試しください。

【ご注意】
洗濯物を傷める場合もありますので、洗剤・漂白剤の注意書きや取扱絵表示などを確認してください。
状態によっては完全に直せない場合があります。
・3倍濃度の洗剤液に一晩つけ置きしたあと、洗濯してください。
・白物は塩素系漂白剤または還元型漂白剤(ハイドロハイター)、色・柄物は酸素系漂白剤で漂白(洗面器などに短時間のつけ置き)してください。

洗剤や柔軟剤の使いかた　つづき

石けん(天然油脂)の入れかた

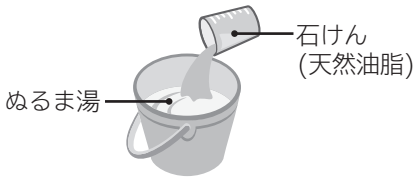
天然粉末石けんや複合石けんなどの石けん(天然油脂)は、次の方法でよく溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。洗剤ケースに入れないでください。

バケツなどで溶かす

1 バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する

2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす

石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かします。



3 洗濯物を入れ、コースを選ぶ

4 スタート 一時停止 を押し、運転する

5 溶かした石けん液を、洗濯・脱水槽に直接入れ、運転を続ける



次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき
洗濯・脱水槽で固まるおそれがあります。

●「つけおき」「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」コースのとき
これらのコースでは、つけおき洗いを行うため、洗剤かすが付着しやすくなり黒ずみや黄ばみの原因になります。

●[eco]センサーシステム、[洗剤・汚れ]センサーシステム、温水ミストを設定したとき、あらかじめ水が入っていると、これらの設定は作動しません。

●使用量が多過ぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けんかすが洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。
●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まるおそれがあります。
●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、すすぎを十分に行ってください。
すすぎが十分でないと黄ばみ・においの原因や乾燥後に変色することがあります。
●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1か月に一度を目安に日立純正洗濯槽クリーナーを使い、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.72)**
●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす(金属石けん)の発生を抑えることができます。
●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かす」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。

洗濯・脱水槽で直接溶かす

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) をタッチし、「標準」コースを選ぶ

3 水量 洗い すすぎ 脱水 追脱ほぐし(3秒押し) をタッチし、水量「26L」、洗い「5分」を設定する

すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。

4 スタート 一時停止 を押し、運転する

5 給水後、かくはんが始まったら、スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する

6 石けん(天然油脂)を洗濯・脱水槽に入れ、スタート 一時停止 を押し、運転を再開する

7 運転終了後、洗濯物を入れ、コースを選ぶ

8 スタート 一時停止 を押し、運転する

洗いのとき、あらかじめ水が入っているので、水量が多めになります。

洗濯のりの使いかた

脱水運転終了後の洗濯物に、のり付けするときの手順を説明します。

使用できる洗濯のり

使用できる洗濯のりは、化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAc)と表示されているものに限ります。

- ●上記以外の洗濯のりは、故障の原因になります。使用する前に成分表示を確認してください。
  成分表にPVA(ポリビニルアルコール)と記載のある洗濯のりは使用しないでください。
  十分なのり付けができなかったり、故障の原因になることがあります。
- ●のり付けした洗濯物は、乾燥運転をさせないでください。

のり付け運転の手順

のりを溶かす

1 切/入 **を押し、電源を入れ、** 洗濯 **をタッチし、「標準」コースを選ぶ**

2 水量 洗い すすぎ 脱水 **をタッチし、水量「26L」、洗い「5分」を設定する**
すすぎ「なし(表示を消す)」、脱水「なし(表示を消す)」を設定します。

3 スタート 一時停止 **を押し、運転する**

4 **給水後、かくはんが始まったら、** スタート 一時停止 **を押し、運転を一時停止する**

5 **洗濯・脱水槽に洗濯のりを直接入れ、** スタート 一時停止 **を押し、運転を再開する**
運転終了後、洗濯のりが溶けたことを確認します。

のり付けをする

6 **のり付けする洗濯物(3kg以下)を入れる**
ぬれた洗濯物の量と重さの目安 **→(P.16)**

7 切/入 **を押し、電源を入れ、** 洗濯 **をタッチし、「標準」コースを選ぶ**

8 水量 洗い すすぎ 脱水 **をタッチし、水量「55L」、洗い「5分」、脱水「1分」を設定する**
すすぎ「なし(表示を消す)」を設定します。

9 スタート 一時停止 **を押し、運転する**

10 **運転終了後、洗濯物を取り出す**

洗濯・脱水槽をすすぐ

短い時間ですすぎたいとき

11 切/入 **を押し、電源を入れ、** 洗濯 **をタッチし、「標準」コースを選ぶ**
洗剤、洗濯物は入れないでください。

12 水量 **をタッチし、「82L」を設定する**

13 スタート 一時停止 **を押し、運転する**

念入りにすすぎたいとき

11 切/入 **を押し、電源を入れ、** 洗濯 **をタッチし、「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶ→(P.72)**
洗剤、洗濯物は入れないでください。

12 スタート 一時停止 **を押し、運転する**

風呂水(お湯取運転)を使う

洗濯運転時の行程ごとに、使用する水を、風呂水と水道水から選ぶことができます。

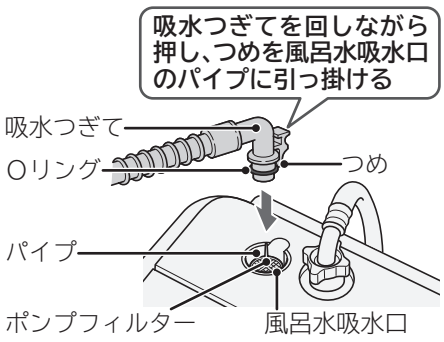
お湯取ホースの取り付けかた・取り外しかた

お湯取運転をするときは、付属品のお湯取ホースとクリーンフィルターを取り付けてください。

1 風呂水吸水口のキャップを外す

2 お湯取ホースの吸水つぎてを、風呂水吸水口に取り付ける

- ●吸水つぎてのつめをパイプに引っ掛け、抜けないことを確認してください。
- ●Oリングを外したり、傷つけたりしないでください。外すと空気が入り込み、吸水されなくなります。
- ●風呂水吸水口のポンプフィルターを中に押し込まないように注意してください。



3 クリーンフィルターを浴槽に入れる

お湯取ホースの長さ調節

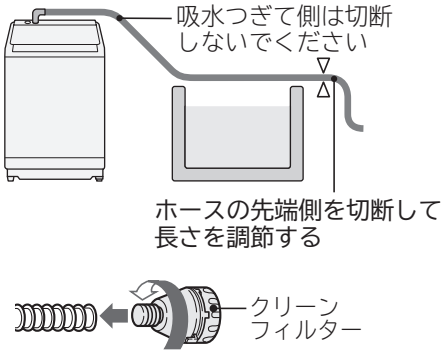
お湯取ホースの先端を浴槽に入れ、お湯取ホースの長さを調節する

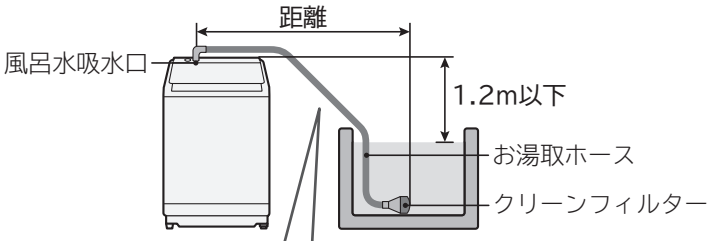
お湯取ホースにクリーンフィルターを回しながら取り付ける

お湯取ホースの内側を水でぬらすと差し込みやすくなります。

- ●付属品のお湯取ホースは約4mです。
- ●風呂水吸水口からクリーンフィルターまでの距離が3m以内になるように、お湯取ホースの先端側をはさみやカッターで切断します。

※付属品のお湯取ホースの長さが足りないときは、別売り部品のお湯取ホースを使用してください。





吸水中は、水の重さによりお湯取ホースが垂れ下がり、クリーンフィルターが浮き上がる場合がありますので、垂れ下がりを考慮してホースの長さを決めてください。

別売り部品の場合 →(P.86)

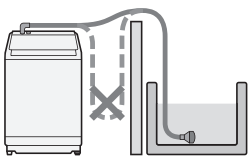
お湯取ホース	距離
約7m	6m以内
約5m	4m以内

- ●約7mホース(クリーンフィルターなし)
  部品番号 NW-7P5-045
- ●約5mホース(クリーンフィルター付き)
  部品番号 NW-7P5-046

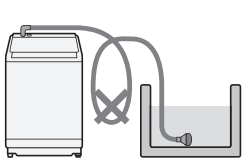
お湯取ホース使用時のご注意

お湯取運転を始める前に、お湯取ホースが正しく取り付けられているかを確認してください。
正しく取り付けられていないと、風呂水が吸水されなくなり、水漏れの原因になります。

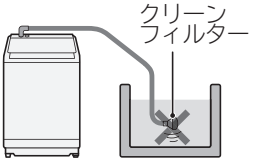
高い壁を越えるときは、たるみをなくす



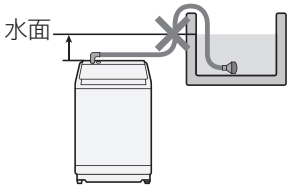
お湯取ホースは巻いたまま使わない



クリーンフィルターが浮き上がらないようにする



風呂水吸水口よりも浴槽の水面が高い場所で使わない



風呂水(お湯取運転)を使う　つづき

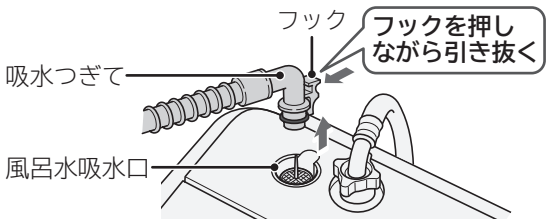
お湯取ホースの取り外しかた

お湯取ホースを使用しないときは、本体から取り外しておくことをおすすめします。

1 浴槽からクリーンフィルターを取り出す

2 吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く

吸水つぎてを取り付けたまま、お湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して、洗濯物をぬらすおそれがあります。



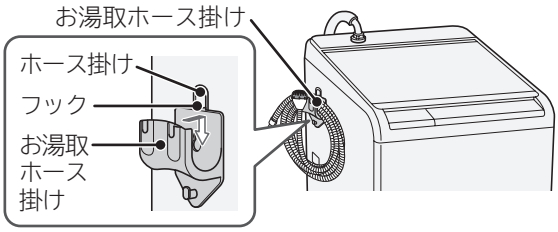
3 風呂水吸水口のキャップを取り付ける

4 クリーンフィルター部を上向きにして、お湯取ホース掛けにかける

お湯取ホースやクリーンフィルター内の残水は排水してください。床面をぬらすおそれがあります。

お湯取ホース掛けの使いかた

お湯取ホース掛けのフックをホース掛けの穴に入れて、止まるまで押し下げてください。
本体の左右どちらでも取り付けられます。

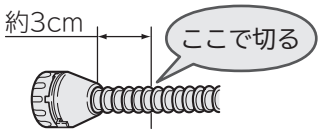


クリーンフィルターの取り外しかた

クリーンフィルターは、一度取り付けると手で簡単に外せません。
ホースの長さ調節のために、クリーンフィルターを取り外すときは、次の手順に従ってください。

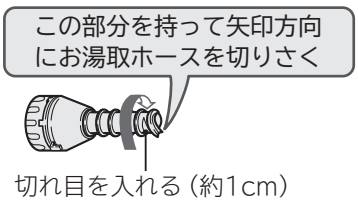
1 お湯取ホースを切断する

クリーンフィルターの根元から約3cmの所でお湯取ホースを切断します。



2 クリーンフィルターに付いているお湯取ホースを取り除く

お湯取ホースの先端に約１cmの切れ目を入れ、時計方向に切りさきながらお湯取ホースを取り除きます。



お湯取運転の設定

お湯取運転をするときも、水栓(蛇口)を開けてください。風呂水ポンプの吸い上げ運転の際、一定量の水(呼び水)の給水が必要になるため、お湯取運転時にも水道水が使われます。

お湯取運転の設定手順

1 **水栓(蛇口)を開け、 切/入 を押し、電源を入れる**

2 **洗濯 または 洗・乾 をタッチし、コースを選ぶ**

「デリケート」「おしゃれ着」「ダニ対策」コース、乾燥運転では、お湯取運転の設定ができません。

3 **お湯取 をタッチし、お湯取運転したい行程の表示を点灯させる**

タッチするごとに表示が切り替わります。
清水すすぎを設定する→(P.28)

次のようなお湯取運転の設定はできません。
・洗い行程を水道水に設定した場合のすすぎ行程
・「ナイアガラすすぎ」のすすぎ行程

パネルの表示	行程内容
洗い すすぎ1 すすぎ2 全点灯	「洗い」から「すすぎ2」(2回目)まで風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」「すすぎ1」点灯	「洗い」と「すすぎ1」(1回目)を風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 「洗い」のみ点灯	「洗い」のみ風呂水吸水(お湯取)します。
洗い すすぎ1 すすぎ2 全消灯	風呂水吸水(お湯取)しません。

4 **スタート 一時停止 を押し、運転する**

●設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。変更した内容を次回運転時まで記憶させたい場合は、「お湯取運転の設定を記憶する」に切り替えてください。→(P.28)

運転中に変更させる場合

1 **洗いやすすぎの給水中に スタート 一時停止 を押し、運転を一時停止する**

2 **お湯取 をタッチし、お湯取運転したい行程に変更する**

洗いやすすぎ行程で、設定水量に達してから1分後は、お湯取運転の設定はできません。

3 **スタート 一時停止 を押し、運転を再開する**

お湯取運転中の注意

風呂水の吸水状態により、水道水運転よりも運転時間が長くなることがあります。
お湯取運転中に風呂水がなくなると、自動で水道水給水に切り替わります。

・「注水すすぎ」を設定した場合は、すすぎ行程で設定水量に達してからは、水道水が給水されます。
・風呂水ポンプが作動しても、風呂水を吸い上げ始めるまでに1～3分間かかります。
お湯取ホース内の空気を抜くためです。
・運転途中で風呂水がなくなった場合や、正しく風呂水吸水されない場合は、風呂水ポンプが作動してから約12分後に自動で水道水給水に切り替わるため、運転時間が長くなります。
水道水に切り替わったあとの運転は、すべて水道水が給水されます。
・発泡、ゼリー、とろみタイプの入浴剤を入れた風呂水は使用しないでください。
吸水されない場合があります。

風呂水(お湯取運転)を使う　つづき

お湯取運転の設定を記憶させる手順

お湯取運転の設定を次回運転時まで記憶する／しないを切り替えることができます。

工場出荷時は「お湯取運転の設定を記憶しない」が設定されています。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 お湯取 を3秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
「設定を記憶する」を設定すると、次回電源を入れたときも、お湯取運転の設定になっています。

-	設定を記憶しない(工場出荷時)	「ピー」音でお知らせします
P	設定を記憶する	「ピッ」音でお知らせします

3 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

お湯取運転の最後に水道水ですすぐ手順（清水すすぎ）

最後のすすぎ行程を「お湯取」に設定した場合、すすぎ行程の最後に自動で水道水のすすぎ運転を行います。

工場出荷時は「清水すすぎの設定なし」が設定されています。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 をタッチし、「標準」コースを選ぶ

3 洗い すすぎ 脱水 をタッチし、すべての表示を消す

洗い「なし(表示なし)」、すすぎ「なし(表示なし)」、脱水「なし(表示なし)」を設定します。

4 お湯取 を3秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

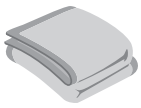
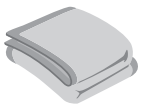
0	設定なし(工場出荷時)(清水すすぎは行いません)	「ピー」音でお知らせします
1	設定あり	「ピッ」音でお知らせします

5 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

●清水すすぎに使用する水道水は約6Lです。ためすすぎにはなりません。
●最終すすぎに水道水を設定した場合は、清水すすぎは行いません。

運転コースの選びかた

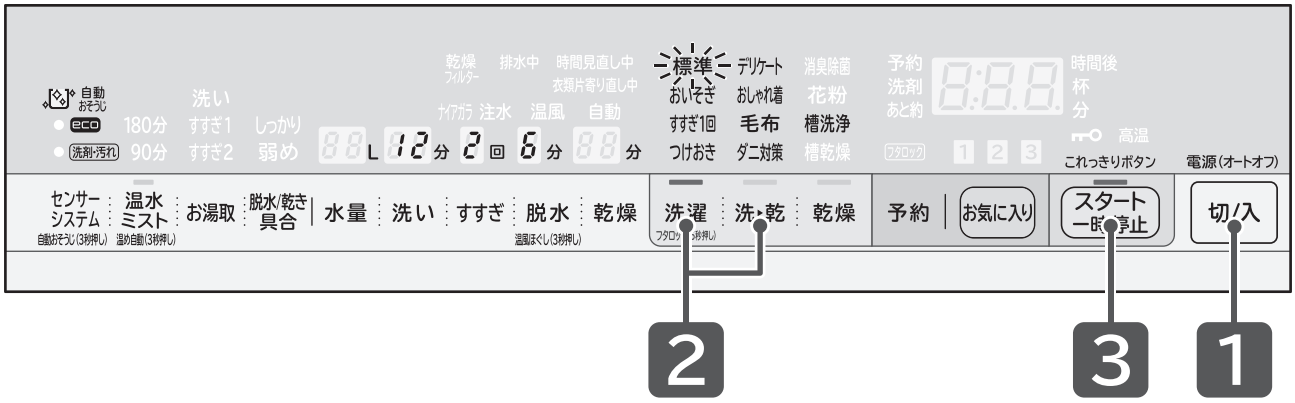
洗濯物の種類	コース	運転方法(最大洗濯・乾燥容量)			おすすめ洗剤 →(P.19) (乾燥コースは除く)
		洗濯	洗▶乾	乾燥	
普段の洗濯物 ・パジャマ ・肌着など 	標準	12kg	6kg	6kg	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
軽い汚れを短時間に洗濯・乾燥したいとき ・パジャマ ・肌着など 	おいそぎ	6kg	3kg	—	(スピードコース用) 粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
すすぎ1回の専用洗剤で洗濯したいもの ・ワイシャツ ・パジャマなど 	すすぎ1回	12kg	6kg	—	すすぎ1回 専用洗剤
ガンコな汚れを落としたいとき ・靴下など 	つけおき	12kg	6kg	—	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
30 表示のあるデリケートな衣類のお洗濯に ・ランジェリー ・ストッキングなど 	デリケート →(P.40)	3kg	—	—	液体中性洗剤 または 液体合成洗剤 ※
Ⓟ 表示のある衣類のお洗濯に ・スカート ・セーターなど 	おしゃれ着 →(P.38)	1.5kg	—	0.4kg	(ドライマーク用) 液体中性洗剤
毛布や掛け布団など ・アクリル毛布 ・掛け布団 ・ベッドパッドなど 	毛布 →(P.35)	毛布：6kg 掛け布団：2kg	毛布：3.6kg 掛け布団：×	—	液体中性洗剤 または 液体合成洗剤 ※
ダニが気になるとき 	ダニ対策 →(P.42)	3kg	—	—	液体合成洗剤
においや雑菌が気になるとき ・スーツ ・ぬいぐるみなど 	消臭除菌 →(P.41)	—	—	1kg	—
花粉を取りたいとき ・肌着類 ・タオルなど 	花粉 →(P.41)	—	—	2kg	—
洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき ・洗濯物は入れないでください。 	槽洗浄 →(P.72)	11時間 3時間	—	—	日立純正洗濯槽クリーナー または 衣類用塩素系漂白剤
洗濯・脱水槽を乾かしたいとき ・洗濯物は入れないでください。 	槽乾燥 →(P.72)	—	—	30分	—

※ 使用できない洗剤もあります。

洗濯・洗濯～乾燥する

洗濯のみ、洗濯～乾燥までを行うときの手順です。お好みのコースを選ぶことができます。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) または 洗→乾 をタッチし、コースを選ぶ

タッチするごとにコースが選べます。また、各機能の設定・解除ができます。

3 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合や、「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」コースでは洗濯物の量は自動計測されません。

4 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

⚠注意

禁止

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

- **防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど硬くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品、カーペットは、洗い・すすぎ・脱水・乾燥をしないでください。**
- **毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯をしないでください。**
- **一辺が40cm以上の大きな洗濯ネットを使用しないでください。**
  脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損するおそれがあります。

各機能の設定・解除

「使いかた」の手順でコースを選んだあと、行程の変更→(P.54)や各機能の設定・解除ができます。
お好みに合わせて設定してください。（コースによっては変更・設定できないこともあります）
「温水ミスト」を設定した場合、洗濯・乾燥容量が異なります。

コース	センサーシステム →(P.46)	自動おそうじ →(P.48)	温水ミスト(90分/180分) →(P.49)	温水ミスト(温め自動) →(P.49)	風呂水(お湯取運転) →(P.25)	脱水/乾き具合 →(P.61)	ナイアガラすすぎ →(P.52)	温風ほぐし脱水「洗濯」運転のみ →(P.61)	予約 →(P.58)
標準	○	○	○	○	○	○	○	○	○
おいそぎ	ー	○	ー	○	○	○	ー	○	○
すすぎ1回	ー	○	ー	○	○	○	ー	○	○
つけおき	ー	○	ー	○	○	○	○	○	○
デリケート「洗濯」運転のみ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
おしゃれ着「洗濯」運転のみ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
毛布	ー	ー	ー	ー	○	ー	ー	ー	○
ダニ対策「洗濯」運転のみ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー

○‥‥設定可能　　ー‥‥設定不可

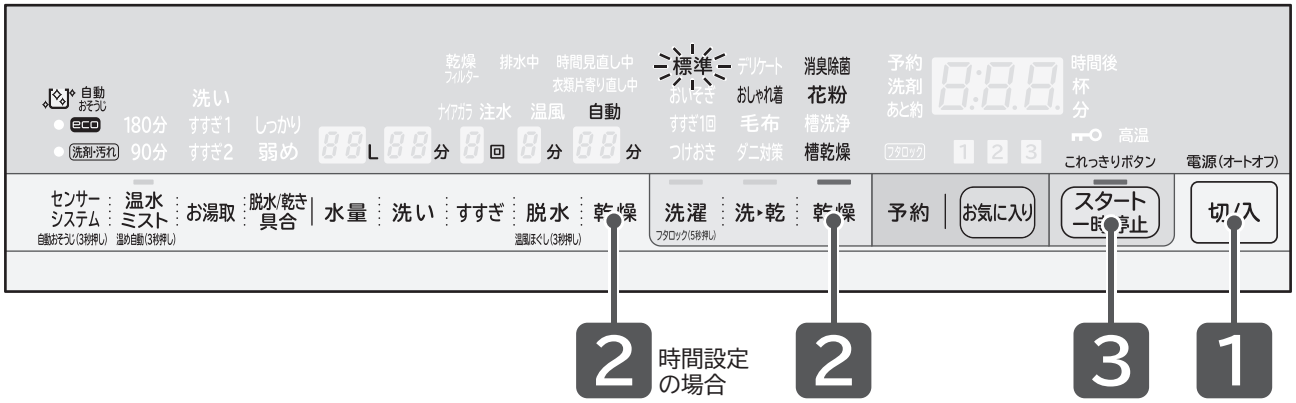
乾燥する

乾燥のみを行うときの手順です。洗濯は行いません。

使いかた

漂白剤などを使用した場合

洗濯時、漂白剤などを使用した場合は、においが残らない程度にすすいでから乾燥してください。
洗濯物に漂白剤などが残ったまま乾燥すると、本体の寿命を縮めたり、洗濯物を傷めたりします。



自動運転する場合

準備 **水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14〜17)**

水を使って冷却・除湿します。
水栓(蛇口)が閉まっていると乾燥できません。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 をタッチし、コースを選ぶ

タッチするごとにコースが選べます。
洗濯物が乾くまで1時間以上運転されます。

表示 **自動**

脱水/乾き具合を調節する→(P.61)

3 内ふた、ふたを閉め、
スタート 一時停止 を押す

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルターをお手入れする→(P.65、66)

時間設定して運転する場合

準備 **水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14〜17)**

水を使って冷却・除湿します。
水栓(蛇口)が閉まっていると乾燥できません。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 をタッチし、「標準」コースを選び、
乾燥 をタッチし、30/60/90分から時間を選ぶ

「標準」コースのみ時間を変更することができます。

表示 30分▶60分▶90分▶自動

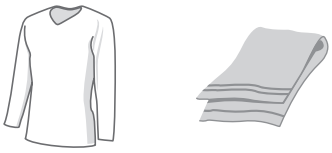
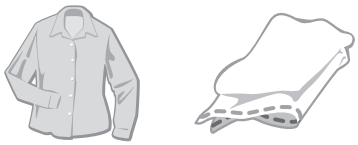
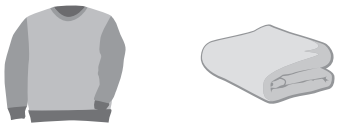
3 内ふた、ふたを閉め、
スタート 一時停止 を押す

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルターをお手入れする→(P.65、66)

「標準」コースの時間を使い分ける

乾燥の仕上がりを良くするための、コースや方法について説明します。

洗濯物の種類		おすすめの乾燥コース
しわがつきにくい洗濯物 ・肌着 ・タオル類 ・Tシャツ（装飾のないもの） ・トレーナー　など		「標準」コースで 「自動」設定
しわがつきやすい洗濯物 ・綿のシャツ（特に薄手のもの） ・シーツ　・パジャマ ・ハンカチ　・Tシャツ ・綿ズボン　・ブラウスなど		「標準」コースで 「30分」設定 ※乾燥終了後、 つり干しをします。
厚手で乾きにくい洗濯物 ・厚手のトレーナー ・バスタオル ・ジーンズ　など		「標準」コースで 脱水/乾き具合を 「しっかり」設定

しわがつきやすい洗濯物をまとめて洗濯・乾燥するとき

しわがつきやすい洗濯物は、次の手順をお試しください。

1. 洗▸乾 をタッチし、「標準」コースを選ぶ
2. 乾燥 をタッチし、「30分」を設定する
3. 運転終了後、しわがつきやすい洗濯物だけ取り出して、早めにつり干し乾燥する
4. 乾燥 をタッチし、「標準」コースを選び、「自動」を設定する
5. 残りの洗濯物を乾燥させる

しわを防ぐために

「おしゃれ着」コースを設定する→(P.38)

洗濯物の量を減らして、乾燥運転してください。
乾燥物の量は0.4kg以下です。

毛布コース･おしゃれ着コースでお洗濯キャップを使う

毛布コース・おしゃれ着コースで、洗濯運転中に洗濯物が浮いてしまうことを防ぐため、別売り部品のお洗濯キャップが必要になる場合があります。→(P.86)

お洗濯キャップの使いかた

お洗濯キャップを使用しないで洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。その場合は、保証の対象外になります。
（洗濯物の損傷費用はお客様負担となり、部品の修理は有料となります）

お洗濯キャップを使用するときの容量

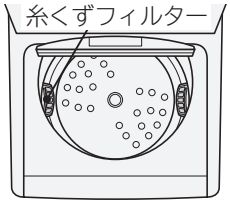
運転方法	「毛布」コース				「おしゃれ着」コース	
	毛布		掛け布団		容量	お洗濯キャップ
	容量	お洗濯キャップ	容量	お洗濯キャップ		
洗濯	3.6kg以下	必要に応じて使用する	2kg以下	使用する	0.4kg以下	必要に応じて使用する
	3.6kg～6kg	使用する			0.4kg～1.5kg	使用する
洗▸乾	3.6kg以下	使用できない	「洗▸乾」運転できない		「洗▸乾」運転できない	
乾燥	「乾燥」運転できない		「乾燥」運転できない		0.4kg以下	使用できない

3.6kg以下でも水に浮きやすい素材や軽いベッドパッドやカーテンなどは、洗濯ネットやお洗濯キャップをご使用ください。洗濯物を傷める場合があります。

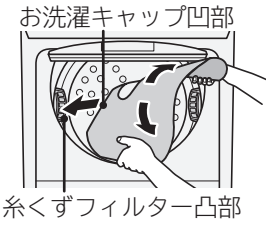
「洗▸乾」「乾燥」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

お洗濯キャップの取り付けかた

1 洗濯・脱水槽を回転させ、製品に対し糸くずフィルターを横の位置にする



2 お洗濯キャップの凹部を中心に折り曲げ、糸くずフィルターの凸部を合わせて入れる



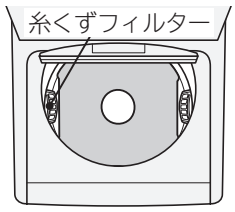
3 お洗濯キャップの中央リングを持って、各コースに応じてお洗濯キャップの位置を合わせる

【毛布コースの場合】
バランスリングのすぐ下まで引き上げる
【おしゃれ着コースの場合】
洗濯物の位置まで押し下げる。
→(P.16)

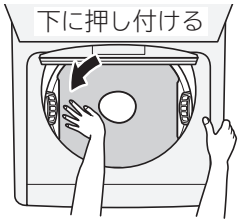


お洗濯キャップの取り外しかた

1 洗濯・脱水槽を回転させ、製品に対し糸くずフィルターを横の位置にする



2 お洗濯キャップの糸くずフィルター側(左右のどちらか一方)を下に押込む



3 お洗濯キャップの中央リング部を持って引き出す



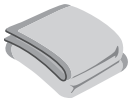
●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、指や腕を挟まないよう注意してください。
●お洗濯キャップの取り付け・取り外しのときは、お洗濯キャップが糸くずフィルターに当たらないように注意してください。糸くずフィルターが外れたり、破損したりするおそれがあります。

毛布コースで洗濯・洗濯～乾燥する

毛布など大物の洗濯物を、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で傷めず洗うコースです。
毛布、掛け布団、ベッドパッド、カーテンなどを「洗濯」「洗▸乾」運転するときは、「毛布」コースを使用してください。
「毛布」コース以外で運転すると、毛布などを傷める場合があります。

洗濯の準備

洗濯・洗濯～乾燥できるもの

	毛布	掛け布団
素材	化繊(ポリエステル、アクリル)または綿	詰め物素材が化繊(ポリエステル)または羽毛
取扱絵表示	(液温40℃を限度とし、手洗いができる)表示	詰め物素材が羽毛の場合 (液温40℃を限度とし、手洗いができる) または (液温は30℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる)表示
容量	 **毛布（ダブルサイズ）** [洗濯]**6kg以下**(合計1枚まで) [洗濯～乾燥]**3.6kg以下**(合計1枚まで)	 **掛け布団（ダブルサイズ）** [洗濯]詰め物素材が化繊の重さ **2kg以下**(合計1枚まで) [洗濯]詰め物素材が羽毛の重さ **1.4kg以下**(合計1枚まで) **[洗濯～乾燥]運転できない**
	毛布（シングルサイズ） [洗濯]**6kg以下**(合計4枚まで) [洗濯～乾燥]**3.6kg以下**(合計2枚まで)	**掛け布団（シングルサイズ）** [洗濯]詰め物素材が化繊の重さ **2kg以下**(合計2枚まで) [洗濯]詰め物素材が羽毛の重さ **1.4kg以下**(合計2枚まで) **[洗濯～乾燥]運転できない**
サイズの目安(約)	ダブル　：幅180cm×長さ210cm シングル：幅140cm×長さ210cm	ダブル　：幅190cm×長さ210cm シングル：幅150cm×長さ210cm
使用する洗剤	**液体合成洗剤または液体中性洗剤** 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。	

そのほか、 表示のベッドパッド、タオルケット、レースのカーテン(6kg以下)も洗濯できます。ただし、水に浮きやすい素材や軽いものの場合は、洗濯ネットやお洗濯キャップをご使用ください。洗濯物を傷める場合があります。

洗濯、洗濯～乾燥できないもの

	毛布	掛け布団
素材	●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布 洗濯できる電気毛布は、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。 ●異なる素材・大きさのもの(2枚以上の場合)	●詰め物素材が羊毛(ウール)のもの ●カバー材質が絹のもの ●カバー材質が防水性のもの ●詰め物素材がポリエステル100%のものは乾燥できません

運転動作

洗い
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽回転水流で洗います。(約25分間)

▶

すすぎ(注水すすぎ)
排水・脱水し、給水(注水)しながら洗濯・脱水槽が回転します。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

▶

乾燥(「洗▸乾」運転の場合のみ)
洗濯・脱水槽を回して乾燥します。

毛布コースで洗濯・洗濯～乾燥する　つづき

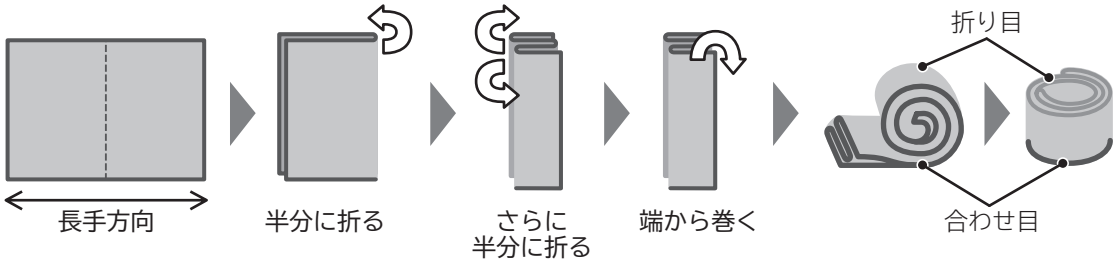
毛布・掛け布団の折りかた・入れかた

お洗濯キャップを使用しないときの毛布・掛け布団の入れかた

毛布(3.6kg以下)を「洗▸乾」運転する場合は、お洗濯キャップは使用しないでください。

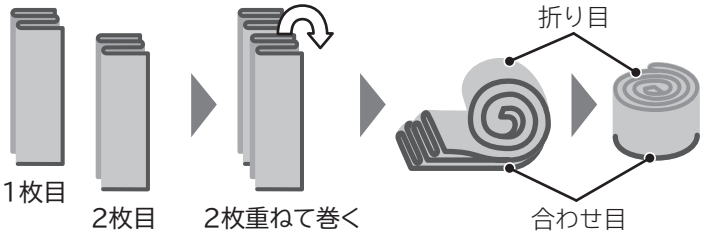
折りかた

1枚の場合

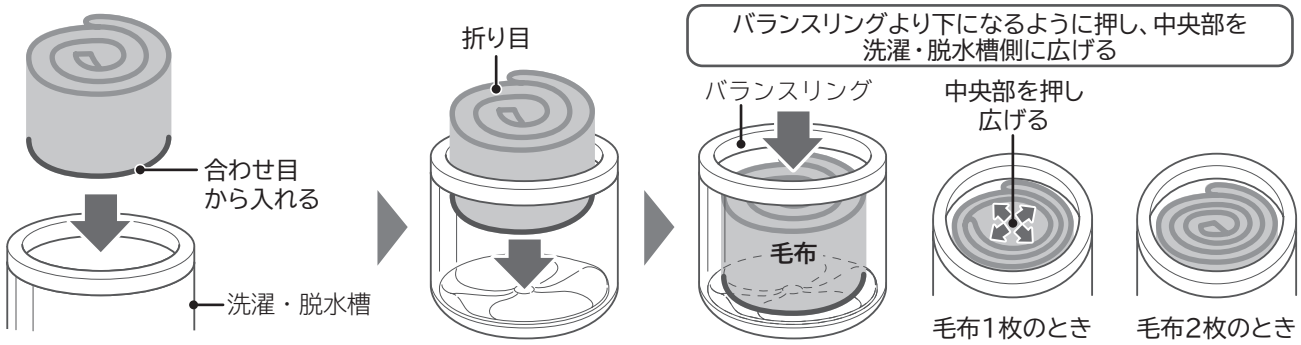


2枚の場合

1枚の折りかたと同様に折り、2枚重ねて巻く
毛布の種類・厚さによっては投入できない場合があります。



入れかた

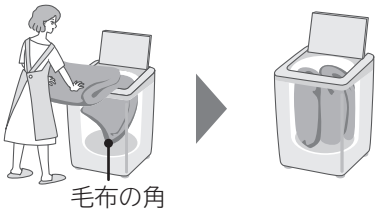


毛布の合わせ目から洗濯・脱水槽に入れないと、運転中に毛布を傷める場合があります。

お洗濯キャップを使用するときの毛布・掛け布団の入れかた

1 **毛布、掛け布団の角から、洗濯・脱水槽に少しずつ入れる**

2 **掛け布団は中の空気を追い出すように、少しずつ入れる**



お洗濯キャップを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損するおそれがあります。

⚠注意

禁止

脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために→(P.10)

●毛布など大物の洗濯物を折りたたんだまま重ねた状態で洗濯・脱水槽には絶対に入れないでください。

折りたたんだ衣類の固まりが、脱水中に突然バランスをくずし、異常振動が発生するおそれがあります。脱水時の異常振動により、洗濯物が飛び出したり、衣類が損傷したり、本体や周囲の壁や床などを破損することがあります。
また、本体が転倒することもあります。



使いかた

「洗▸乾」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.35)

お洗濯キャップを使用するときの容量 →(P.34)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 フタロック(5秒押し) または 洗▸乾 をタッチし、「毛布」コースを選ぶ

お好みの設定で運転する→(P.54～57)
風呂水を使用する→(P.25～28)

3

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

4

液体洗剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

●掛け布団のえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤または部分洗い用洗剤を塗布して汚れを落としてください。
●「洗▸乾」運転終了後、乾きムラがあるときは、毛布の湿っている部分が外側になるように折り直し、乾燥「おしゃれ着」コースで再度乾燥させてください。

毛布・掛け布団の干しかた

風通しのよいところで自然乾燥させます。

●毛布　：湿っているうちにブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。
●掛け布団　：時々裏返すと乾きやすくなります。
　また、詰め物をつまんでほぐすとふっくら仕上がります。
●羽毛の掛け布団：詰め物の片寄りをほぐしてから干すとふっくら仕上がります。
　羽毛の変質と側地の傷みを防ぐため、シーツなどを上に掛けて干してください。

おしゃれ着コースで洗濯・乾燥する

遠心力による押し洗いで、衣類に水を通過させ、形くずれを抑えながら洗うコースです。
また、「脱水のみ」も設定できます。(低速で回転する脱水を行います)
〔 (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)、 Ⓟ (ドライクリーニングができる)表示の衣類〕

洗濯物の準備

洗濯できるもの

取扱絵表示	● (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ● Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 ● Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。**→(P.14)**
容量	**1.5kg以下**
使用する洗剤	**液体中性洗剤** 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

洗濯できないもの

取扱絵表示	● (家庭での洗濯禁止)表示のもの ● Ⓕ (石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示 ● Ⓕ (石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示 のものは、洗濯機で洗濯できません。

乾燥できるもの

取扱絵表示	● (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示 ● Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤によるドライクリーニングができる)表示と、 Ⓟ (パークロロエチレンおよび石油系溶剤による弱いドライクリーニングができる)表示、 (液温は40℃を限度とし、手洗いができる)表示または (液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯ができる)表示の組み合わせ 取扱絵表示および素材表示のないものは、クリーニング店にご相談ください。
容量	**0.4kg以下**、1枚のみ

乾燥できないもの

取扱絵表示	(タンブル乾燥禁止)表示のものは、洗濯機で乾燥できません。

運転動作

洗い
かくはん翼を回転させずに、洗濯・脱水槽を回す槽反転水流と休止を繰り返して洗います。

▶

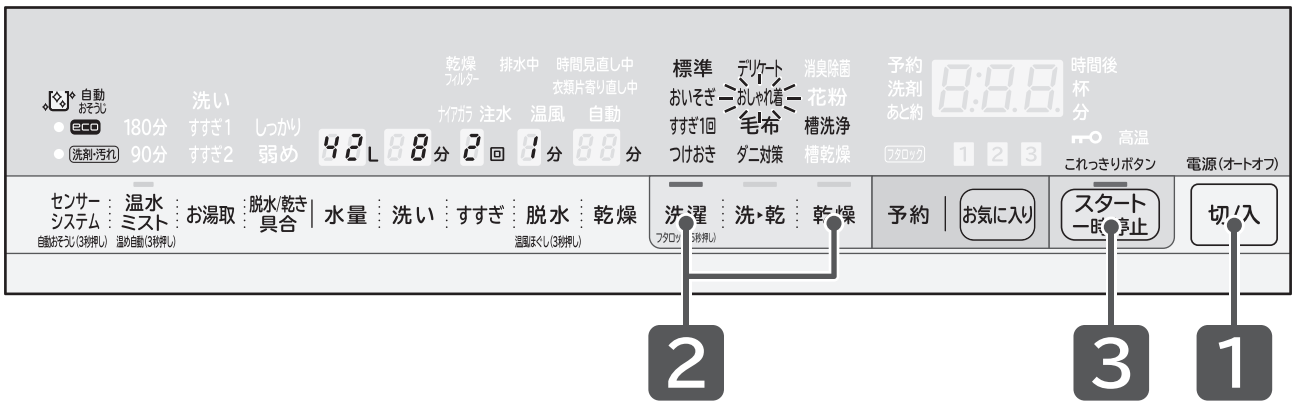
すすぎ(ためすすぎ)
排水・脱水し、給水後、洗濯・脱水槽が回転します。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

乾燥
(「乾燥」運転の場合のみ)
乾燥します。

使いかた



「乾燥」運転の場合は、乾燥の熱でお洗濯キャップが溶けてしまうため、使用しないでください。

準備

水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる

洗濯物の量と重さの目安→(P.16)

お洗濯キャップを使用するときの容量 →(P.34)

1

切/入 を押し、電源を入れる

2

洗濯 または 乾燥 をタッチし、「おしゃれ着」コースを選ぶ

お好みの設定で運転する→(P.54～57)

「洗濯」運転の場合

低速で回転する脱水を行うため、干すときに洗濯物から水が垂れるおそれがあります。
気になる場合は、脱水時間を変更してください。

3

スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

4

(「洗濯」運転時)

液体洗剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

5

運転終了後、洗濯物を取り出し、

糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

デリケートコースで洗濯する

水をたっぷり使い、弱水流で衣類を泳がせるように洗うコースです。
〔(液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる)表示のデリケートな衣類〕

洗濯物の準備

洗濯できるもの

取扱絵表示	(液温は30℃を限度とし、洗濯機で非常に弱い洗濯ができる)表示 上記の取扱絵表示があっても、洗えないものがあります。→(P.14)
容量	**3kg以下**
使用する洗剤	**液体中性洗剤または液体合成洗剤** 使用できない洗剤もありますので、洗剤の容器に記載されている内容を確認してください。 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

お湯や風呂水の残り湯は使用しないで、水道水を使用してください。
洗濯物の縮みや、入浴剤の色が移るおそれがあります。

運転動作

洗い
かくはん翼の回転による洗濯・脱水槽の回転・反転水流で洗います。
▶
すすぎ(ためすすぎ)
水をためて、槽反転します。
▶
排水・脱水
排水して、脱水します。

使いかた

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる
洗濯物の量と重さの目安→(P.16)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) をタッチし、「デリケート」コースを選ぶ
洗濯物量と水量の目安に合わせた水量を設定してください。
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3 スタート 一時停止 を押す
洗濯物の量は、自動計測されません。

4 液体洗剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)
水量に合わせて洗剤量(目安)が表示されます。
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルターをお手入れする→(P.64)

消臭除菌・花粉コースを使う

「消臭除菌」コースは、乾いた洗濯物のにおいや雑菌が気になるときにおすすめのコースです。
洗濯物に温風を吹きつけることで、消臭と除菌を行います。
「花粉」コースは、洗濯物の花粉を取りたいときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんな洗濯物に	最大容量	運転時間
消臭除菌	においや雑菌が気になるとき ●においの種類によっては、消臭できないものもあります。 ●菌の種類によっては、除菌できないものもあります。	1kg	35分
花粉	花粉を取りたいとき 洗濯物に付いた花粉を、洗濯・脱水槽内で落とし、排水と一緒に流します。	2kg	10分

消臭除菌コースが使えるもの 使えないもの→(P.14)

●ウール、アクリル製品(強撚糸以外)
●帽子やかばん(皮革、毛皮製品以外)
●靴やスリッパ
●スーツやスラックスなど
●ぬいぐるみ(詰め物にウレタンを使用していない製品)

・種類によっては運転できないものがあります。商品の取り扱い表示に従ってください。
・接着剤を使用している製品は消臭除菌できません。接着剤が溶けてはがれてしまうおそれがあります。

使いかた

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 をタッチし、「消臭除菌」コースまたは「花粉」コースを選ぶ

タッチするごとにコースが選べます。

3 内ふた、ふたを閉め、

スタート 一時停止 を押す

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

4 運転終了後、洗濯物を取り出し、
乾燥フィルターをお手入れする→(P.65、66)

ダニ対策コースを使う

ダニが気になるときにおすすめのコースです。
すすぎ運転の途中で洗濯物に温風を吹きつけることで、ダニ対策をすることができます。

洗濯物の準備

洗濯できるもの

素材	●毛布(アクリル、ポリエステル) シングルサイズ 幅140cm×長さ210cm以下 毛布の折りかた・入れかた→(P. 36) ●シーツ ●枕カバー
容量	3kg以下
使用する洗剤	液体合成洗剤 液体洗剤以外は使用しないでください。粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

洗濯できないもの

素材	●ぬいぐるみ　●枕　●掛け布団　●厚手の毛布　●羊毛(ウール)やカシミヤ素材のもの ●電気毛布　●異なる素材・大きさのもの(2枚以上の場合)

運転動作

洗い
かくはん翼の反動で、洗濯・脱水槽が逆方向に槽反転します。

▶

すすぎ(シャワーすすぎ)
シャワーをかけながらすすぎ、同時に排水します。

▶

温風加熱
ヒーターで温風を吹きつけて、洗濯物の温度を上げます。

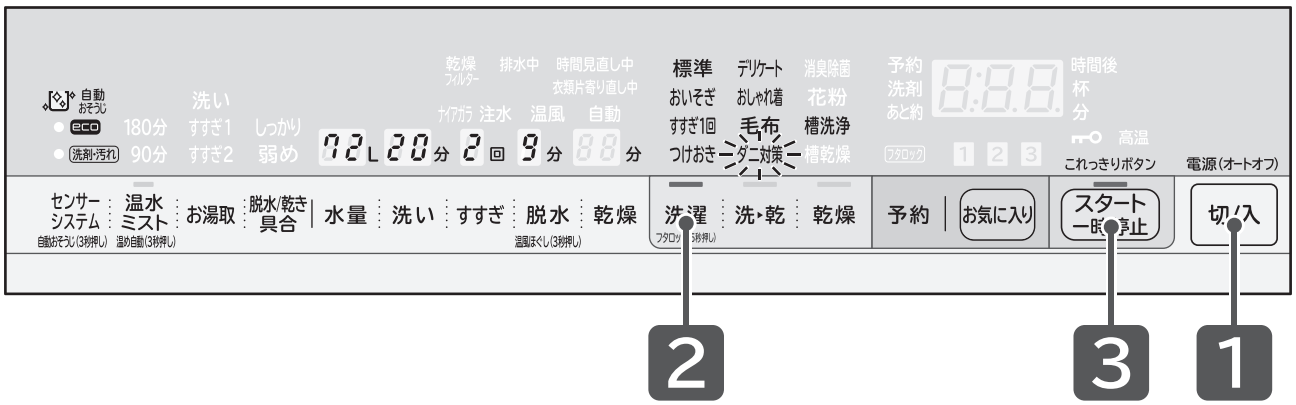
▶

すすぎ(ためすすぎ)
水をためてすすぎます。

▶

排水・脱水
排水して、脱水します。

使いかた



お洗濯キャップを使用しないでください。

準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.42)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) をタッチし、「ダニ対策」コースを選ぶ

3 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量は、自動計測されません。

4 液体洗剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

粉末洗剤は使用しないでください。
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

5 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする →(P.64～66)

[eco]センサーシステムを使う

[eco]センサーシステムは、「水の硬度」「水温」「洗剤」「布質」「布量」「すすぎ具合」「脱水具合」を検知し、洗剤量表示、使用水量、運転時間、すすぎ回数を自動で調節する機能です。

[eco]センサーシステムについて

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容
標準		センサーシステムを作動させない。
[eco] センサー システム		水硬度、水温、洗剤の種類(粉末/液体、濃縮)、布質、布量、すすぎ具合、脱水具合を検知して、洗剤量表示、使用水量、運転時間、すすぎ回数を自動で低減します。

設定できるコース

「標準」コース

運転動作

センシング洗剤溶かし(水硬度・水温・洗剤を検知) ▶ **洗い** ▶ **すすぎ(ためすすぎ)**(すすぎ具合を検知) ▶ **脱水**(脱水具合を検知)

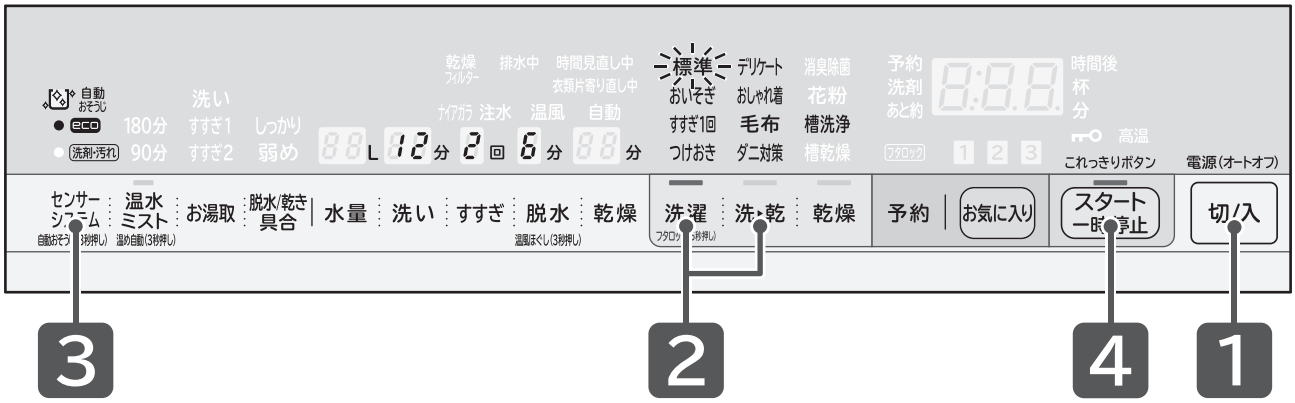
作動しない場合（その回の運転のみ自動で解除されます）

●「標準」コースを設定しても、洗い時間など手動で内容を変更した場合や、「温水ミスト」(温め自動/90分/180分)「ナイアガラすすぎ」を設定した場合。
最初に上記の変更または設定をした場合は、[eco]センサーシステムは設定できません。
●洗濯・脱水槽内に約3L以上の水が入った状態で運転を開始した場合。
●洗濯途中で行程を変更した場合。
●最終すすぎをお湯取運転にした場合。
入浴剤や風呂水の汚れ具合の影響を避けるため、風呂水の水硬度は判定されません。

こんなときには

●洗剤量表示、または運転時間が変化しない(減らない)
・お湯取運転をしている場合
・洗剤量(目安)表示が0.3杯の場合
・お住まいの地域(水の硬度や水温)、使用条件(洗剤の種類や投入量、汚れの種類や量)によっては変化しないことがあります。
硬水地域や水温が低い場合は、洗剤の泡立ちがわるいため、洗剤量、運転時間を減らしません。
同じ地域であっても、水道水を供給する浄水場によって、その水硬度は異なります。
●すすぎ設定が1回に変化する、または変化しない(減らない)
・濃縮洗剤(すすぎ1回専用洗剤)の場合に、洗剤のすすぎやすさを検知して、すすぎ回数が変化します。
洗剤の種類や投入量によっては、変化しない場合があります。
・洗剤の種類や量を計測して、洗剤のすすぎやすさを制御しています。
洗剤の種類によっては、すすぎ回数を減らしません。

使いかた



工場出荷時は「なし」が設定されています。設定を変更するときは

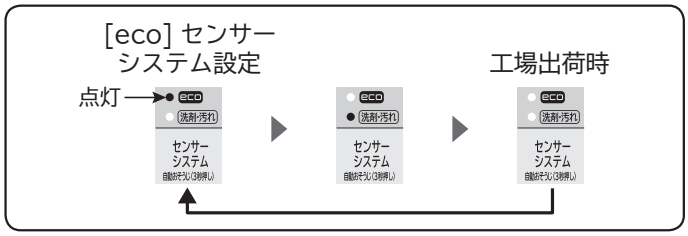
準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→**(P.14～17)**

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 をタッチし、「標準」コースを選ぶ

3 センサーシステム をタッチし、[eco]を設定する

タッチするごとに表示が切り替わり、変更することができます。
設定によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。→**(P.44)**



4 スタート 一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。
洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

5 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める →(P.18～21)
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする →(P.64～66)

[洗剤・汚れ]センサーシステムを使う

[洗剤・汚れ]センサーシステムは、洗剤の種類および汚れの落ち具合に応じて運転時間や洗いかたを自動で調節する機能です。

[洗剤・汚れ]センサーシステムについて

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容
標準		センサーシステムを作動させない。
[洗剤・汚れ]センサーシステム		衣類の汚れ具合、洗剤の種類(粉末/液体、濃縮)、布質、布量、すすぎ具合、脱水具合を検知して運転時間、水流パターンを自動で変更します。

設定できるコース

「標準」コース

運転動作

センシング洗剤溶かし
(洗剤の種類(粉末/液体、濃縮)を判別)
▶ **洗い**
(汚れ具合を検知)
▶ **すすぎ(ためすすぎ)**
(すすぎ具合を検知)
▶ **脱水**
(脱水具合を検知)

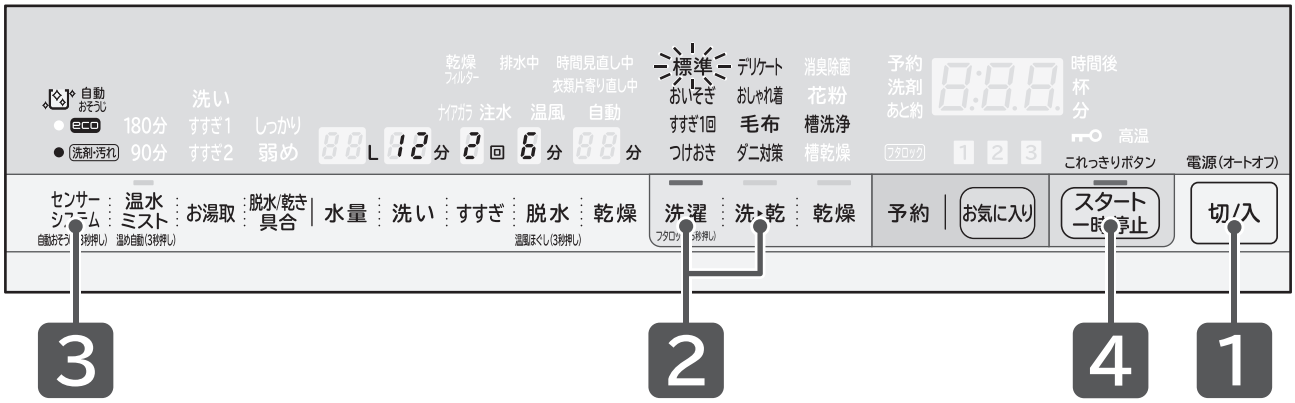
作動しない場合（その回の運転のみ自動で解除されます）

●「標準」コースを設定しても、洗い時間など手動で内容を変更した場合や、「温水ミスト」(90分/180分)「ナイアガラすすぎ」を設定した場合。
最初に、上記の変更または設定をした場合は、[洗剤・汚れ]センサーシステムは設定できません。
●洗濯・脱水槽内に約3L以上の水が入った状態で運転を開始した場合。
●洗濯途中で行程を変更した場合。
●お湯取運転にした場合。
入浴剤や風呂水の汚れ具合の影響を避けるため、衣類の汚れ、洗剤の種類は判定されません。

こんなときには

●運転時間が変化しない
・お湯取運転をしている場合
・使用条件(洗剤の種類や投入量、汚れの種類や量)によっては変化しないことがあります。
汚れの量が多い場合でも、汚れの落ち具合により、洗い時間を変更しないことがあります。
●すすぎ設定が1回に変化する、または変化しない(減らない)
・濃縮洗剤(すすぎ1回専用洗剤)の場合に、洗剤のすすぎやすさを検知して、すすぎ回数が変化します。
洗剤の種類や投入量によっては、変化しない場合があります。
・洗剤の種類や量を計測して、洗剤のすすぎやすさを制御しています。
洗剤の種類によっては、すすぎ回数を減らしません。
●[洗剤・汚れ]センサーシステムで、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が約3～10分程度長くなります。(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)

使いかた



工場出荷時は「なし」が設定されています。設定を変更するときは

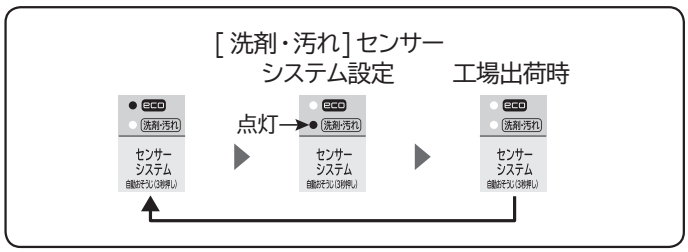
準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 または 洗・乾 をタッチし、「標準」コースを選ぶ

3 センサーシステム をタッチし、[洗剤・汚れ]を設定する

タッチするごとに表示が切り替わり、変更することができます。
設定内容によっては、自動で解除される場合や受け付けないことがあります。→(P.46)



4 スタート一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。
洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

5 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める →(P.18～21)
内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする →(P.64～66)

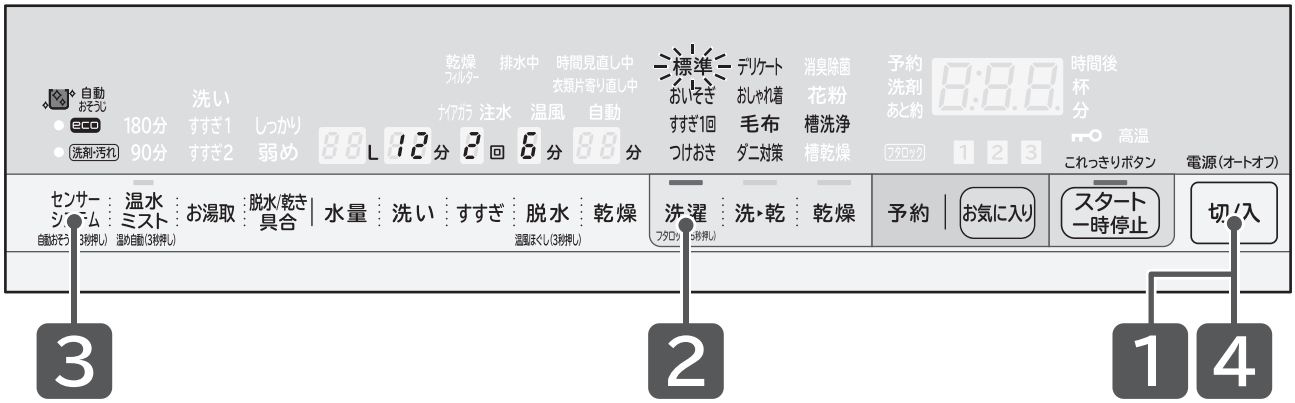
自動おそうじを使う

洗濯槽の裏側などの見えない部分に付着しやすい汚れなどを、水道水を使用して自動で洗い流します。
気持ちよく洗濯をするために、設定することをおすすめします。
また、「槽洗浄」コースを併用することで、気持ちよくお使いいただけます。→(P.72)

設定できないコース

「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」「槽洗浄」コース、「乾燥」運転

使いかた



1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 をタッチし、コースを選ぶ

洗濯 フタロック(5秒押し)

タッチするごとにコースが選べます。

3 センサーシステム を3秒以上タッチする

センサーシステム 自動おそうじ(3秒押し)

タッチするごとに表示が切り替わります。
受付音のあともタッチし続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。
一度の設定で、毎回作動します。

自動おそうじ	**設定なし (工場出荷時)**	「ピー」音でお知らせします
自動おそうじ	**設定あり** 洗濯槽の洗浄をしたいとき。	「ピッ」音でお知らせします

4 切/入 を押し、電源を切る

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。
設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

手動で「脱水」のみ、脱水「1分」、または「脱水」なし(表示を消す)を設定した場合は、「自動おそうじ」は自動で解除(消灯)されます。

温水ミスト(温め自動/90分/180分)を使う
(汚れを落ちやすくする・黄ばみを予防する、落とす・においの原因菌を洗い流す)

洗い行程の前に、洗濯物に温水ミストを吹きつけ、洗濯物を温めます。洗剤の酵素パワーを活性化させ、かくはん洗いをすることで、黄ばみの原因となる皮脂汚れを落とします。

機能の使い分け

設定内容	パネルの表示	効果と行程内容	容量		おすすめ洗剤
			洗濯	洗▸乾	
標準		「温水ミスト」を作動させない 〔(温め自動)設定なし：工場出荷時の状態〕	12kg 以下	6kg 以下	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト温め自動		汚れを落としやすくします。 水温約13℃以下の場合に自動で「温水ミスト」を約16分間作動させる	12kg 以下	6kg 以下	粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト90分		黄ばみを予防します。 水温にかかわらず「温水ミスト」を90分間作動させる	5kg以下		粉末合成洗剤 または 液体合成洗剤
温水ミスト180分		黄ばみを落とし、においの原因菌も洗い流します。 水温にかかわらず「温水ミスト」を180分間作動させる	2kg以下		粉末合成洗剤

設定できるコース

●「温水ミスト」(温め自動)　：「標準」「おいそぎ」「すすぎ1回」「つけおき」コース
●「温水ミスト」(90分)(180分)　：「標準」コース

運転動作

洗剤液を洗濯物にかけて染み込ませる。 ▶ 洗濯・脱水槽を回転させながら、ミスト状の温水を洗濯物に吹きつけ、回転と休止を繰り返す。
温水ミスト　90分の場合：約90分
温水ミスト180分の場合：約180分 ▶ 洗い ▶ すすぎ ▶ 脱水

温水ミスト(温め自動/90分/180分)を使う　つづき

こんなときは

●作動中は、「温水ミスト」が点滅し、動作終了後、消灯します。
●「温水ミスト」作動中に一時停止を押しても、すぐにふたのロックが解除しない場合があります。
●「温水ミスト」設定時は、一時停止を押しても、洗い・すすぎ・脱水などの運転内容を変更することはできません。
●「温水ミスト」設定時は、乾燥フィルターが湿ることがありますが、異常ではありません。
●洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている状態で運転を開始した場合は解除されます。
●「温水ミスト」(温め自動)(90分)(180分)を設定するときは、衣類の取扱絵表示に従ってください。
　・「温水ミスト」は、衣類の温度が約30℃～40℃になります。
　　取扱絵表示が30℃以下となっている衣類は洗わないでください。
　・手洗い指定や、水洗いができない衣類は洗わないでください。
●衣類を傷めたり、色移りしたりすることがあります。
　色柄物と白物は分け洗いをしてください。
●衣類の量、汚れ、洗剤の種類によって効果は異なります。

「温水ミスト」(温め自動)の使いかた



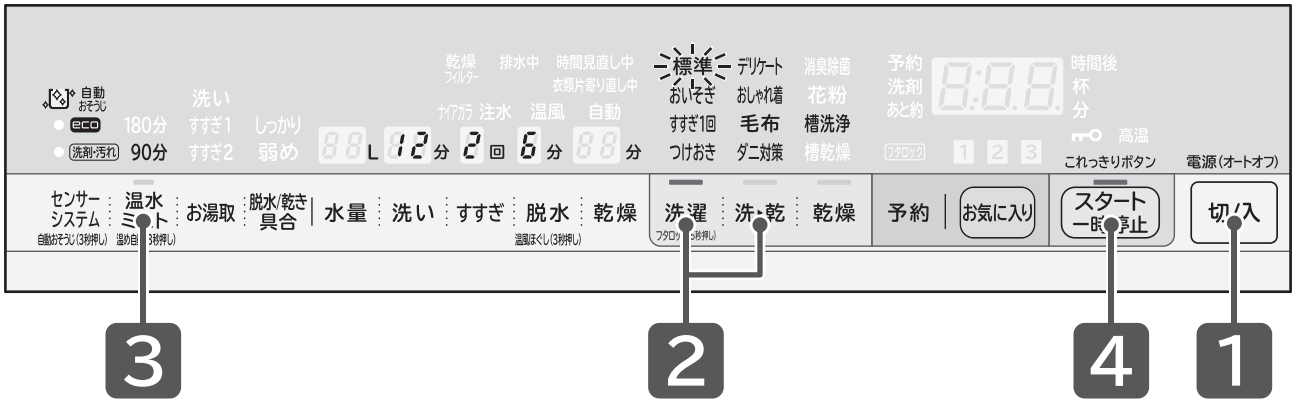
を3秒以上タッチする

受付音のあともタッチし続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

(消灯) 	**「温水ミスト」(温め自動)設定なし(工場出荷時)**	「ピー」音でお知らせします
(点灯) 	**「温水ミスト」(温め自動)設定あり**	「ピッ」音でお知らせします

●「設定あり」を設定すると、次回電源を入れたときは、「温水ミスト」(温め自動)が「設定あり」になっています。
●標準〔「温水ミスト」(温め自動)が設定されていない〕設定の場合は、お気に入りに「温水ミスト」(温め自動)が登録されていても、「温水ミスト」(温め自動)は設定されません。
●「温水ミスト」(温め自動)を設定している場合に、水温が約13℃以下のときは、通常運転より運転時間が約16分間長くなります。

「温水ミスト」(90分)・「温水ミスト」(180分)の使いかた



準備　水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

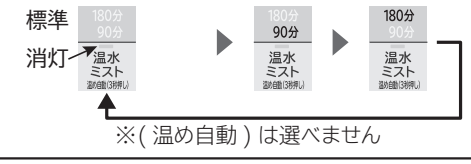
1　切/入 を押し、電源を入れる

2　洗濯 または 洗・乾 をタッチし、「標準」コースを選ぶ

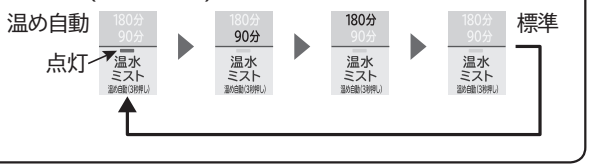
3　温水ミスト をタッチし、「90分」または「180分」を設定する

タッチするごとに表示が切り替わり、変更することができます。

(温め自動)が設定されていない場合



(温め自動)が設定されている場合



4　スタート一時停止 を押す

洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗剤量(目安)が表示されたあとは、衣類を追加しないでください。

5　洗剤量(目安)に従って、洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める →(P.18～21)

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

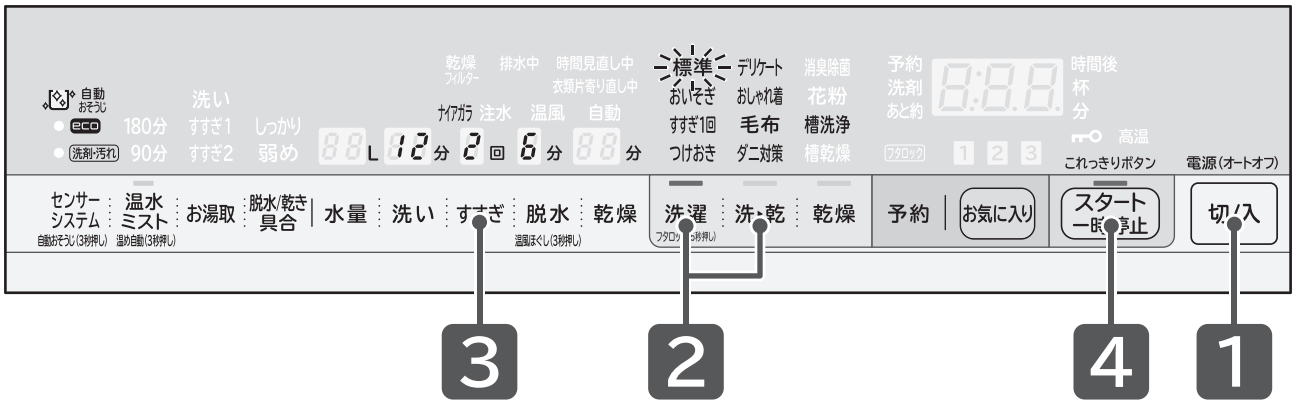
6　運転終了後、洗濯物を取り出し、糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする →(P.64～66)

●「温水ミスト」(90分)(180分)を設定している場合は、「温水ミスト」が作動するため、
　・通常運転より、運転時間が約90分間、または約180分間長くなります。
　・通常運転より、消費電力が増えます。
●室温が約8℃以下のときは、運転時間が約20分間長くなります。
●日光などで変色した黄ばみは落ちません。すべての黄ばみが落ちるわけではありません。

ナイアガラすすぎを使う

たっぷりの水を使ってすすぎ、高速脱水を行い洗剤を落とします。
いつも以上にしっかりすすぎたいときにおすすめします。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 または 洗→乾 をタッチし、「標準」コースまたは「つけおき」コースを選ぶ

タッチするごとにコースが選べます。

3 すすぎ をタッチし、「ナイアガラ」を選ぶ

「標準」コースの場合は、洗い と 脱水 をそれぞれタッチして再設定する→(P.56)

タッチするごとに表示が切り替わります。
すすぎは自動で「2回」が設定されます。

4 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動計測され、洗剤量(目安)が表示されます。

5 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

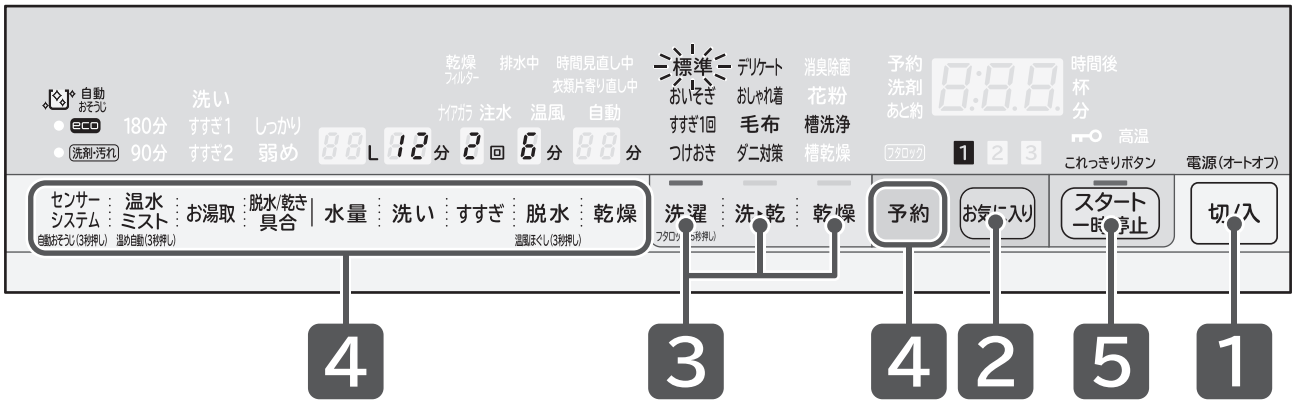
6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

運転終了後、ナイアガラすすぎの設定は自動で解除されます。
運転のたびに設定してください。

お気に入りを使う

お好みの運転内容を、3種類まで変更して記憶させることができます。
工場出荷時の初期設定は、1、2、3のすべてに洗濯「標準」コースが設定されています。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 お気に入り を押し、1、2、3のいずれかを点灯させる

ボタンを押すごとに選べます。登録済みの場合は、その内容が表示されます。

3 洗濯 洗→乾 乾燥 いずれかをタッチし、コースを選ぶ

4 センサーシステム 温水ミスト お湯取 脱水/乾さ具合 水量 洗い すすぎ 脱水 乾燥 予約 でお好みの運転内容を設定する

5 スタート一時停止 を押す

スタートボタンを押すと、設定が記憶されます。

6 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

7 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

初期設定に戻したい場合は、お気に入り ボタンを3秒以上押してください。
(1、2、3のすべてが洗濯「標準」コースに設定されます)

お好みの設定で運転する

各行程をタッチするごとに、設定を変更することができます。
コースによっては設定を変更できないこともあります。→(P.56)

水量・洗い・すすぎ・脱水・乾燥の設定を変更する

ボタン	パネル表示
水量	26L ▶ 42L ▶ 55L ▶ 72L ▶ 82L ▶ 無表示（洗濯物の量が自動計測されます）
洗い	3分 ▶ 5分 ▶ 8分 ▶ 12分 ▶ 15分 ▶ 20分 ▶ 25分 ▶ 無表示（「洗濯」運転時のみ）
すすぎ	1回 ▶ 注水 1回 ▶ 2回 ▶ 注水 2回 ▶ ﾅｲｱｶﾞﾗ 2回 ▶ 無表示（「洗濯」「洗→乾」運転）
脱水 温風ほぐし(3秒押し)	1分 ▶ 3分 ▶ 6分 ▶ 9分 ▶ 無表示（「洗濯」運転時のみ）
乾燥	30分 ▶ 60分 ▶ 90分 ▶ 自動　「自動」は洗濯物の乾きを検知して運転します。

水量を手動で変更する

「標準」コースの自動設定の水量は、26～72Lで表示されます。
コースによっては、次の手順で水量を手動で「82L」に設定できます。

1. 切/入 を押し、電源を入れ、洗濯 フタロック(5秒押し) または 洗→乾 をタッチし、コースを選ぶ
2. 水量 をタッチし、「82L」を設定する
3. スタート 一時停止 を押し、運転する

「脱水のみ」などの個別運転をする

洗い・すすぎ・脱水のみを設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
設定内容は記憶されないので、よく使う運転内容は「お気に入り」に登録すると便利です。→(P.53)
ここでは、例として「脱水のみ」を行う場合について説明します。

準備 **洗濯物を入れる**
洗い・すすぎを設定するときは、水栓(蛇口)を開けてください。

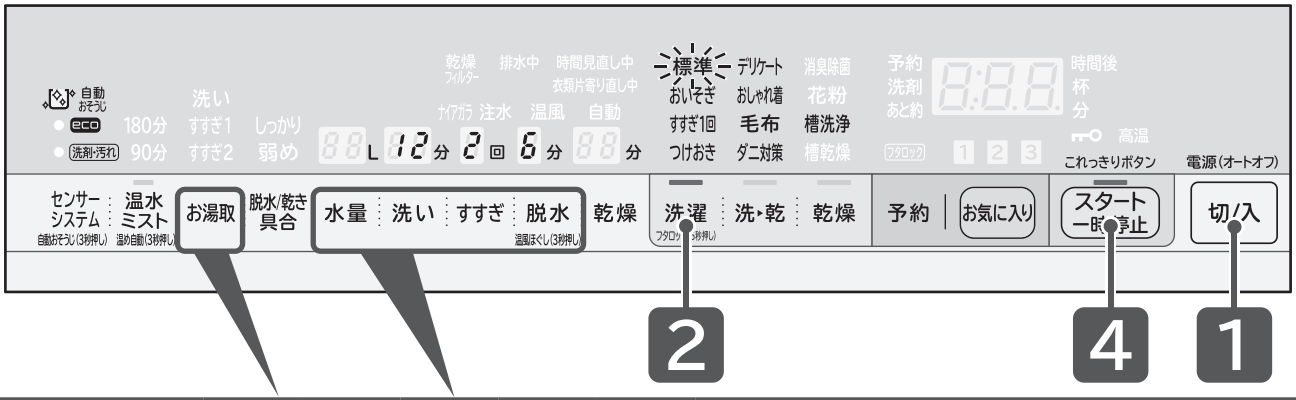
1 **内ふた、ふたを閉め、 切/入 を押し、電源を入れる**

2 **洗濯 をタッチし、「標準」コースを選ぶ**

3 **脱水 をタッチし、お好みの脱水時間を設定する**

4 **スタート 一時停止 を押し、運転する**

設定中に「脱水」を3秒以上タッチすると、温風ほぐし脱水が設定されてしまいます。解除するには、再度3秒以上タッチしてください。



運転内容の設定	3 水量	洗い	すすぎ	脱水	お湯取	備考
脱水のみ※1				脱水		お好みの脱水時間を設定してください。(1分、3分、6分、9分)
排水のみ※1				脱水		1分を設定してください。洗濯・脱水槽が回転します。
洗いのみ	水量	洗い				洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
すすぎのみ	水量		すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**すすぎ**	水量	洗い	すすぎ			洗濯・脱水槽に水が残ったまま停止します。
洗いと**脱水**	水量	洗い		脱水		—
すすぎと**脱水**	水量		すすぎ	脱水		—
水道水をためる	水量			脱水		「脱水」を数回押して、洗い・すすぎ・脱水の表示をすべて消し、お好みの「水量」のみ設定してください。洗濯・脱水槽に水がたまったまま停止します。
風呂水をためる	水量	洗い			お湯取	洗濯・脱水槽に風呂水がたまったまま停止します。

※1：「脱水のみ」「排水のみ」を設定したとき、残時間が設定時間よりも長く表示されます。
(脱水の前に排水したりするため、時間がかかります)

お好みの設定で運転する　つづき

運転内容と変更できる内容

：標準設定内容　：各ボタンで切り替えできる内容

コース (最大洗濯/乾燥容量)	水量	洗い	すすぎ	
			1回目	2回目
標準	26～72L	12分	回転シャワー	ため
	26～82L※1	3、5、8、12、15、20、25分※2	ためまたは注水1～2回、ナイアガラ※2	
ナイアガラすすぎ設定時	26～82L※1	3、5、8、12、15、20、25分※2	ナイアガラ※2	
おいそぎ	26～55L	5分	ため	―
	26～82L※1	3、5、8、12、15、20、25分※2	ためまたは注水1～2回※2	
すすぎ1回	26～72L	12分	ため	―
	26～82L※1	3、5、8、12、15、20、25分※2	ためまたは注水1回	
つけおき	26～82L	60分	ため	ため
	26～82L※1		ためまたは注水1～2回、ナイアガラ※2	
デリケート	72L	8分	ため	ため
	26～82L	3、5、8、12、15分※2	ためまたは注水1～2回※2	
おしゃれ着	42L	8分	ため	ため
	26、42L	3、5、8分※2	ため1～2回※2	
毛布	82L	25分	注水	注水
	26～82L			
ダニ対策	72L	20分	回転シャワー＋ため※3	ため

※1：「水量」の表示を消したときは自動計測されます。

所要時間の目安

所要時間の目安は、運転内容を変更した場合、実際の時間と異なります。

- 所要時間の目安は給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。(本体の残時間表示と上表の所要時間の目安は、水道水圧、洗濯物の量、排水条件などにより異なります)
- 所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
- 残時間は1分ごとに減っていきます。ただし、運転途中で補正しながら表示されるので、残時間が増える場合があります。乾燥運転中に残時間が「10分」、「20分」と点滅表示されてから1～2時間変わらないときがありますが、異常ではありません。
- 運転スタート後に運転内容を変更するときは、「一時停止」ボタンを押してから変更してください。「洗い」行程終了後は、運転内容は変更できません。
- すすぎ運転中に、水量を変更するときは、「一時停止」ボタンを押してから「水量」ボタンを押してください
- スタートしたあと、コースの切り替えはできません。一度電源を切ってから行ってください。
- 洗濯物の量や種類によっては、乾燥時間が長くなることがあります。
- 「おいそぎ」コースでは、少量で軽い汚れであれば、約3kg以下を約20分で洗えます。

脱水 温風ほぐし(3秒押し)		乾燥		所要時間の目安 (実際の時間と異なります)		
洗濯	洗▶乾	洗▶乾	乾燥	洗濯	洗▶乾	乾燥
6分 1、3、6、9分※2	1分	自動 30、60、90分、自動	自動 30、60、90分、自動	44分 約(20～75分)	1時間～7時間半	30分～6時間
1、3、6、9分※2	1分	30、60、90分、自動	—	約74分	1時間～7時間半	—
3分 1、3、6、9分※2	1分	自動 30、60、90分、自動	—	26分 約(15～75分)	1時間～5時間半	—
6分 1、3、6、9分※2	1分	自動 30、60、90分、自動	—	42分 約(20～60分)	1時間～7時間	—
6分 1、3、6、9分※2	1分	自動 30、60、90分、自動	—	110分 約(75～115分)	2時間～7時間半	—
1分 1、3、6分※2	—	—	—	39分 約(10～55分)	—	—
1分 1、3、6分※2	—	—	100分 (表示は90分)	30分 約(10～35分)	—	100分 (表示は90分)
9分 1、3、6、9分※2	1分	自動	—	73分 約(50～75分)	4時間～5時間	—
9分 1、3、6、9分※2	—	—	—	約160分	—	—

※2：「洗い」「すすぎ」「脱水」の表示を消したときは運転しません。　※3：回転シャワーすすぎのあとに温風処理を行います。

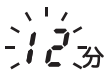
残時間表示の見かた

表示例：1時間30分の場合　　表示例：30分の場合　　表示例：10時間以上または洗濯物の量を自動計測している場合

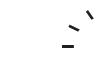


表示の見かた（☼は点滅を表します）

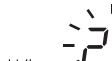
表示例：



「洗い(12分)」運転中



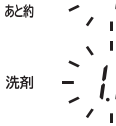
「ほぐし脱水」運転中



「乾燥」運転中
(乾き具合を調節中)



「すすぎ1」運転中
(すすぎ2回設定時)



「洗剤量(1.0杯)」表示



「洗剤・汚れ」運転中
(表示は条件によって異なります)



「脱水(6分)」運転中



「乾燥(自動)」運転中

予約運転をする

運転を終了したい予定時間に、1時間単位で3～24時間後までの間で設定することができます。
出かけている間や、夜間に運転させたいときなどに便利です。

予約ボタンの使いかた(切り替え内容)

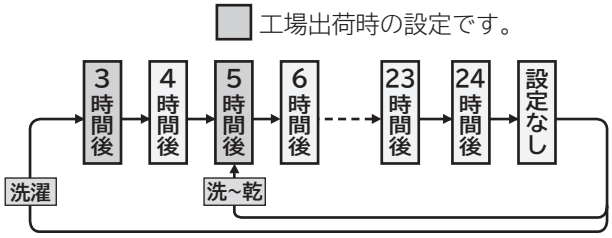
予約時間とは、運転終了予定時間です。
例えば、今から5時間後に終了させたい場合、予約時間は「5時間後」になります。

予約 **をタッチするごとに設定が切り替わります。**

(長押しすると、予約時間が連続で切り替わります)



(5時間後の表示例)



3～24時間後で設定可能	「洗濯」運転
5～24時間後で設定可能	「洗▶乾」運転

設定できないコース

洗濯「デリケート」「おしゃれ着」「ダニ対策」「槽洗浄」コース、「乾燥」運転

こんなときには

予約内容の確認： 予約 **をタッチする**
(タッチしている間、予約運転の内容が表示されます)

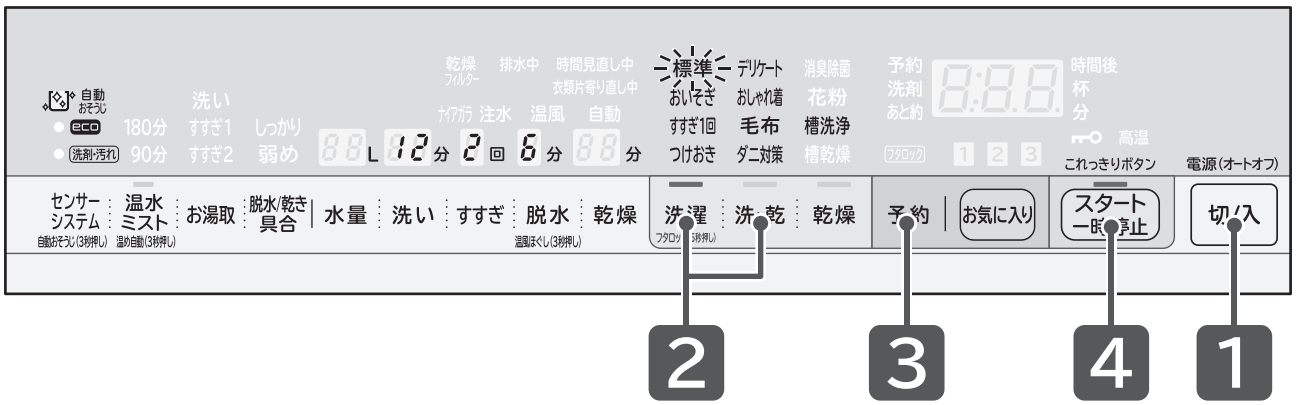
予約の取り消し： 切/入 **を押し、電源を切る**
(電源プラグを抜いたとき、停電したときは、予約運転は取り消されます)

予約の変更　： 切/入 **を押し、電源を切り、初めからやり直す**

衣類の追加　：電源を切らずに、洗濯物を入れる
(予約中の洗濯物の追加は、少なめにしてください。洗濯物を入れ過ぎると
汚れ落ちがわるくなったり、乾きムラの原因になります)

- ●洗濯物の量や布質、給水量、水温、気温、排水条件により運転終了時間が変わることがあります。
- ●予約運転をするときは、色移りしやすい洗濯物は一緒に洗濯しないでください。
- ●洗濯物のしわを防ぐため、運転終了後は洗濯物を早めに取り出し干してください。
  洗濯物を入れたままにしておくと、においの原因になります。
- ●予約設定後に設定内容を変更して運転する場合は、一度洗濯・脱水槽内の水を排水してから運転してください。
- ●設定した予約時間よりも運転時間が長い場合は、すぐに運転が開始されます。

使いかた



準備 水栓(蛇口)を開け、洗濯物を入れる→(P.14～17)

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) または 洗→乾 をタッチし、コースを選ぶ

タッチするごとにコースが選べます。
各機能の設定・解除をする→(P.31)
お好みの設定で運転する→(P.54～57)

3 予約 をタッチし、運転終了予定時間を設定する

4 スタート 一時停止 を押す

洗濯物の量が自動測定され、洗剤量(目安)が表示されます。
洗濯・脱水槽にあらかじめ水が入っている場合、洗濯物の量は自動計測されません。

5 洗剤量(目安)に従って、
洗剤、漂白剤、柔軟剤を入れて内ふた、ふたを閉める→(P.18～21)

- ●内ふたを閉めるとき、洗濯物を挟んだままにしないでください。
  また、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。
- ●洗剤の溶け残りを防止するために、洗濯・脱水槽に水道水が約5秒間給水されます。
  その後、洗剤ケースに給水され、予約待機状態になります。
- ●スタートから約30秒後に「予約」のみが点滅し、運転内容の表示は消灯します。
  約2分後に給水が終わり、予約運転待機状態になると、「予約」が点滅から点灯に変わります。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、
糸くずフィルター、乾燥フィルターをお手入れする→(P.64～66)

便利な使いかた

運転スタート音・終了予告音・終了音の設定

運転スタート・終了予告音・終了時のメロディ音を同時に変更することができます。

工場出荷時は「メロディ」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗▸乾 **を3秒以上タッチする** ▶

→ メロディ (工場出荷時) → ブザー → 音なし (受付音「ピー」)

受付音のあともタッチし続けることで、設定が変わります。
ご希望の音になるまで、設定の切り替えを繰り返してください。
設定完了をそれぞれの音でお知らせします。
「終了予告音の設定」は、工場出荷時は「音なし」が設定されています。

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

終了予告音の設定

予告音にて運転終了約10分前をお知らせします。

(「洗▸乾」運転および「乾燥」運転時の予告音が鳴ったときの残時間は、コースや設定内容により異なります)

工場出荷時は「音なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 スタート 一時停止 **を3秒以上押す** ▶

音なし(工場出荷時) 「ピッ・ピッ・ピー」 ⟷ **音あり** 「ピッ・ピッ・予告音メロディ」

受付音のあともタッチし続けることで、
設定が変わります。

「運転スタート・終了予告音・終了音の設定」によって、
切り替え時に鳴る音が異なります。

「音あり」を設定しても、「運転スタート音・終了予告音・終了音の設定」が「音なし」に設定されていると、終了予告音は鳴りません。

3 切/入 **を押し、電源を切る**

(電源を切ることで完了となります)

●脱水中、洗濯物の片寄りで脱水をやり直したときは、終了予告音は鳴りません。
●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

脱水後の洗濯物をやわらかく仕上げる（温風ほぐし脱水）

脱水時に温風を吹きかけることで、洗濯物を温かくやわらかな状態で取り出すことができます。

設定できないコース

「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」「槽洗浄」コース、「洗▶乾」「乾燥」運転

工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 脱水 温風ほぐし(3秒押し) **を3秒以上タッチする**

受付音のあともタッチし続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

消灯—温風 6 分	設定なし (工場出荷時)	「ピー」音で お知らせします
点灯—温風 6 分	設定あり	「ピッ」音で お知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

●変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。
●洗濯物の量が約6kg以上の場合は、衣類を傷める場合があるため、「温風ほぐし脱水」動作を行いません。
●「温風ほぐし脱水」中に一時停止させると、高温表示が点滅することがあります。
高温表示点滅中はふたを開けることはできません。
●「温風ほぐし脱水」が「設定あり」の場合、洗濯運転の最終脱水後、温風運転を約5～7分行います。
なお、水温が低い場合は、温風運転時間が長くなる場合があります。
●「温風ほぐし脱水」動作中に「一時停止」ボタンを押すと、電源が切れます。
●「温風ほぐし脱水」が「設定なし」の場合、洗濯運転の最終脱水後、「ほぐし脱水」を約2～4分行います。
すすぎ、または脱水から運転を開始した場合、「ほぐし脱水」は行いません。

脱水／乾き具合を調節する

洗濯物の脱水・乾き具合は、洗濯物の量、大きさ、質によって異なります。
運転開始前に、「洗濯」運転で脱水具合、「洗▶乾」「乾燥」運転で乾き具合を調節することができます。

設定できないコース

「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」「消臭除菌」「花粉」「槽洗浄」「槽乾燥」コース、
「洗▶乾」「乾燥」運転の「30/60/90分」

工場出荷時は「表示なし(ふつう)」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗濯 フタロック(5秒押し) 洗▶乾 乾燥 **運転したいいずれかをタッチし、コースを選ぶ**

3 脱水/乾き具合 **をタッチする**

タッチするごとに表示が切り替わります。

4 スタート 一時停止 **を押す**

(スタートボタンを押すと設定が完了します)

しっかり	脱水が足りないとき・干す時間を短くしたいとき
	乾きがわるいとき
表示なし (ふつう)	工場出荷時
弱め	脱水じわが気になるとき
	乾き過ぎるとき(湿り気がやや多くなります)

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

便利な使いかた　つづき

すすぎの時間を長くする（回転シャワー）

洗濯・脱水槽を回転させ、衣類に水をかける回転シャワーすすぎの時間を長くすることができます。

工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 すすぎ **を3秒以上タッチする**

受付音のあともタッチし続けることで、
設定が変わります。
設定完了を表示と音でお知らせします。

－ ↕ 二	**設定なし（工場出荷時）** **設定あり**	「ピー」音でお知らせします 「ピッ」音でお知らせします

3 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

操作ができない場合のお知らせ音

電源「入/切」、「スタート/一時停止」ボタン以外をタッチしたときに、無効な操作をすると、「ピピピピ」と音でお知らせします。

工場出荷時は「音あり」が設定されています。設定を変更するときは

操作するときの音を消すことができます。

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗い **を3秒以上タッチする**

受付音のあともタッチし続けることで、表示が変わります。

3 洗い **をタッチする**

「洗い」をタッチするごとに表示と音でお知らせします。

10 ↕ 00	**音「ピピピピ」あり（工場出荷時）** **音なし**	「ピッ」音でお知らせします 「ピー」音でお知らせします

4 スタート 一時停止 **を押す**（スタートボタンを押すと設定が完了します）

5 切/入 **を押し、電源を切る**

変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

最後にお気に入りで運転した設定の表示／非表示

電源を入れたとき、最後にお気に入りで運転した設定が表示されます。

工場出荷時は「設定なし」が設定されています。設定を変更するときは

1 切/入 **を押し、電源を入れる**

2 洗い **を3秒以上タッチする**

受付音のあともタッチし続けることで、表示が変わります。

3 すすぎ **をタッチする**

「すすぎ」をタッチするごとに表示と音でお知らせします。

10	**設定なし(工場出荷時)** 常に「標準」の内容が表示されます。	「ピー」音でお知らせします
11	**設定あり** 最後のお気に入りが表示されます。	「ピッ」音でお知らせします

4 スタート 一時停止 **を押す** (スタートボタンを押すと設定が完了します)

5 切/入 **を押し、電源を切る**

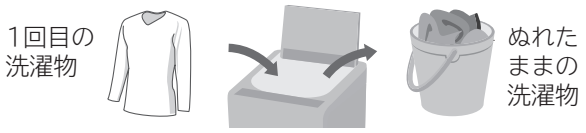
変更した内容は、電源を切っても記憶されています。設定を変更するときは、同じ操作を行ってください。

洗濯液を2度使う

汚れの少ないものと汚れの多いものを2度に分けて洗うことができます。

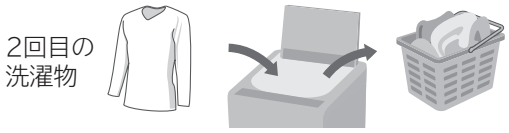
1 **1回目は汚れの少ないものを洗う**

1 「洗いのみ」を設定する→**(P.55)**
2 水量に合わせて洗剤を入れる
3 「洗い」終了後、ぬれたままの洗濯物を取り出す



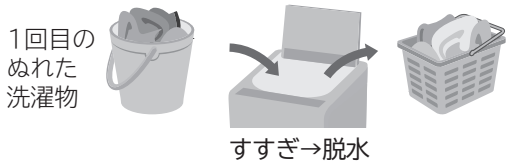
2 **2回目は汚れの多いものを洗う**

1 1回目の洗濯液を利用して、お好みのコースを運転する
2 洗濯物に応じた水量を設定する
3 洗濯終了後、洗濯物を取り出す



3 **1回目に洗い終わった洗濯物を洗濯・脱水槽に入れる**

1 「すすぎと脱水」を設定する→**(P.55)**
2 1回目と同じ水量を設定する



4 **運転終了後、洗濯物を取り出す**

お手入れをする

長くお使いいただくため、こまめにお手入れをしてください。
お手入れ方法について説明します。

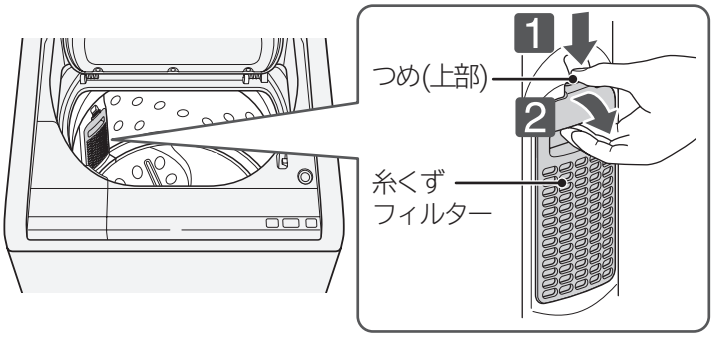
糸くずフィルター

洗濯、洗濯～乾燥運転終了後、毎回お手入れをしてください。

1 糸くずフィルターを取り外す

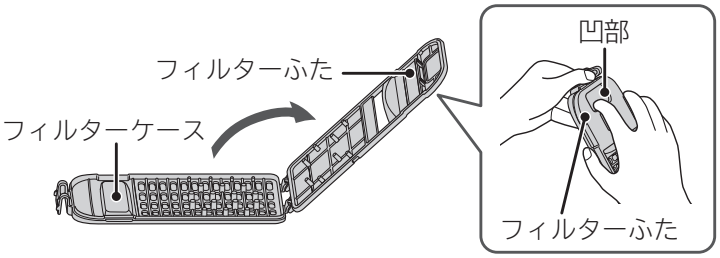
1 糸くずフィルターのつめ(上部)を、押したまま

2 手前に倒し、取り外す



2 フィルターケースを開ける

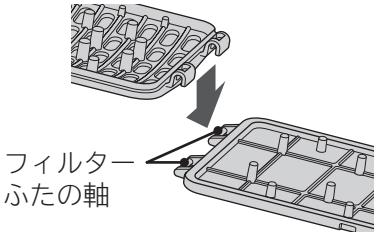
フィルターふたの凹部に指を掛け、開けてください。



3 糸くずフィルター内に付着した糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

お手入れ中にふたが外れた場合

フィルターケースをフィルターふたの軸に合わせて、垂直に押し込んでください。

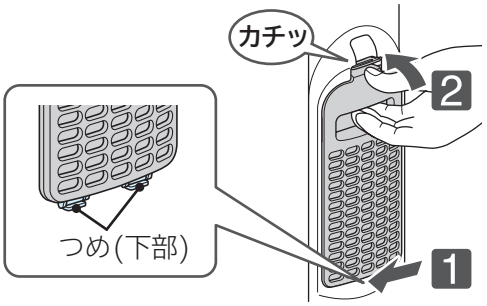


4 フィルターふたを閉め、糸くずフィルターを取り外した位置に取り付ける

1 糸くずフィルターのつめ(下部)を、取り外した位置に入れる

2 糸くずフィルターのつめ(上部)を、「カチッ」と音がするまで押す

確実に取り付けないと、運転中に糸くずフィルターが外れる場合があります。



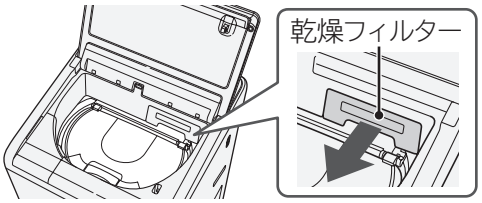
- ●糸くずフィルターを取り外したあとの洗濯・脱水槽の穴に、硬貨やヘアピンなどを落とさないように注意してください。
- ●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。洗濯物を傷める場合があります。

お願い 糸くずフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

乾燥フィルター

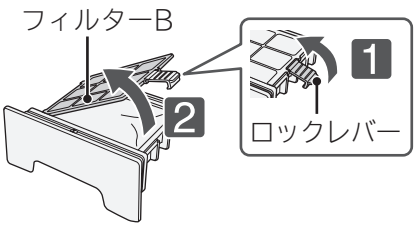
乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れをしてください。乾燥運転を行わない場合でも、結露などにより乾燥フィルターが湿ることがあり、放置するとカビが発生するおそれがあります。
こまめにお手入れをしてください。

1 乾燥フィルターを手前に引き出す

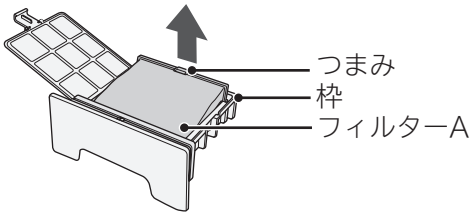


2 フィルターを外す

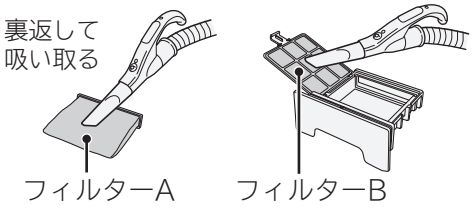
1 ロックレバーを外す
2 フィルターBを持ち上げる



3 フィルターAのつまみを持って、垂直に引き上げ、取り外す

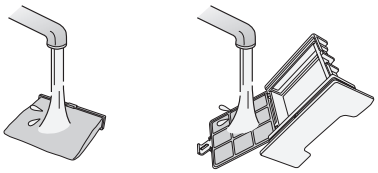


4 フィルターA、Bのネットに付着したほこりを、掃除機で吸い取る



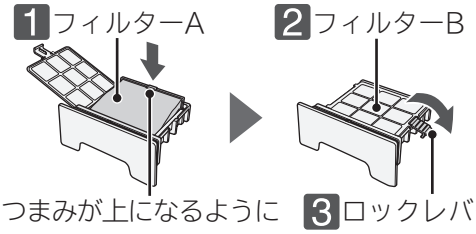
汚れがひどい場合

手でやさしく水で洗い流してください。洗剤、漂白剤は使用しないでください。よく乾かしてから取り付けてください。



5 フィルターを取り付ける

1 フィルターAを乾燥フィルター本体に取り付ける
2 フィルターBを閉じる
3 ロックレバーで固定する



6 乾燥フィルターを引き出した位置に取り付ける

●取り付けられていない場合、お知らせ表示「C15」が表示されます。→(P.75)
●取り付けたあと電源を入れ、お知らせ表示「乾燥フィルター」が表示されている場合は、スタートボタンを押すと消えます。

乾燥フィルターを取り付けられていないと、「洗濯」運転も「乾燥」運転もできません。

お願い 乾燥フィルターは消耗品です。乾燥フィルターのネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

乾燥フィルター差し込み口

乾燥フィルターのお手入れをしても、お知らせ表示「乾燥フィルター」が表示された場合は、付属品のスイコミノズルを使用して、お手入れをしてください。

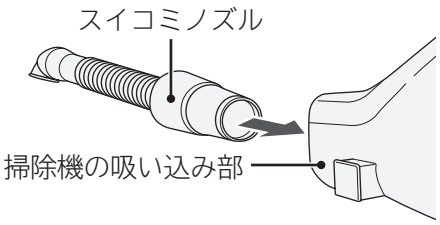
確認

乾燥フィルター差し込み口の奥側にほこりが付着しているときがあります。
付着したほこりが乾いているかを確認してください。
ほこりが湿った状態でお手入れをすると、掃除機の故障の原因になります。

1　乾燥フィルターを引き出す

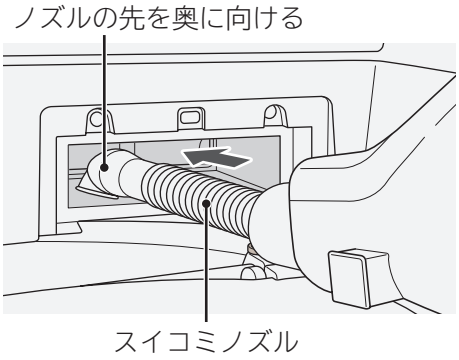
乾燥フィルター差し込み口に手や指を入れないでください。
取り付け内部が狭いため、けがをするおそれがあります。

2　付属品のスイコミノズルを掃除機の吸い込み部に取り付ける



3　乾燥フィルター差し込み口の奥に付着したほこりを掃除機で吸い取る

乾燥フィルター差し込み口が乾いている状態で行ってください。
ほこりに含まれている水分による掃除機の故障を防ぐためです。



4　乾燥フィルターを引き出した位置に取り付ける

取り付けたあと電源を入れ、お知らせ表示「乾燥フィルター」が表示されている場合は、スタートボタンを押すと消えます。

洗剤ケース（粉末合成洗剤・液体洗剤・漂白剤投入口、柔軟剤投入口）

洗剤や柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、洗い流してください。
洗剤ケースに洗剤の溶け残りなどがあると、洗剤ケースに水が流れるときに洗剤がはがれ、本体内部に詰まり、水漏れの原因になります。

1

1 洗剤ケース中央の仕切りをつまみ、上に持ち上げて取り外す

2 洗剤ケースからキャップを取り外す



2

洗剤ケース、キャップの汚れを洗い流す

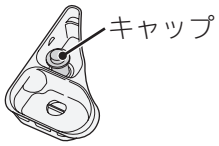
水気をふき取ります。
汚れがひどいときは、お湯(約40℃)に約5分間浸し、歯ブラシなどで掃除してください。



3

キャップを取り付け、洗剤ケースを取り外した位置に取り付ける

洗剤ケースふたが取り付けられていることを確認してください。



洗剤ケースふた

洗剤や柔軟剤が付着しているときや、汚れているときは、湿った布でふき取ってください。
落ちない場合は、次の手順で洗剤ケースふたを外し、水洗いしてください。

1

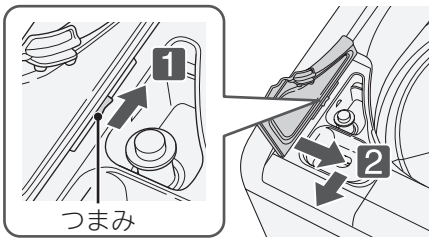
洗剤ケースふたを開ける

2

洗剤ケースふたを取り外す

1 洗剤ケースふたを押さえ、つまみを奥方向にスライドさせる

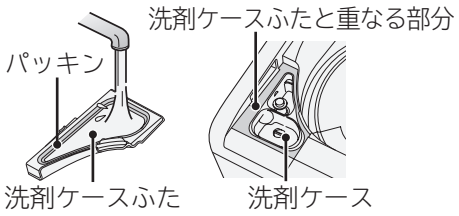
2 洗剤ケースふたの手前側を右にずらして手前に引く



3

洗剤ケースふたのパッキンの汚れを洗い流す

- パッキンを無理に引っ張らないでください。変形や亀裂、傷が付いたり、パッキンが外れたりして水漏れの原因になります。
- パッキンに付着した洗剤やほこり、糸くずをふき取ってください。水漏れの原因になります。

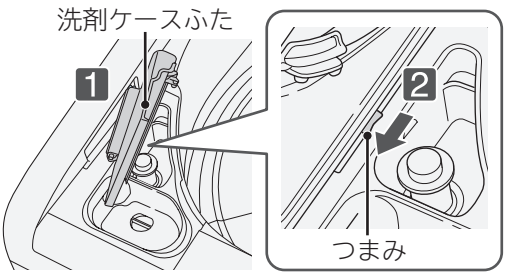


4

水気をふき取り、洗剤ケースふたを取り外した位置に取り付ける

1 洗剤ケースふたを奥から先に差し込む
突起を穴に差し込みます。

2 手前側を元の位置(左)にずらしながら、つまみを手前に引く
外れないことを確認してください。確実に取り付けられていないと、蒸気などにより、水漏れの原因になります。



お手入れ つづき

本体

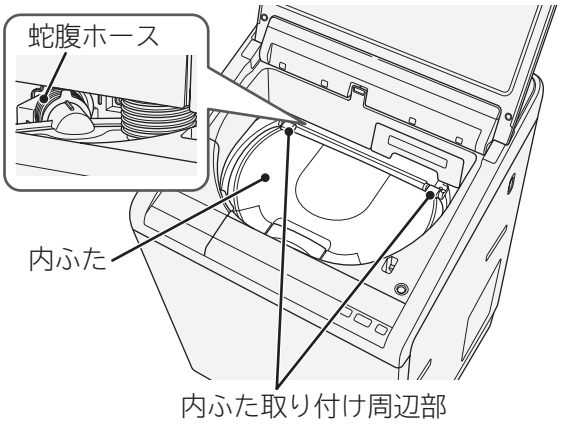
水滴が付着しているときや、汚れているときは、お手入れをしてください。

●本体の水滴や汚れ、ふたなどのプラスチック部品や、金属部品に洗剤や柔軟剤が付着しているときは、柔らかい布でふき取ってください。
放置すると傷みやさびが発生し、破損することがあります。
●本体各部に直接水をかけないでください。
●ふたのガラス面(強化ガラス)は、柔らかい布でふき取ってください。
薬品やガラスクリーナーなどは使用しないでください。
周辺の部品がさびたり、破損したりすることがあります。
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・弱アルカリ性洗剤 ・ワックス

内ふた

内ふたや、その周辺に糸くずや水滴などが付着しているときは、お手入れをしてください。

●内ふたまわりに付着した糸くずなどを取り除いてください。
●内ふたの取り付け周辺部に洗剤、漂白剤、柔軟剤が付着しているときや汚れているときは、湿った布でふき取ってください。
洗剤などの付着により、内ふた開閉時に音が発生する場合があります。また、内ふた周辺の金属部分に洗剤などが付着していると、さびが発生することがあります。
●洗濯中に飛んだ水や結露した水が、内ふたの内側に残りますので、柔らかい布でふき取ってください。
●蛇腹ホースに塗布している潤滑剤(白色)はふき取らないでください。
洗剤や柔軟剤が付着しているわけではありません。



洗濯・脱水槽

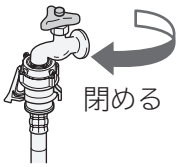
汚れているときは、お手入れをしてください。洗濯・脱水槽に付いたさびは、湿った布にクリームクレンザーを含ませてふき取ってください。

●金属たわしでこすらないでください。
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合はさびが発生することがあります。
・ヘアピンなどの金属類が長時間接触しているとき
・鉄粉や赤さびの混じった水を使用したとき
・洗濯・脱水槽内や内ふた周辺の金属部分に、塩素系漂白剤や洗剤、柔軟剤がついたまま長時間放置したとき
●運転終了後に、給水経路に残った水が注水口から垂れる場合がありますので、柔らかい布でふき取ってください。
●汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.72)**
●洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.72)**
●次のような薬品・洗剤は使用しないでください。
・ベンジン ・シンナー ・クレンザー(粉末タイプ) ・アルカリ性洗剤 ・弱アルカリ性洗剤 ・ワックス

給水口

水道水の給水時間が長くなったり、お知らせ表示「C01」が表示された場合、お手入れをしてください。水の飛び散りを防ぐため、次の手順で行ってください。

1 水栓(蛇口)を閉める



2 給水ホース内の水を抜く

1 [切/入] を押し、電源を入れる

2 [洗濯] をタッチし、「槽洗浄」コースを選ぶ

3 [スタート 一時停止] を押し、約1分間運転する

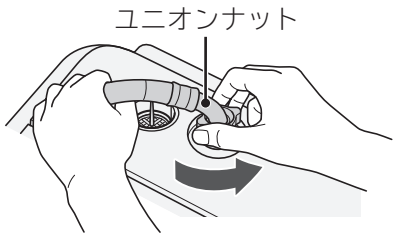
給水ホース内の残水を抜きます。

4 [スタート 一時停止] を押し、運転を一時停止する

5 [切/入] を押し、電源を切る

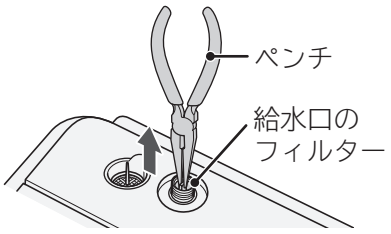
3 ユニオンナットを緩め、給水ホースを外す

給水ホース内の残水がたれる場合があります。
給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。



4 給水口のフィルターに詰まったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

給水口のフィルターをペンチなどで取り外して掃除してください。
お手入れが終わったら、忘れずにフィルターを元の位置に戻してください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。

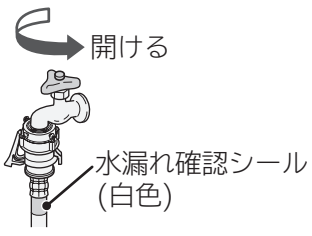


5 給水ホースを給水口に取り付ける →(据付け説明書P.16)

ユニオンナットは確実に締め付けてください。
緩んでいると、水漏れの原因になります。

6 水栓(蛇口)を開ける

【水漏れ確認のお願い】
本機の給水ホースには水漏れ確認シールが付いています。(右図)
本シールは水滴が付着すると色が緑色に変わりますので、接続部の水漏れ確認にご利用ください。
(水漏れ確認シールは乾くと白色に戻ります)
※湿気が高い環境下や結露水などにより、水漏れがない場合でも緑色に変わる場合があります。
油などが付着すると白色に戻らない場合があります。



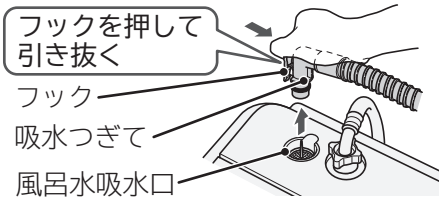
お手入れ つづき

風呂水吸水口

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください

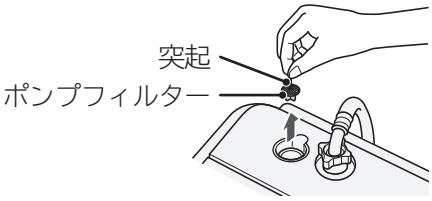
1 **吸水つぎてのフックを押して、風呂水吸水口から取り外し、お湯取ホース内の水を抜く**

吸水つぎてを取り付けたままお湯取ホースを持ち上げないでください。お湯取ホース内の残水が洗濯・脱水槽に逆流して洗濯物をぬらすおそれがあります。



2 **ポンプフィルターを取り外し、水洗いする**

ポンプフィルター中央部の突起を指またはペンチなどでつまみながら引き上げてください。

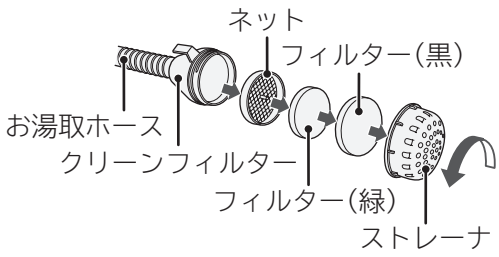


3 **ポンプフィルターを風呂水吸水口に取り付ける**

お湯取ホース・クリーンフィルター

風呂水の吸水時間が長くなったら、お手入れをしてください。

1 **ストレーナを矢印方向に回して取り外し、フィルターやネットを取り出す**

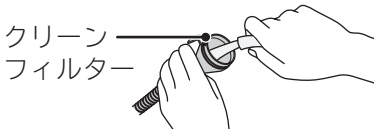


2 1 フィルター、ストレーナを水洗いする
2 ネットは歯ブラシなどで掃除する



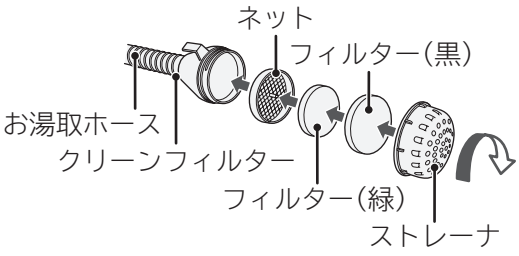
3 **お湯取ホースの内部をお手入れする**

勢いが強めの水道水をお湯取ホースの中に流し、内部のゴミを洗い流します。



4 **水気をふき取り、取り外した位置に取り付ける**

フィルター(黒)と(緑)を逆に取り付けると、クリーンフィルターが目詰まりしやすくなり、故障の原因になります。



お願い お湯取ホース・クリーンフィルターは消耗品です。破損したときは、販売店でお買い求めください。→(P.86)

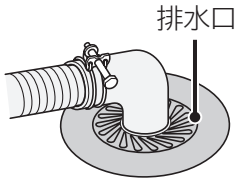
排水口・排水トラップ

月に一度を目安にお手入れをしてください。
また、乾燥時間が長くなったり、お知らせ表示「C02」や「C18」が表示されたときにもお手入れをしてください。

1

1 脱水運転を行い、排水されたことを確認する

「個別運転をする(「脱水のみ」など)」 →**(P.55)**



2 排水ホースを排水口から外す

排水ホース内の残水が漏れ出る場合があるため、排水口の近くにバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで残水を受けてください。

2

排水ホース内、排水口の中に残っている糸くずなどを取り除く

別売り部品の洗濯機用排水トラップのお手入れ方法については、洗濯機用排水トラップの取扱説明書をご覧ください。

3

排水ホースを排水口に差し込み、脱水運転を行い、排水されることを確認する

お手入れをしても排水できない場合や、再びお知らせ表示「C02」や「C18」が表示されるときは、お困りのときを確認してください。→**(P.74)**

- ●排水口に糸くずが詰まりやすい場合や、排水口が本体の真下にあり、お手入れしにくい場合は、別売り部品の糸くずボックスをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。→**(P.87)**
- ●排水ホースを排水口から外し、再度差し込む場合は、水漏れの原因になるので先端が排水配管に確実に差し込まれているかを確認してください。→**(据付説明書 P.9)**

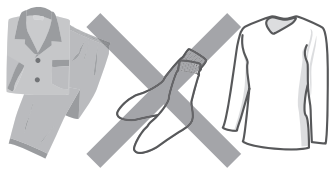
槽洗浄・槽乾燥コースでお手入れをする

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときにおすすめのコースです。

コースの使い分け

コース	こんなときに	運転時間	風呂水吸水
槽洗浄	洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるとき 	**11時間**	設定できる
		3時間	
槽乾燥	洗濯・脱水槽を乾かしたいとき 	**30分**	設定できない

衣類は入れないでください



槽洗浄コース

洗濯・脱水槽の汚れやにおいが気になるときに使用してください。洗濯槽クリーナーなどを使い、洗濯・脱水槽に蓄積された石けんかすや汚れを洗い落とし、約30分間乾燥してにおいを取ります。

●洗濯・脱水槽の動作（11時間コースと3時間コースでは、休止時間が異なります）

洗い
給水され、かくはん(約15分)します。
▶
休止
11時間コース：約10時間
3時間コース：約1時間40分
▶
すすぎ2回
排水して脱水後ためすすぎをします。
▶
排水・脱水
排水して脱水します。
▶
乾燥
約30分間乾燥します。

●においが気になるときは：11時間コース

一般的に長期間使用すると、石けんかすの蓄積や汚れなどにより、においが発生しやすくなります。においが気になるときは、11時間コースを運転してください。

●においの抑制には：3時間コース

・石けんかすの付着や、においの発生を抑制するために、定期的に3時間コースの運転をおすすめします。(1～2か月に一度程度が目安)
・洗濯物への糸くず付着が気になるときも使用してください。この場合は、洗濯槽クリーナーは必要ありません。

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合（換気をする）

●衣類用塩素系漂白剤(「ハイター」など)または、洗濯槽用塩素系漂白剤を使用してください。
●しっかり洗浄したいときは、洗濯機専用の洗濯槽クリーナー「防食剤配合塩素系漂白剤」(例：日立純正洗濯槽クリーナーSK-1・別売り部品)を使用してください。→**(P.86)**
●洗濯槽クリーナーや各種の漂白剤に記載の使用上の注意や使用量をよくご覧になり、使用してください。
●使用量が表示されていない場合は、約500mLを使用してください。
●酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。
泡が多量に発生し、本体の故障や水漏れの原因になります。
●洗濯・脱水槽の中に入れるときは、本体表面に付着しないように注意してください。
付着した場合は、すぐにふき取ってください。



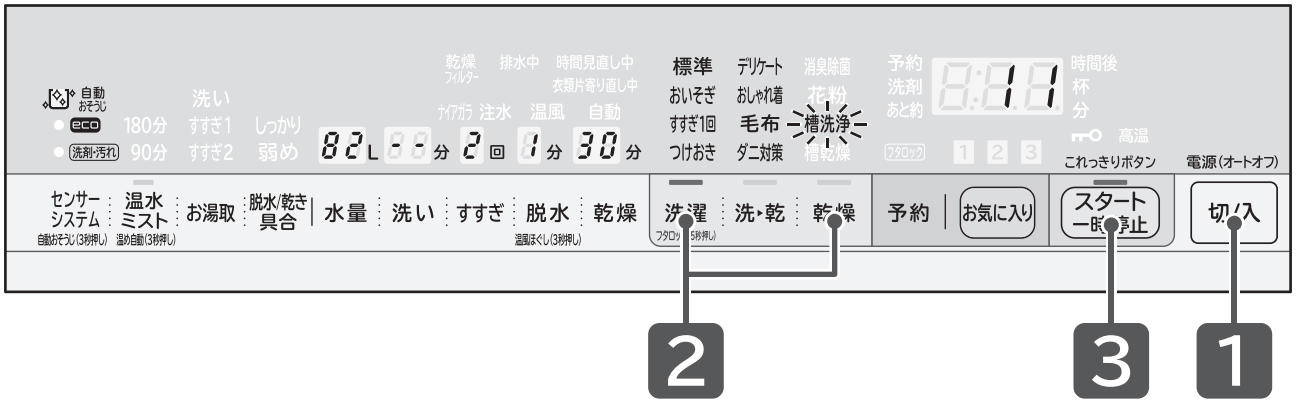
「自動おそうじ」を継続使用している場合

●「自動おそうじ」を継続使用している場合は、3～4か月に一度程度、衣類用塩素系漂白剤または洗濯槽用塩素系漂白剤を使った3時間コースの運転をおすすめします。

槽乾燥コース

約30分間、洗濯･脱水槽を乾燥します。

使いかた



「槽洗浄」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける

洗濯槽クリーナーなどを使用する場合は、換気をしてください。

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 洗濯 フタロック(5秒押し) をタッチし、「槽洗浄(11時間)」または「槽洗浄(3時間)」コースを選ぶ

11 または 3

(槽洗浄11時間)　(槽洗浄3時間)

タッチするごとにコースが点灯します。

日立純正洗濯槽クリーナーまたは衣類用塩素系漂白剤を、洗濯・脱水槽に直接入れる。
本体表面に付着しないように注意してください。
付着したときは、すぐにふき取ってください。
風呂水を使用する→(P.25～28)

3 内ふた、ふたを閉め、

スタート 一時停止 を押す

内ふたを閉めるとき、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

4 運転終了後、

糸くずフィルターをお手入れする →(P.64)

「槽乾燥」コースの場合

準備 水栓(蛇口)を開ける必要はありません

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 乾燥 をタッチし、「槽乾燥」コースを選ぶ

押すごとにコースが選べます。

3 内ふた、ふたを閉め、

スタート 一時停止 を押す

内ふたを閉めるとき、内ふた取っ手の「押す」部を「カチッ」と音がするまで押してください。

お困りのとき

下記以外が表示されたときは→(P.81)

お知らせ表示されたとき

「お知らせ表示」のみ点滅している場合、運転は終了しています。
運転の途中で停止した場合は、表示とブザーでお知らせします。

「お知らせ表示」に加え、「洗い」「すすぎ」「脱水」「乾燥」のいずれかが点滅している場合は、点滅している行程で運転が停止しています。
そのときは、下の表の「直しかた」に従って運転をしてください。
お知らせ表示されたまま12時間以上放置すると、自動で電源が切れます。



下表以外の「C○○」が表示された場合、「直しかた」の項目を確認してください。
何度も繰り返し表示されるときは、修理を依頼してください。→(P.91)

お知らせ表示と内容	直しかた		
 給水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●水栓(蛇口)を開けてください。 ●給水口のフィルターのお手入れをしてください。→(P.69) ●断水していませんか。 ●水道や給水ホースが凍結していませんか。→(P.85)	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 排水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	洗濯・脱水槽および排水ホース内に残水がある場合があります。 脱水運転を行い、排水されたことを確認後、以下を行ってください。 ●排水口、排水トラップ、排水ホースのお手入れをしてください。→(P.71) ●排水ホースを正しく取り付けてください。→(据付説明書 P.9～13) ・つぶれたり、凍結していませんか。 ・排水ホースを倒していますか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・途中10cm以上高くなっていませんか。 ●延長用ホースを付けている場合、排水ホースが2m以下にしてください。	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
 (「乾燥」運転時に表示されたとき)	切/入 を押して電源を切る	洗濯・脱水槽の中に水が入っている場合、脱水運転を行い、排水してください。	洗濯運転の「脱水」のみを行う
 ふたが開いています		ふたを閉めてください。 洗濯・脱水槽が回転するときは、危険防止のため、ふたが開かないようにふたがロックされます。→(P.13)	ふたを閉めると運転再開
 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止	●洗濯物が片寄らないように、洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。→(P.17) ●タオルケットやジーンズなどの厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物は、ほかの洗濯物を2、3枚追加してください。 ●毛布など大物の洗濯物は、洗濯物の量を減らしてください。 ●水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調節してください。→(据付説明書 P.14)	確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始

お知らせ表示と内容	直しかた
C06 自動運転(最大4～6時間)で乾燥されません	切/入 を押して電源を切る ●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れしてください。→**(P.65、66)** ●洗濯物を脱水してください。 また、絡みをほぐしてください。 ●給水してください。(乾燥中も冷却用に水を使います) 「C01」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。
C08 フタロックされません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ふたを閉めてください。 洗濯物を挟んだままにしていないかを確認してください。 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C09 フタロックが解除されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ふたを閉めてください。 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C15 乾燥フィルター 乾燥フィルターが外れています	スタート 一時停止 を押して一時停止 乾燥フィルターを差し込み口の奥まで取り付けてください。 (乾燥フィルターは洗濯運転のときも取り付けてください) 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C18 脱水されません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●排水ホースを正しく取り付けてください。 「C02」表示されたときの直しかたを確認してください。 ●排水異常や泡が多量に発生しているときは、一度すすぎを行い脱水してください。→**(P.55)** 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C19 容量が多すぎます	スタート 一時停止 を押して一時停止 洗濯物の量を減らしてください。 (洗濯物の量は、種類や大きさ、布質により異なります) 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
C20 洗濯・脱水槽が回転しません	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯物の絡みをほぐしてください。 ●電源コードを延長して使用しないでください。→**(P.8)** ●同じコンセントにほかの機器を接続しないでください。→**(P.8)** 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始
乾燥フィルター 乾燥フィルターが目詰まりしています	スタート 一時停止 を押して一時停止 ●乾燥フィルターや乾燥フィルター差し込み口が目詰まりしている場合は、お手入れをしてください。 →**(P.65、66)**(ふたを開けると表示は消灯します) (乾燥フィルターのお手入れをしたあとでも、電源を入れると「乾燥フィルター」が表示する場合があります) 確認後 スタート 一時停止 を押して運転開始

F88 「F○○」表示された場合、電源を一度切り、再度電源を入れ直してください。
何度も繰り返し表示されるときは使用を中止し、修理を依頼してください。→**(P.91)**

お困りのとき　つづき

こんな音がしたとき

次のような場合に発生する音は、故障ではありません。

音 マークの音は、ホームページからサンプル音が試聴できます。
(音は水道水圧、洗濯物の量、本体の設置環境などにより異なります)
2017_bwd

こんな音がしたときは		音の原因（故障ではありません）	
洗濯運転しているとき	ジュジュ	給水中の音です。 ・給水圧が高いと、音が大きくなる場合があります。 水栓(蛇口)を少ししぼって給水量を調節してください。	音
	カチッ・カツカツ	洗い運転と、すすぎ前の脱水運転とを切り替えるときの音です。	音
	ピー	モーターの運転音です。 ・脱水のとき、洗濯・脱水槽が回転する速度は段階的に速くなるため、回転速度が上がると、音が大きくなることがあります。	音
	ブーン	コントロール基板を冷却している音です。	音
	ポコポコ	配管内の空気が動いている音です。	―
	シャー・シュワシュワ	泡が多量に発生したとき、泡消しのために水を流している音です。	―
		脱水運転中に「自動おそうじ」が作動している音です。	音
乾燥運転しているとき	ピー	かくはん翼を回すモーターの運転音です。	―
	ブォー	温風を吹き出すときのファンの運転音です。 ・乾燥運転中に一時的に大きくなることがあります。 ・乾燥運転終了後、ファンの運転を止めるときにも音がします。	音
	ポコポコ	配管内の空気が動いている音です。	―
お湯取運転しているとき	ウィーン	風呂水が吸水されるときの、風呂水ポンプの運転音です。 ・風呂水の吸水が始まったとき、風呂水がなくなったとき、正しく風呂水吸水されなくなったときに、風呂水ポンプの運転音が大きくなることがあります。	音
	ポコ・ポコ	風呂水が吸水されるときに、風呂水ポンプ内の空気が動いている音です。	音

本体各部

次のようなときは、修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

こんなときは		ここを確認してください
❶本体・振動・音	本体からにおいがする	ゴム製品などのにおいがすることがありますが、使用するにつれて、においはなくなります。 気になる場合は、「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してください。**→(P.72)**
		洗濯・脱水槽に石けんかすや黒カビが発生すると、においの原因になります。 ・「自動おそうじ」を設定することをおすすめします。**→(P.48)** ・汚れやにおいが気になるときは、「槽洗浄」コースを運転してください。**→(P.72)** ・洗濯・脱水槽を乾かしたいときは、「槽乾燥」コースを運転してください。**→(P.72)** また、ふた、内ふたを開けておくことをおすすめします。 (子どもが洗濯・脱水槽の中に入らないよう注意してください)
		排水口に糸くずなどが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.71)**
		排水ホースの取り付け位置を、上段に変更すると、においを防ぐことができます。 **→(据付説明書P.8)**
	表示部がくもる	お湯取運転または乾燥運転で洗濯・脱水槽が温められ、蒸気や湿気で表示部がくもる場合があります。
	本体の上部や後部が熱い	本体内部に乾燥用ヒーターがあるため、乾燥中は熱くなります。 乾燥運転終了後、本体の温度が下がるまで、お待ちください。
	本体内部に物を落とした	床面に落ちていない場合は、使用を中止し、修理を依頼してください。**→(P.91)**
	乾燥運転時に床面がぬれる	乾燥中の湿気で床面が結露することがあります。 別売り部品の洗濯機用トレーをお買い求めいただき、設置することをおすすめします。 **→(P.87)**
	運転終了後に内ふたの裏側や衣類投入口周辺に水滴が付く	洗濯・脱水運転中に飛びはねた水滴や、「自動おそうじ」運転時のシャワー水が付着したものです。 気になる場合は、タオルなどでふき取ってください。
	振動や騒音が気になる	水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調節してください。 **→(据付説明書P.14)**
		洗濯・脱水槽の中に、硬貨やヘアピンなど異物が詰まっていないかを確認してください。
		洗濯物が片寄っていないかを確認してください。 「一時停止」ボタンを押したあと、洗濯物は洗濯・脱水槽内の外側に均一に入れ直してください。「スタート」ボタンを押すと運転が再開されます。
	運転終了時に音が大きくなる	送風ファンの動作確認のため、送風運転をしています。

お困りのとき　つづき

こんなときは		ここを確認してください
❷ 給水口・給水	給水されない	水栓(蛇口)が開いていることを確認してください。
		給水口のフィルターにゴミが詰まっている場合は、お手入れをしてください。**→(P.69)**
		水道や給水ホースが凍結していないかを確認してください。**→(P.85)**
	給水ホースから水漏れする	水栓(蛇口)のねじやワンタッチつぎての緩みやさびの発生により水漏れに至るおそれがあります。 水道工事店へご相談することをおすすめします。
		水漏れ確認シールの色が白いことを確認してください。**→(P.69)**
	(バケツなどで水を入れるとき)水がたまらない	電源が入っていることを確認してください。 電源を入れると排水口の弁が閉まり、洗濯・脱水槽に水をためることができます。
❸ 排水口・排水	排水口の周りが泡であふれている、ぬれている	洗剤や漂白剤を入れ過ぎると、運転中に泡が多量に発生し、排水口から水が漏れたり、泡があふれたりする場合があります。 洗剤や漂白剤は、表示に従って適量を入れてください。**→(P.18)**
❹ ふた	ふたが開かない	電源を入れ、ふたのロック表示を確認してください。 ・ フタロック が点灯中は、フタロック(チャイルドロック)が設定されているため、ふたは開けられません。 運転を一時停止させてから「洗濯」ボタンを5秒以上押して、 フタロック を消灯させてください。 ・ が点灯中は、ふたにロックがかかっているため、ふたが開けられません。 「スタート/一時停止」ボタンを押して を消灯させてください。 ・運転の途中で電源が切れた場合や、停電で電源が切れた場合は、ふたがロックされたままの状態で運転が終了します。電源を入れ、 が消灯するとふたは開けられます。 フタロック が点灯している場合は、フタロック(チャイルドロック)を解除してください。 ・ 高温 が点灯中(または点滅中)は、ふたにロックがかかっているため、ふたが開けられません。 乾燥運転を途中で停止させた場合や電源を切った場合、洗濯・脱水槽が高温のため、1～15分の冷却運転後、ふたのロックが解除され、ふたを開けることができます。
	ふたが「バタン」と閉まる	ふた開閉アシスト機構は、室温の影響を受けます。 暖かいときと、寒いときでは、ふたの閉じるスピードが変化します。
❺ 洗濯・脱水槽	初めて使用するのに、洗濯・脱水槽や排水ホースがぬれている	工場出荷時に動作確認のため使用した残水や結露した水分が、洗濯・脱水槽や排水ホースに残っている場合があります。
	洗濯・脱水槽が変色する	水や洗剤に含まれる成分が洗濯・脱水槽の表面に付着して酸化し、変色する場合があります。 気になる場合は、ステンレス専用クリーナーでふき取ってください。

こんなときは		ここを確認してください
⑥ 洗剤ケース	洗剤ケースに水が残っている	本体が傾いて据え付けられていると、洗剤ケース内に水が残ります。 水準器の気泡が円の中に入るように、脚キャップで高さを調節してください。 **→(据付説明書P.14)**
		キャップを奥まで取り付けてください。 柔軟剤投入口は、サイホン現象により水を排出する構造のため水が残ります。
		洗剤ケースやキャップに汚れや水が残っている場合は、お手入れをしてください。 **→(P.67)** 柔軟剤の蓄積による汚れが付着していると、サイホン現象が働かず、水が残ります。
		乾燥運転により蒸気や結露などで、洗剤ケース内に水が残ります。 水気をふき取ってください。
⑦ 乾燥フィルター	乾燥フィルターが湿っている	下記の場合は、乾燥フィルターが湿ることがあります。 ・洗濯運転のみを行った場合でも、結露による湿りが発生する場合があります。 ・「温水ミスト」、お湯取運転を設定した場合や、「ダニ対策」コースを運転している場合、洗濯・脱水槽が温められ、蒸気により結露が発生しやすくなります。 ・乾燥運転を途中で停止させた場合や、洗濯物が完全に乾かずに終了した場合。 ・乾燥フィルターが目詰まりしている場合。 運転終了後に乾燥フィルターを湿ったまま放置すると、カビが発生するおそれがあります。 乾燥フィルターを取り外して乾いた布でふき取る、または自然乾燥させてください。
⑧ 風呂水吸水口・風呂水吸水	浴槽内の風呂水が減らない	お湯取ホースが正しく取り付けられているかを確認してください。**→(P.25)**
		お湯取ホース先端のクリーンフィルターに、ゴミなどが詰まっていないかを確認してください。**→(P.70)**

本体の運転動作

こんなときは		ここを確認してください
⑨ 運転動作	すすぎ運転が設定した内容と違う	洗剤を入れ過ぎると、泡が多量に発生するため、泡の発生を抑える「注水すすぎ」に変更されます。洗剤は表示に従って適量を入れてください。**→(P.18)**
		洗濯物の片寄りを直すために、「注水すすぎ」運転をします。
	脱水運転中にすすぎ運転に戻る	脱水時に洗濯物の片寄りが起こると、お知らせ表示「C04」が表示され、運転が途中で停止することがあります。洗濯物の片寄りを直してください。**→(P.74)**
		最終脱水時に洗濯物の片寄りが起きると洗濯物の片寄りを直すためや、泡の発生を抑えるために「注水すすぎ」運転に戻ります。
	脱水が足りない	脱水の時間設定を長くしてください。 「脱水/乾き具合」ボタンで脱水具合を「しっかり」に設定してください。**→(P.61)**
	温水ミストの表示が点灯しない	「温水ミスト」が設定されているかを確認してください。**→(P.49)** 「温水ミスト」(温め自動)：「デリケート」「おしゃれ着」「毛布」「ダニ対策」「槽洗浄」コース、「乾燥」運転は設定できません。 「温水ミスト」(90分)(180分)：「標準」コースで設定できます。
	温水ミストの表示が消えてしまう	下記の場合、「温水ミスト」が設定できないため、自動で消灯します。 ・洗濯・脱水槽に約3L以上の水が入った状態で運転を開始したとき。 「温水ミスト」(温め自動)は、水温が約13℃以下のときに作動します。
	温水ミスト動作中に排水する	温度調整のために、洗濯液の一部を排水する場合があります。 異常ではありません。
⑩ 運転時間	運転時間が長い	本体を置いている場所の室温が5 ℃以下、または30℃以上ではないかを確認してください。室温が低過ぎたり、高過ぎたりすると、乾燥時間が長くなります。 2回以上連続で乾燥すると、乾燥時間が長くなります。
		給水温度が30℃以上になると、除湿効果が低下し、乾燥時間が長くなります。 乾燥時の給水には、30℃以上の水は使用しないでください。
		洗濯物の布質、大きさ、気温、水温などの条件によって運転時間が変化するため、最初に表示された残時間は、実際の運転時間と異なる場合があります。
		残時間は運転途中に補正されるため、途中で表示が変わる場合があります。
		洗濯運転の途中で、洗濯物を追加すると、最初に自動計測された洗濯物の重さより重くなるので、運転時間が長くなります。
		脱水運転中に洗濯物の片寄りが発生すると、片寄りを直す運転が自動で追加されるため、運転時間が長くなります。
		お湯取運転を設定している場合は、風呂水の吸水状態により、運転時間が長くなる場合があります。
		乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなったり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは、乾燥運転を行ったあと、毎回お手入れをしてください。**→(P.65)**
		「自動おそうじ」を設定すると、脱水行程で「自動おそうじ」が作動するため、運転時間が約3～4分程度長くなります。(水量も約6L増えます)
		「ナイアガラすすぎ」を設定すると、すすぎの運転動作が変わるため、運転時間が約30分程度長くなります。(水量も約95L増えます)
		[洗剤・汚れ]センサーシステムで、汚れの量が多いときは、洗い行程の運転時間が約3～10分程度長くなります。(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)

操作パネルの表示内容〔「C○○」などの表示されたとき→(P.74)〕

こんなときは		ここを確認してください
⑪ 水量表示・洗剤量表示	水量表示が自動で切り替わる	洗濯・脱水槽に、約3L以上の水が入っている状態でスタートすると、洗濯物の量が自動計測されないため、自動で一番高い水量になります。 洗濯・脱水槽内の水を排水してから、運転を開始してください。**→(P.55)**
		すすぎ運転をお湯取運転に設定していると、自動で「ためすすぎ」に切り替わります。
	洗濯物の量が少なくても、洗剤量(目安)表示が多めに表示される	下記の場合は、洗濯物の量が多めに自動計測されます。 ・湿気を多く含んでいる洗濯物 ・ぬれている洗濯物 ・厚手の洗濯物(重いため) 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
	洗濯物の量が多くても、洗剤量(目安)表示が少なめに表示される	モーターのなじみの影響により制御しているため、少なめに表示される場合があります。水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
		化繊、ポリエステルなどの洗濯物は軽いため、洗濯物の量が少なめに自動計測される場合があります。 水量を変更したい場合は、一時停止ボタンを押し、水量を変更してください。
⑫ 残時間表示	洗い中に残時間が点滅する	[洗剤・汚れ]センサーシステムが、運転中に点滅することがあります。 汚れの落ち具合を見分けて、汚れの量が多いときは洗い行程の運転時間が約3～10分程度長くなります。(衣類の汚れ具合によっては、検知できない場合があります)
	すすぎ中に残時間が点滅する	「ダニ対策」コースの温風過熱運転中に点滅することがあります。 洗濯物の温めが足りない場合、運転時間を自動で追加するためです。
	脱水運転後に残時間が点滅する	脱水運転後に、洗濯物をほぐす動作をしているときの表示です。 「一時停止」ボタンを押すと、自動で電源が切れ、洗濯物を取り出すことができます。
	乾燥運転中に残時間が減らないで点滅する	あと「10分」、「20分」と表示されてから、1～2時間運転を続けることがあります。 洗濯物の乾きが足りない場合、運転時間を自動で追加するためです。 2回以上連続で乾燥すると、乾燥時間が長くなります。
⑬ タッチセンサー(操作部)	作動しない	タッチセンサー部を操作するときは、指でタッチしてください。 つめでタッチしても作動しません。 また、操作する手に手袋や、ばんそうこうをしてタッチしないでください。
		同時に複数をタッチすると、意図しない操作を防止するため、作動しません。
		タッチセンサー部に汚れや水滴、洗剤が付着すると、タッチセンサー部に指が触れたと認識できず、作動しないことがあります。 汚れをふき取ってください。
		上記3項目を確認しても作動しないことがあります。 電源を一度切り、再度電源を入れてください。

洗濯物の仕上がりが気になる

こんなときは	ここを確認してください
⑭衣類に洗剤残りがある (白いものが残る)	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、溶け残るおそれがあります。 粉末合成洗剤・液体洗剤・漂白剤投入口に入れてください。→(P.20)
	石けん(天然油脂)は、洗剤ケースに入れないでください。 石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
	水温が低いと洗剤が溶けにくいことがあります。
	洗剤残りが気になる場合は、下記をお試しください。 ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。→(P.52) ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」を設定してください。 ・洗剤を液体洗剤に替えてお試しください。
⑮糸くずが気になる	色の濃い洗濯物は糸くずが目立ちやすいため、下記をお試しください。 ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。→(P.52) ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」を設定してください。→(P.54)
	洗濯・脱水槽の内部にたい積した、固形の汚れ(糸くずなどの固まり)により洗濯物に糸くずが付着することがあります。 「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を洗い流してから洗濯することをおすすめします。→(P.72)
	タオルなどのほこりの出やすい洗濯物を乾燥したあとに、色の濃い洗濯物を洗濯した場合、糸くずが気になることがあります。
	市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用して洗濯することをおすすめします。
⑯汚れ落ちがわるい	洗濯物を入れ過ぎていないかを確認してください。 運転するコースにより、洗濯できる容量が異なります。→(P.29)
	洗剤を洗濯・脱水槽に直接入れると、高濃度洗剤液を作ることができません。 ・洗剤は表示に従って適量を入れてください。→(P.18) 洗剤が少な過ぎると、汚れ落ちがわるくなります。 ・石けん(天然油脂)を使用する場合は、十分に溶かしてから、洗濯・脱水槽に直接入れてください。→(P.22)
	泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは下記をお試しください。 ・洗い運転の時間を長く設定してください。→(P.54) ・「つけおき」コースで、運転してください。
	[洗剤・汚れ]センサーシステムを設定してください。→(P.46～47)
	「温水ミスト」を設定してください。→(P.49)
	少ない水で洗うため、フリースなど水を含みにくい洗濯物は浮いてしまい、洗い残しが発生する場合があります。洗濯物の量を減らしてください。 (洗濯・脱水槽の半分程度)

こんなときは	ここを確認してください
⑰黒ずみが気になる	洗剤・柔軟剤は、洗剤ケースに入れてください。**→(P.20)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	液体洗剤と柔軟剤を一緒に使用すると、柔軟剤が洗濯物に蓄積しやすくなって黒ずみが目立つことがあります。洗剤を粉末合成洗剤に変えてお試しください。
	ぬれた洗濯物を入れたままにしないでください。 洗濯物に黒い点々がついている場合は、カビ菌が繁殖している可能性があります。
⑱黄ばみが気になる	洗剤・柔軟剤は、洗剤ケースに入れてください。**→(P.20)** 洗剤・柔軟剤は表示に従って適量を入れてください。
	黄ばみを抑えたいときは、下記をお試しください。 ・「温水ミスト」を設定してください。**→(P.49)** ・「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.52)** ・すすぎ回数を増やす、もしくは「注水すすぎ」を設定してください。**→(P.54)** ・予備洗いをする、または洗い時間を長く設定してください。**→(P.54)**
⑲色移りや変色が気になる	取扱絵表示を確認してください。 色の濃い洗濯物など色移りしやすいものは、ほかの洗濯物と分けて洗ってください。 また、長時間のつけ置きはお避けください。
	「ナイアガラすすぎ」を設定してください。**→(P.52)**
	水道水に水道管のさびが含まれていないか、タオルなどで水を通して確認してください。 含まれている場合は、水道工事店へご相談ください。
⑳洗濯物がゴワゴワする	タオルなどパイル素材の洗濯物は、パイルが寝てごわつきが感じられることがあります。 柔軟剤をご使用ください。
㉑においがする	洗濯・脱水槽に石けんかすが蓄積したり黒カビが発生したりすると、衣類に付着するにおいの原因になります。
	香りの強い洗剤や柔軟剤、粘性の高いものを使用すると、洗濯物に香りが強く残ることがあります。
	お湯取運転に入浴剤を入れた風呂水を使用した場合、入浴剤の香りが洗濯物に残ることがあります。
	洗濯後や生乾きで温かい洗濯物を放置すると、雑菌の繁殖によりにおいの原因になります。 運転終了後は、洗濯物を早めに取り出してください。
	排水口からのにおいを吸い込み、洗濯物にしみつくことがあります。 においが気になる場合は、別売り部品の洗濯機用排水トラップをお買い求めください。 **→(P.87)**

お困りのとき　つづき

こんなときは	ここを確認してください
22 乾きがわるい	洗濯物の量が多いと、乾きがわるくなる場合があります。 洗濯物の量を減らしてください。
	洗濯物が絡んだまま乾燥すると、乾きムラになる場合があります。 脱水運転後に洗濯物の絡みをほぐしてから、乾燥運転をしてください。
	乾燥フィルターが目詰まりしていると、乾燥時間が長くなり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 乾燥フィルターは乾燥運転が終わったあと毎回お手入れしてください。**→(P.65、66)**
	脱水が不十分な洗濯物を乾燥すると、乾燥時間が長くなったり、生乾きのまま運転が終了する場合があります。 脱水運転をしたあとで、乾燥運転をしてください。
	洗濯物の組み合わせや、本体を設置している場所の気温が低い場合(特に冬場など)には、乾きムラが発生する場合があります。 「脱水/乾き具合」をタッチし、「しっかり」を設定してください。**→(P.61)**
	排水口・排水トラップ、または排水ホースを確認してください。 糸くずが詰まっているときは、取り除いてください。**→(P.71)**
23 乾燥じわが気になる	洗濯物の量が多いと、しわがつきやすくなります。 洗濯物の量を2kg以下に減らして、乾燥運転してください。
	洗濯物が絡んだまま乾燥運転すると、しわがつきやすくなります。 脱水運転後に洗濯物の絡みをほぐし、しわを伸ばしてから乾燥運転をしてください。
	運転終了後、洗濯物を入れたままにしておくと、洗濯物の重みでしわがつきやすくなります。運転終了後は洗濯物を早めに取り出してください。
	しわを防ぎたいときは、下記をお試しください。 ・乾燥「標準」コースで、乾燥時間「30分」設定で乾燥してください。**→(P.32)** 　生乾きのまま乾燥運転が終わります。運転後につり干ししてください。

もしものとき

給水ホース内の水抜きをするとき(引っ越しまたは凍結のおそれがあるとき)

給水ホース内の水を抜く

1 **排水ホースが排水口に差し込まれているかを確認し、水栓(蛇口)を閉める**

2 切/入 **を押し、電源を入れる**

3 洗濯 フタロック(5秒押し) **をタッチし、「槽洗浄」コースを選ぶ**

4 スタート 一時停止 **を押し、約1分間運転する**
給水ホース内の残水を抜きます。

5 スタート 一時停止 **を押し、運転を一時停止する**

6 切/入 **を押し、電源を切る**

7 **給水ホースを外し、下に向ける**
残水が垂れる場合があるため、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くか、ぞうきんなどで水を受けてください。

洗濯・脱水槽の水を抜く

8 **お湯取ホースを取り付けている場合は、浴槽からクリーンフィルター(お湯取ホース)を取り出し、吸水つぎてを外す→(P.25)**

9 切/入 **を押し、電源を入れる**

10 脱水 温風ほぐし(3秒押し) **をタッチし、脱水「1分」を設定して運転する→(P.55)**
洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜くためです。

※寒冷地での使用など凍結のおそれのある場合は、本体のうしろ側(上部)を毛布などで保温してください。

もしも凍結したとき

1 **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**
お湯取ホース、クリーンフィルターも同様にお湯につけます。

2 **約40℃のお湯を、洗濯・脱水槽に約5L入れ、約10分間放置する**

3 **給水ホースおよびお湯取ホースをつなぎ、水栓(蛇口)を開ける**

4 切/入 **を押し、電源を入れる**

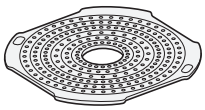
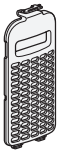
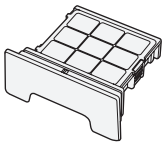
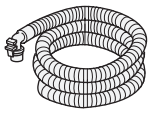
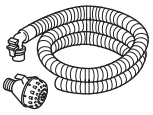
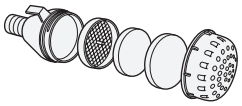
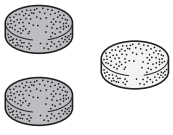
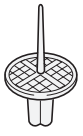
5 スタート 一時停止 **を押し、放置する(給水弁を解凍します)**
通電時の熱で給水弁が解凍され、給水を始めます。(約20分程度)

6 切/入 **を押し、電源を切る**

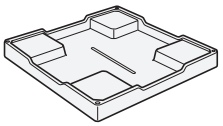
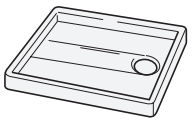
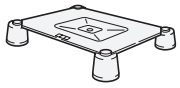
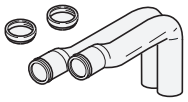
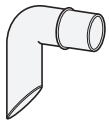
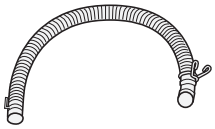
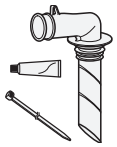
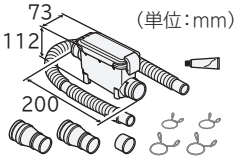
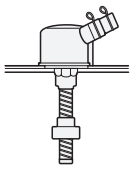
7 **次の3点を確認する**
(1)手で洗濯・脱水槽を回せるか
(2)電源を入れ、「脱水」をタッチし、脱水「1分」→**(P.55)**を設定してスタートし、排水するか
(3)風呂水が吸水されるか(「標準」コースでお湯取運転の設定をして運転する)
風呂水ポンプの解凍は時間がかかるため、吸水できない場合は、自動で水道水給水に切り替わります。
※確認できない場合は、1 ～ 6 を始めからやり直してください。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

こんなときに	別売り部品
毛布・おしゃれ着コースで洗濯をするとき	**お洗濯キャップ（MO-F96）** （部品番号 MO-F96-001） 希望小売価格 1,200円(税別) 
糸くずフィルターが破損したとき	**糸くずフィルター（1個）** （部品番号 NET-KD11XWV-001） 希望小売価格 800円(税別) 
洗剤ケースが破損したとき	**洗剤ケース** （部品番号 BW-D10XTV-002） 希望小売価格 1,000円(税別) 
乾燥フィルターのネットが破れたときや、破損したとき	**乾燥フィルター** （部品番号 N(シャンパン)BW-D10XTV-001 W(ホワイト)BW-DX120B-001） 希望小売価格 2,400円(税別) 
付属品のお湯取ホース(約4m)で長さが足りないとき	**お湯取ホース（約7m）** （部品番号 NW-7P5-045） 希望小売価格 1,800円(税別) クリーンフィルターは付いていません。 
	お湯取ホース（約5m） （部品番号 NW-7P5-046） 希望小売価格 1,700円(税別) クリーンフィルターが付いています。 
クリーンフィルターが目詰まりしたときや、破損したとき	**クリーンフィルター** （部品番号 NW-7S-059） 希望小売価格 500円(税別) 
	お湯取ポンプストレーナ （部品番号 NW-60RS1-048） 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプフィルター(緑)(黒)セット （部品番号 BW-D9JV-088） 希望小売価格 300円(税別) 
	お湯取ポンプネット （部品番号 NW-7S-057） 希望小売価格 300円(税別) 
風呂水吸水口のフィルターが破損したとき	**ポンプフィルター** （部品番号 BD-ST9700L-003） 希望小売価格 300円(税別) 
洗濯物のにおいが気になるときや、洗濯・脱水槽のにおい、汚れが気になるとき	**洗濯槽クリーナー（SK-1）(防食剤配合塩素系漂白剤/1500mL)** （部品番号 SK-1-001） 希望小売価格 2,000円(税別) 

設置条件によっては、別売り部品が必要となる場合があります。

こんなときに	別売り部品
床を結露による水滴から守るとき	**洗濯機用トレー（YT-4）** (幅640×奥行640×高さ83mm) (部品番号 YT-4-001) 希望小売価格 12,700円(税別) 
床を結露による水滴から守るとき (専用部品が必要な場合があります)	**洗濯機用防水パン（TP-780）** (幅780×奥行640×高さ63mm) 希望小売価格 12,000円(税別) 工事が必要です。 
本体を高くするとき、および防水パンの中に据え付けられないため、洗濯機の脚を防水パンの外に出して据え付けるとき	**全自動専用設置台（UP-D2）** 希望小売価格 5,000円(税別) 
排水口が洗濯機の真下にあるとき	**直下排水L形パイプ（HO-P5）** 希望小売価格 1,000円(税別) 
	640幅防水パン用直下排水キット（HO-P10） 希望小売価格 800円(税別) 
排水ホースを延長したいとき	**延長用排水ホース（約80cm）** （部品番号 KW-50K1-023） 希望小売価格 800円(税別) 
排水口に接続するとき	**Lパイプ** （部品番号 BD-V3700L-003） 希望小売価格 700円(税別) 
排水口が糸くずなどで詰まりやすくなったとき	**糸くずボックス（WLB-4）** （排水ホース：長さ800mm） （部品番号 WLB-4-001） 希望小売価格 2,000円(税別) 
排水口からの逆流やにおいを防ぐとき	**洗濯機用排水トラップ（YT-T1）** 希望小売価格 4,000円(税別) 工事が必要です。 

希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様・試験結果

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

本　体

型　　式	BW-DX120B
電　　源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量	12.0kg（乾燥状態での布質量）
標準脱水容量	
標準乾燥容量	6.0kg（乾燥状態での布質量）
標準水量	72L（洗濯「標準」コース）
標準使用水量	12kg 洗濯時 125L（洗濯「標準」コース） 6kg 洗乾時 140L（洗乾「標準」コース）
電動機の定格消費電力	380W（50-60Hz）
電熱装置の定格消費電力	1020W（50-60Hz）
定格消費電力	1180W（30℃）
洗濯方式	ビート式
水道水圧	0.03～0.8MPa {0.3～8kgf/cm^2}
外形寸法	幅650mm×奥行645mm×高さ1,060mm
質　　量	約65kg

風呂水ポンプ（本体に内蔵）

定格消費電力	40W（50-60Hz）	揚水量	毎分12L （全揚程1.2m、ホース長さ4mのとき）
定格電圧	DC 24V		
定格電流	DC 1.7A	お湯取ホース内径	15mm（市販のホースは使えません）

自動おそうじの効果

	試験方法	除去・抑制方法	対象部分	試験結果
除菌	外槽・ステンレス槽に取り付けた菌付着プレートの菌の減少率測定	自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	菌の減少率99%
黒カビ抑制	外槽・ステンレス槽に取り付けたカビ付着プレートのカビ抑制確認	自動おそうじによる	外槽・ステンレス槽	カビの減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

消臭・除菌コースの効果

	試験方法	除菌方法	対象部分	試験結果
消臭・除菌	洗濯物に付着させた菌の減少率測定	温風乾燥方式（約35分）	衣類に付着した菌	菌の減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

ダニ対策コースの効果

	試験方法	除去方法	対象部分	試験結果
ダニ対策	毛布に付着させたダニの死滅率測定(当社基準)	ダニ対策コースによる	毛布に付着したダニ	ダニの死滅率99%以上(当社換算値)
	毛布に残ったダニのアレル物質(フンや死がい)の量を測定(当社基準)	ダニ対策コースによる	毛布に残ったダニのアレル物質(フンや死がい)	ダニのアレル物質(フンや死がい)の除去率90%以上(当社換算値)

※試験依頼先：(株)エフシージー総合研究所

温水ミスト(180分)の効果

	試験方法	除菌・消臭方法	対象部分	試験結果
抑制	部屋干し臭が付着したタオルの6段階臭気強度表示法にて官能評価(部屋干し乾燥後、タオルを湿らせて評価)	温水ミスト180分による	洗濯した衣類	標準コース：臭気強度2.8 温水ミスト180分：臭気強度0.9
除菌	菌を塗布した試験布の菌の減少率測定	温水ミスト180分による	洗濯した衣類	菌の減少率99%

※試験依頼先：一般財団法人 北里環境科学センター

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書(別添)

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。なお、保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。

(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。

(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。

(ハ)火災、地震、風水害、落雷、そのほか天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。

(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。

保証期間：お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯乾燥機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」→**(P.91)**にお問い合わせください。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても部品の交換は不要です。

修理を依頼されるときは　出張修理

74～84ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	電気洗濯乾燥機
型　　式	**BW-DX120B**
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代+出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外の目的でご使用になる場合

以下のような場合には、保証期間の対象外となります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検(有料)を受けてお使いになることをおすすめいたします。

●車両、船舶に搭載して使用された場合。

●理容院や美容院などの業務用使用、また、寮や病院などの共同使用により、1日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合、短期間で部品交換(クラッチ、シール、軸受、フィルターなど)が必要になることがあります。

愛情点検



長年ご使用の洗濯乾燥機の点検を！

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水栓継手) ●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●運転が途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●そのほかの異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。 ●乾燥時間が異常に長くなった。	ご使用中　止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL　0120-3121-11
携帯電話・PHSから　050-3155-1111（有料）
FAX　0120-3121-34

(受付時間)9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

修理に関するご相談窓口

TEL　0120-3121-68
携帯電話・PHSから　0570-0031-68（有料）
FAX　0120-3121-87

(受付時間)9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日・祝日)

出張修理のご用命はインターネットからもお申込みいただけます。
ＵＲＬ http://kadenfan.hitachi.co.jp/afterservice/repair.html または 日立家電修理 検索
「修理相談/受け付け」ページの 出張修理の Web 受付 ボタンより入力画面にお進みください。
（注）対象製品をご確認のうえお申込みください。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

点字シール

本体の操作パネル部にお使いいただく「点字シール」をご用意しています。
「点字シール」を操作パネル部にはり付けていただくと、操作部の位置がわかるようになります。
ご希望の方は、「商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口」へご連絡をお願いします。

ホームページから「使いかた動画」を見る

スマートフォンやタブレット端末を使うとき（コードが読み取れるとき）

① コードを読み取る → ② 型式を選択（取扱説明書の表紙をご確認ください）



→ ③ 見たい項目を選択



→ ④ 再生



パソコンを使うとき（コードが読み取れないとき）

① URL を入力　　http://kadenfan.hitachi.co.jp/manual_movie/wash/index.html
② 型式を選択（取扱説明書の表紙をご確認ください）
③ 見たい項目を選択
④ 再生

お知らせ

- ご利用の環境によっては、コードの読み取り、動画の再生ができない場合があります。
- ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
- 「使いかた動画」のホームページ掲載は、予告なく中止することがあります。

このJ-Mossグリーンマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率がJIS C 0950：2008による基準値以下であることを示しています。（規定の除外項目を除く）

詳しい情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/corporate/environment/kankyo/jmoss/

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　年　　月　　日

廃棄時にご注意ください。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12
電話（03）3502-2111

3-Q1798-1D
3-Q1827-1A
M7(S)